

〔資料〕

# 無盡藏蓮體『續鑛石集』 翻刻と解題 (二)

関口 静雄

## 〔解題2〕寶山湛海のこと〈其一〉

※

師の覺彦淨嚴を描いて、無盡藏惟寶蓮體がもつとも敬愛私淑したのは寶山湛海だった。湛海(一六二九〜一七一六)は役行者の旧跡大和生駒の都史陀山大聖無動寺を中興して寶山寺を開き、生駒の験者・生仏と尊崇されて衆庶の厚信をあつめた不世出の傑僧だった。湛海の存命中にも淨嚴は「和州添下郡般若窟之記」(貞享二年(一六八五)稿)を草して湛海の行業を称賛し、蓮體も「和州生駒山般若窟寶山和尚ノ事」(元禄八年(一六九三)刊)・『寶山和尚行狀』(元禄十年(一六六六)・一六六七年(一六六七)十二月成)をはじめ、折にふれて湛海の行業や宝山寺について記し、没後には「寶山湛海和尚上生兜率ノ事」(享保十二年(一七二七)刊『續鑛石集』卷二所収)を敬愛を込めて草している。

寶山寺所蔵『寶山寺派受戒僧名記』(小林剛編『寶山湛海傳記史料集成』昭和三十一年十一月、寶山寺版。以下『集成』)に「正徳四年二月晦日辰時上分受具足戒 衆外 妙嚴惟寶比丘」とあって、蓮體は正徳四年(一七一四)三月、五十二歳にして湛海から具足戒を受け師弟の契約を結んでいる。蓮體はこのときすでに師淨嚴を継いで薬樹山延命寺二世を経歴し、九華山地蔵寺を中興開山して著述と行化に精励するなど、行実ともにくれた真言律僧として広く知られる存在だった。だからその蓮體が湛海から受戒し師弟の契約を結んだのは、それが蓮體の強い希望によるものであったことは容易に推量せられるのであって、おそらくそれは蓮體が少年のころから抱き続けていた切なる願望であったと思われる。蓮體は延宝二年(一六七四)正月二十九日、十二歳で淨嚴を師として出家した。その直後の春三月、受法のため上京する師淨嚴に随従した折り、

洛東粟田口の天王坊歎喜院で寶山湛海に初めて面識を得たのだった。その間の事情を蓮體は『淨嚴大和尚行狀記』(元禄十五年(一七〇二)十二月成。上田靈城四年、名)延宝二年条に、

和尙常ニ密教ノ陵夷シテ、諸流ノ事相ノ聖教印契真言ニ謬リ多キコトヲ歎テ、春三月、觀心寺地藏院龍海ト共ニ上京シテ、東寺仁和寺ニ於テ受法センコトヲ冀ヒ、東山ノ粟田口天王坊觀喜院ノ裏、臥雲庵ニ寓居ス。因ニ、真政円忍律師、修善要法集、觀行要法集各四冊ヲ撰述シテ梓行シ玉フ間、其校讐ヲ助ク。歎喜院ハ和州平群郡生馬山都史陀山宝山寺中興宝山湛海和尚ノ故院也。其時ハ未ダ受戒シ玉ハス、歎喜天ノ行者ナリ。靈驗甚多シ。蓮体宝山和尚ノ行狀ヲ円忍律師、湛海和尚、吾師三人相語テ、其道冥ニ合セリ。

と伝えている。受法する間、淨嚴・龍海・蓮體の三人は、湛海が開いた天王坊歎喜院裏の臥雲庵に寓居したのであるが、その折り歎喜院には堺神鳳寺の真政円忍律師も居合わせていた。この円忍から湛海は延宝元年に菩薩戒を受けて沙弥となっているから、「未ダ受戒シ玉ハス」というのは具足戒が未受戒であるという意と解され、また歎喜院が「湛海和尚ノ故院」というのは、湛海は菩薩戒受戒後に歎喜院を師光周の弟子周範に譲っていたからである。

それにしても歎喜院で一同が会したのは偶然とは思われない。このとき戒律弘通に行化を重ねる円忍は六十七歳、圓忍から菩薩戒を受戒したばかりの湛海は四十五歳、諸流の事相を正そうと正鶴な密乗の受法を希求する淨嚴は三十六歳で、淨嚴はすでに圓忍の高足慧空快圓から具足戒を受戒していたのであって、この三人がたがいに語らって「其道冥ニ合セリ」とい

うのは戒律復興とその弘通に係わることであったに相違なく、荘々の湛海・浄嚴らが老師圓忍の教導を受けたことを意味している。それは圓忍が撰述した『修善要法集』『觀行要法集』梓行のためにその校讐を一同が助力していることや、この年の十二月、湛海は神鳳寺に赴き圓忍に就て戒律を学び、延宝四年（一六七六）には大和風森南禅寺で具足戒を受けていることから明らかであろう。こうして臥雲庵での滞在は比較的長期にわたるものであったと考えられるが、その間、蓮體は給仕を役としながら湛海の聲咳に親しく触れたのである。十二歳の少年蓮體の眼に映る歓喜天行者の語る経歴と靈驗譚の数々は少年の心を驚嘆せしめたものと推量される。以来、蓮體は湛海の動向に深い関心を抱き続け、自分には湛海の行状を記した一巻が別にあると注記しているように、折りにふれてその行業を筆録していたのである。

※

蓮體のいう「宝山和尚ノ行状」というのは、河内地蔵寺に所蔵される自筆本『寶山和尚行状』のことと思われる。奥書によって元禄十年（一六九七）十二月に草されたものと知られる。『集成』に収録されているが、全文が時系列に分割されている。これを復元してみると、蓮體はその冒頭で湛海を次のように紹介している。

积湛海、字寶山、和尚大和州平群郡都史陀山大聖無動寺開山祖也、姓山田氏、勢州安濃郡一色里人也、母辻氏孕妊間身輕、誕時無困惱、寛永六年二月朔日、明星出時也、性質敏穎志氣宏邁、伎術不學善焉、捏鑄彫刻彩畫甚絶妙也、蓋夙智所撼也、素雖有出塵志、親族惜才不許矣、正保三年、歲十有八、潛計事漸雜染、赴東都深川永代寺、師周光阿闍梨、銳行動業、又隨東寺光辯阿闍梨、稟受密乘、行兩兩界及護摩、隨南山頼仙和尚蓮華三昧院檢校法印受傳法職位、又學密教於仁範上人矣、尋歸洛陽、就儒士岡村三叔、學六經古文三年、其間每月二十四日、必斷食、登愛宕山、徒跣往還、雖寒風裂膚之時、亦不怠也、陟降之間、常誦心經千遍也、最後於山上斷食一七日、抽丹誠、祈現成悉地矣、爾後復到東都、礪刃於講席、雖然性禪誦、常慕小角泰澄之風、朝懺暮悔、精修苦行、或斷食修法、或重夜不眠、口不言人過、身不遊俗家、且柔和溫順、質直無偽矣、遂廢學業、偏事修行、故朋友呼號如來房也、蓋欽其操行也、

この冒頭の一文によっても湛海の出自と行業の一端、および湛海の人となりを探ることが出来る。実は湛海にはその信仰記録・自叙伝たる『靈感記』があつて、その記載と蓮體の『寶山和尚行状』をはじめとする湛海関係記事の内容にはほとんど齟齬がなく、あつても両人どちらかの記憶違いによる記述を指摘できる程度のことである。だから蓮體の伝える湛海伝と湛海の『靈感記』を合わせ見れば、湛海の生涯とその行業また靈驗を明らかにすることが出来る。ここではその大凡を記しおきたい。

なお『靈感記』は湛海自筆本上下二巻が宝山寺に大切に襲蔵され、『集成』に収録されている。感得した数々の靈夢と、都度揺れ動く心境を正直に記した生々しい信仰記録であり、それはそのまま自叙伝ともなっている。宝山寺の山容が整った元禄三年（一六九〇）六十二歳の秋に筆録したもので、正保三年（一六四六）十八歳のとき江戸深川の永代寺周光阿闍梨を師として出家したところから書き起こし、延宝六年（一六七八）五十歳のとき生駒山に登り、元禄三年三月十五日に初度の十万枚護摩供を修し、その秋八千枚護摩供を修するまでの信仰・苦修練業・宝山寺再興に係わる諸種の苦難・地元民との交流等々が記されている。



寶山開祖湛海律師道影  
享保15年(1730)冬 前黃門從二位  
權司隆成画  
『生駒山寶山寺縁起全』(文化10年  
〈1813〉2月、寶山寺藏板。宮島コレ  
クション蔵)

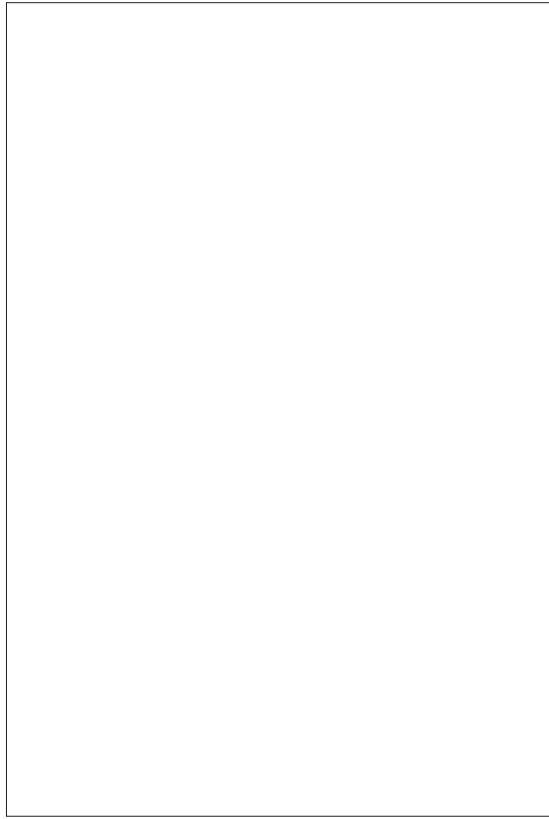
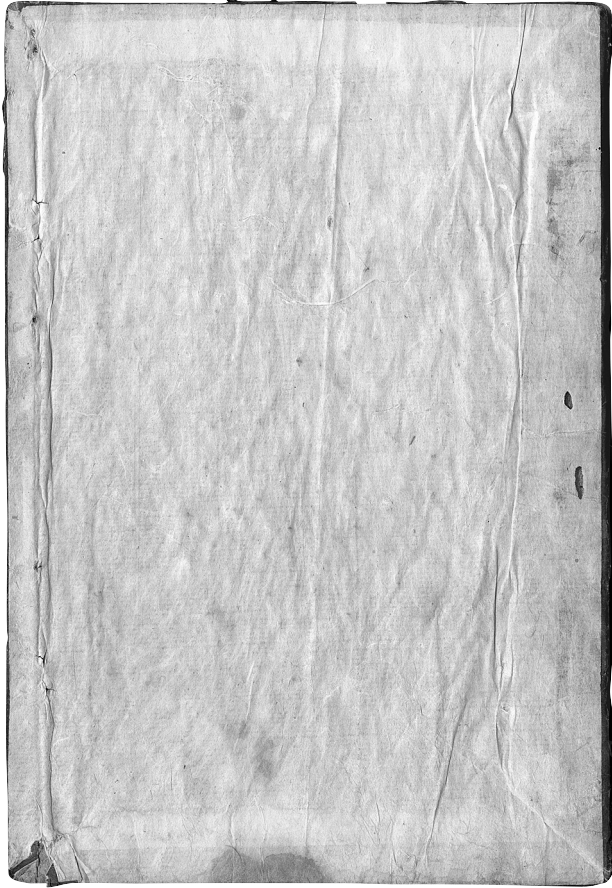
寛永六年（一六二九）二月一日に勢州安濃郡一色村に生まれ、正保三年（一六四六）十八歳のとき親族の許しを得ぬまま自剃して江戸深川の真言宗大栄山永代寺四世周光阿闍梨を師として出家した。宝山寺文書『開山年譜

誌附記』(『集成』)によると、周光は播州高野山月輪寺で出家し、江府深川八幡宮別当院主苑周法印の弟子となり永代寺を中興した人で、諸侯はじめ衆庶の信受厚く、幕府から一万坪の蘆原を下賜されたという。八幡宮は現在の富岡八幡宮のことで、『永代寺略縁起』(『神道大系・神社篇・武藏國』所収)に、

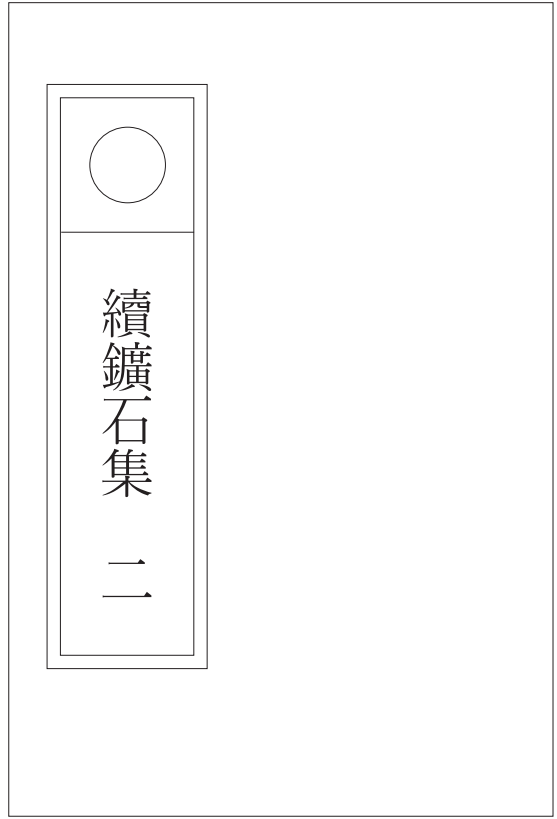
今まさに八幡宮降臨せさせまし／＼ける濫觴を尋奉るに、第百九世 後水尾天皇の御宇寛永の初つかた長盛上人と云人あり。洛陽の産にして官家の族なり。密乗を學ひて德行兼備れり。先祖より傳へて弘法大師(諸本菅原道真公云々)手造の八幡大菩薩の尊像あり。常に信敬し奉りける。此尊像上人の枕上に立せ給ひて夢中に告て宣く、汝年ころ我を信する事いとまめやかなり。されハ土地の良縁あなれは心を起して東行を企つへし。必汝か願望を成さん。我も伴ひてかしこにいたり、國家を守り蒼生を利益すへし。武藏國に永代島といふ所あり。將軍家柳營の巽にあたり。わか宮居せむところにハ白羽の矢たちたらん。それをもてしるしとせよと。上人ゆめさめていかたしけなくたふとく、感涙をおさへて法施を奉りける。此神託のいちしるきうへは、時日を延へきならねハ、かの尊體をみつから携へて旅たち侍りける。

とあって、寛永(一六二四〜一六四三)の初めころ洛陽の長盛上人が自家中に祀っていた八幡大菩薩像を、その神託にしたがって携え運び永代島に祀ったのが草創由来と伝える。同時に別当寺として永代寺が建てられたのが小規模であって、これを中興したのが周光阿闍梨だった。三島政行編『葛西志』(一九七一年、地誌刊行会)によると、長盛法印は寛永十三年(一六三六)に没し、弘法大師の夢告を受けた周光阿闍梨が慶安五年(一六五二)夏、永代島に高野山阿闍梨主ほか東國の納僧を集めて一夏九旬の法談を催し、高祖大師の影堂を建て、真言三密の秘蹟を講じて永代寺中興の基盤を築いた。その後元禄十二年(一六九九)には関東五カ寺同等の格を賜わり、正徳五年(一七一五)には有章院殿徳川六代將軍家継、享保十二年(一七二七)には有徳院殿徳川八代將軍吉宗の参詣があったという。この頃が最盛期で地中には本坊のほか功德院・多聞院・般若院・吉祥院・明王院・長寿院・愛染院・東光院・海岸院・大勝院・支王院の十一院が存し、『江戸名所図会』には永代寺の広大な境内を開放した三月の「深川八幡山開」の光景が描かれている。

湛海は正保三年(一六四六)永代寺周光阿闍梨に師事したのであるが、十八歳というやや遅い出家であった。しかし常に周光に随従して師の教導を受けていたわけではなかった。慶安三年(一六五〇)二十二歳の時には周光の指図によって京の儒士岡村三叔に就て詩書六経を三年間学んでいる。蓮體が『寶山和尚行狀』に伝えるように、この三年間湛海は毎月二十四日の地藏縁日には愛宕山に般若心経を千遍誦しながら徒跣で往還したのである。『靈感記』にも「此間三年、月々廿四日毎ニ斷食シ、地藏菩薩ヲ信仰ノ故、愛宕山ニ參詣、裸足シテ往還ス、寒天時分ニハ刃ノ上ヲ行コトク足痛ムモノニテ候、道中ノ所作ニハ心經一千卷ツ、誦ス、三年ノ結願ニハ七日斷食シテ、三密之修行悉地成就ヲ祈ル」と同様の記載がある。また承応二年(一六五三)二十五歳の時には紀州高野山に登り、師周光の法眷である仁範を師として密教を学び、在山中に京都東寺の光辯阿闍梨のもとで四度加行を修し、高野蓮華三昧院の頼仙から両部灌頂を受けている。承応四年(一六五五)江戸に戻り、聖天浴油供・不動護摩供を修し、また舍利・地藏菩薩・八幡大菩薩を信仰した。しかし明暦二年(一六五七)正月の大火によって永代寺・八幡宮が焼失し、その復興に師を援けて尽力した。寛文四年(一六六四)正月上京して栗田口に歓喜院を創建することを企図し、翌春に完成をみた。そんな折、八幡宮再建について師周光が再三助力を要請してきた。当初は固辞していたが夢に歓喜天から「師命難辭、午未兩年之間ニ可建立」(『靈感記』寛文五年条)と告げられ、寛文五年(一六六五)十二月中旬江戸に下り八幡宮の再建に努めた。すると種々の奇瑞が起こり歓喜天の神託の通り、寛文丁未七年(一六六七)八月に完成した。そこでまた上京し、寛文八年(一六六八)初頭より歓喜院で聖天供に専念していたが、寛文十年(一六七〇)冬に真政圓忍律師の來訪を受け持戒の徳を諭されると聖天信仰に疑問を抱くようになった。しかし寛文十二年(一六七二)夏には不動明王の夢告を受け、延宝元年(一六七三)不動明王の眷属たらんことを決意するが、その一方圓忍より菩薩戒を受戒して歓喜院を師周光の弟子周範に譲るなどしている。そうした湛海の姿勢は、行と学と律のいずれに拠って立つかという、いわば宗教的でありように思い悩んでいたように見える。延宝二年春、十二歳の少年蓮體は湛海と初めて会った。



〔白丁〕②上末表表紙見返



〔②上末表表紙

續鑛石集上末

目錄

- 十四ニハ求聞持ノ法不動ノ落叉等靈驗ノ事
- 十五ニハ佛舍利ヲ感得セル人ノ事
- 十六ニハ寶山湛海和尚上生兜率ノ事
- 十七ニハ心王ノ毘盧遮那降魔成道ノ事
- 十八ニハ死シテ久シキ靈寢人ニ託スル事
- 十九ニハ武州ノ人佛法ヲ誹謗シテ現罰ヲ蒙リシ事
- 二十ニハ防州ノ僧賊ニ殺サレテ怨靈人ニ託スル事
- 二十一ニハ父母不孝ノ人現罰ノ事
- 二十二ニハ惡人送葬ノ時火車出現ノ事

續鑛石上末目錄

- 二十三ニハ墓ノ中ノ僧三年カ間不死再ヒ人間ニ出ル事
- 二十四ニハ奥州ノ僧慈救ノ咒靈驗ノ事
- 二十五ニハ大唐青龍寺光儀法師ノ事
- 二十六ニハ須達長者ガ子目連ニ付テ三藏ヲ讀習フ事

續鑛石集上末目錄終

續鑛石集上末

目錄

- 十四ニハ求聞持ノ法不動ノ落叉等靈驗ノ事
- 十五ニハ佛舍利ヲ感得セル人ノ事
- 十六ニハ寶山湛海和尚上生兜率ノ事
- 十七ニハ心王ノ毘盧遮那降魔成道ノ事
- 十八ニハ死シテ久シキ靈寢人ニ託スル事
- 十九ニハ武州ノ人佛法ヲ誹謗シテ現罰ヲ蒙リシ事
- 二十ニハ防州ノ僧賊ニ殺サレテ怨靈人ニ託スル事
- 二十一ニハ父母不孝ノ人現罰ノ事
- 二十二ニハ惡人送葬ノ時火車出現ノ事

續鑛石上末目錄

- 二十三ニハ墓ノ中ノ僧三年カ間不死再ヒ人間ニ出ル事
- 二十四ニハ奥州ノ僧慈救ノ咒靈驗ノ事
- 二十五ニハ大唐青龍寺光儀法師ノ事
- 二十六ニハ須達長者ガ子目連ニ付テ三藏ヲ讀習フ事

續鑛石集上末目錄終

②上末目錄オ

②上末目錄ウ

續鑛石集上末

十四ニハ求聞持ノ法不動ノ落又等靈驗ノ事

紀州清水村寶藏寺高本ハ伊賀ノ國坂ノ下ノ産ナリ。父ハ奥地氏安門ナリ。僧骨圓ト忘形ノ友ナリ。一日妻有身。安門省圓ニ語テ曰ク。胎中ノ子若男ナラバ公ニ與ヘテ弟子トスベシト。圓諾ス。月滿ジテ男子ヲ生ズ。又母養育シテ早く出家セシメント欣フ。寛文八年童子十三歳ニシテ。圓ニ從テ南山ノ光明院ニ入。延寶元年霜月廿一日ニ難染シ。行法既ニ畢テ。同四年七月廿八日前檢校法印遵胤阿闍梨ニ隨テ。傳法阿闍梨位ヲ受ケ。又同八年紀州大谷ノ興善寺ニ於テ。弘傳比丘ニ隨テ再ヒ受職灌頂ス。貞享三年廿三ニシテ。即チ興善寺ノ主席ト成テ。サ

●續鑛石上末

一年ノ間世務紛冗ニシテ。心ニ叶フコト少シ。曾テ多聞天供ヲ修スルコト一千座。罪障消滅道心堅固。上生觀史ノ大願ヲ發ス。又光明真言ノ法ヲ修スルコト一百座。咒ヲ誦ズルコト百万遍。土沙ヲ加持シテ。有緣無緣ノ六道ノ含識。別シテハ當寺代々ノ聖靈成三菩提ノ爲ニ回向シ。又率都婆ヲ造ルコト四千八百五十有二基。代々靈寢ノ追福ニ擬ス。次ニ求聞持ヲ修スルコト五十日。修中五ノ好相ヲ得タリ。一ニ寶鍵ヲ空中ニ見。二ニハ灌頂ノ寶瓶ノ印ハ。即チ摩利支天ノ隱形ノ印ナリト示ス人アリ。三ニハ淨菩提心如意寶ノ七字ヲ夢ル。四ニハ石面ニ佛ノ左ノ足ノ跡アリ。北岸ハ峙立セル懸崖ナリ。道ノ南ニ平坦ナル石アリ。此ニ足ノ跡アリ。多聞天王銚ヲ持シ。北ノ岩ニ坐シ即チ起テ告玉ハク。石面ノ

續鑛石集上末

十四ニハ求聞持ノ法不動ノ落又等靈驗ノ事

紀州清水村寶藏寺高本ハ。伊賀ノ國坂ノ下ノ産ナリ。父ハ奥地氏安門ナリ。僧骨圓ト忘形ノ友ナリ。一日妻有身。安門省圓ニ語テ曰ク。胎中ノ子若男ナラバ公ニ與ヘテ弟子トスベシト。圓諾ス。月滿ジテ男子ヲ生ズ。父母養育シテ早く出家セシメント欣フ。寛文八年童子十三歳ニシテ。圓ニ從テ南山ノ光明院ニ入。延寶元年霜月廿一日ニ難染シ。行法既ニ畢テ。同四年七月廿八日前檢校法印遵胤阿闍梨ニ隨テ。傳法阿闍梨位ヲ受ケ。又同八年紀州大谷ノ興善寺ニ於テ。弘傳比丘ニ隨テ再ヒ受職灌頂ス。貞享三年廿三ニシテ。即チ興善寺ノ主席ト成テ。廿

●續鑛石上末

一年ノ間世務紛冗ニシテ。心ニ叶フコト少シ。曾テ多聞天供ヲ修スルコト一千座。罪障消滅道心堅固。上生觀史ノ大願ヲ發ス。又光明真言ノ法ヲ修スルコト一百座。咒ヲ誦ズルコト百万遍。土沙ヲ加持シテ。有緣無緣ノ六道ノ含識。別シテハ當寺代々ノ聖靈成三菩提ノ爲ニ回向シ。又率都婆ヲ造ルコト四千八百五十有二基。代々靈寢ノ追福ニ擬ス。次ニ求聞持ヲ修スルコト五十日。修中五ノ好相ヲ得タリ。一ニハ寶鍵ヲ空中ニ見。二ニハ灌頂ノ寶瓶ノ印ハ。即チ摩利支天ノ隱形ノ印ナリト示ス人アリ。三ニハ淨菩提心如意寶ノ七字ヲ夢ル。四ニハ石面ニ佛ノ左ノ足ノ跡アリ。北岸ハ峙立セル懸崖ナリ。道ノ南ニ平坦ナル石アリ。此ニ足ノ跡アリ。多聞天王銚ヲ持シ。北ノ岩ニ坐シ即チ起テ告玉ハク。石面ノ

佛足ノ跡ニ汝ガ足ヲ合セヨ合ハ善シ。時ニ一人アリ先來テ足ヲ合スルニ不能合コト。高本往テ躡ニ相合シテ違コトナシ。既ジテ覺ム。五ニハ白晝ニ北方ノ晴天ヲ見ニ大星現ズ。本衆人ニ問テ曰ク。北天ノ大星ヲ見ヤト指シ示ス。衆皆言ク不見ト。是實ニ明星天子ノ應現シ玉ヘルモノカ。右五ノ好相日時相隔リ日ハ憶セス。又元祿十三年庚辰ノ四月廿二ヨリ起首シテ。一百九十日ノ間ニ慈救咒ヲ誦ズルコト百万遍。七月十五夜ノ夢ニ。奥院御廂ノ西ノ高山ノ半腹ニ不動ノ立像アリ。左ニ一燈アリ。大火聚ヲ現ズ。還リ來テ護摩堂ニ入レバ。莊嚴華嚴ナリ。古佛經卷無數ナリ。中ニ於テ一卷ヲ取テ。妙法蓮華經ナリ。堂外出レバ五輪塔アリ。頭ヲ回シテ四方ヲ見ニ夢サメ。月正ニ中ナリ。凡ソ慈救咒ヲ誦ズルコト

續鑛石上末

ト百五十落又。或ハ多聞天王ノ像ヲ夢ミ。一肘量ノ満月輪ノ皎然明白ナルヲ見。或ハ白色ノ舍利一椀大サ明星ノ如シ。又一壺アリ。鷄卵ノ如シ。人アリ告テ曰ク。此壺中モ舍利ナリト。此ハ是能作性ノ摩尼珠ナルベシ。又寶永三年三月廿七日ノ夜夢ミラク。黒色ノ瓦燈籠アリ。問此ハは何物ゾト。人アリ答テ曰ク。瓦燈籠ト云物ナリ。次ニ堂内ヲ拜スルニ鳥ニ乗セル佛アリ。分明ナラザレバ問何ノ佛ゾ。答テ曰ク。孔雀明王ナリト。次ニ河水ノ清潔ナルヲ見テ覺ヌ。又ハ頂ナリ。孔雀明王ハ佛母ナリ。金輪佛頂ト同體ノ習アリ。豈好相ニアラズヤ。又六月十四日夜夢ミラク。阿弥陀佛織モノシ玉ヲ見ルニ分明ナラズ。人アリ一物ヲ授テ曰ク。此ヲ見ト。本左ノ手ニ承テ見ニ銅鑄ノ龍形ノ頭ニ如意珠ヲ戴ルナリ。本思ハク

佛足ノ跡ニ汝ガ足ヲ合セヨ合ハ善シ。時ニ一人アリ先來テ足ヲ合スルニ不能合コト。高本往テ躡ニ相合シテ違コトナシ。既ジテ覺ム。五ニハ白晝ニ北方ノ晴天ヲ見ニ大星現ズ。本衆人ニ問テ曰ク。北天ノ大星ヲ見ヤト指シ示ス。衆皆言ク不見ト。是實ニ明星天子ノ應現シ玉ヘルモノカ。右五ノ好相日時相隔リ日ハ憶セス。又元祿十三年庚辰ノ四月廿二ヨリ起首シテ。一百九十日ノ間ニ慈救咒ヲ誦ズルコト百万遍。七月十五夜ノ夢ニ。奥院御廂ノ西ノ高山ノ半腹ニ不動ノ立像アリ。左ニ一燈アリ。大火聚ヲ現ズ。還リ來テ護摩堂ニ入レバ。莊嚴華嚴ナリ。古佛經卷無數ナリ。中ニ於テ一卷ヲ取ルニ。妙法蓮華經ナリ。堂外ニ出レバ五輪塔アリ。頭ヲ回シテ四方ヲ見ニ夢サメ。月正ニ中ナリ。凡ソ慈救咒ヲ誦ズルコト

續鑛石上末

ト百五十落又。或ハ多聞天王ノ像ヲ夢ミ。一肘量ノ満月輪ノ皎然明白ナルヲ見。或ハ白色ノ舍利一椀大サ明星ノ如シ。又一壺アリ。鷄卵ノ如シ。人アリ告テ曰ク。此壺中モ舍利ナリト。此ハ是能作性ノ摩尼珠ナルベシ。又寶永三年三月廿七日ノ夜夢ミラク。黒色ノ瓦燈籠アリ。問此ハは何物ゾト。人アリ答テ曰ク。瓦燈籠ト云物ナリ。次ニ堂内ヲ拜スルニ鳥ニ乗セル佛アリ。分明ナラザレバ問何ノ佛ゾ。答テ曰ク。孔雀明王ナリト。次ニ河水ノ清潔ナルヲ見テ覺ヌ。又ハ頂ナリ。孔雀明王ハ佛母ナリ。金輪佛頂ト同體ノ習アリ。豈好相ニアラズヤ。又六月十四日夜夢ミラク。阿弥陀佛織モノシ玉ヲ見ルニ分明ナラズ。人アリ一物ヲ授テ曰ク。此ヲ見ト。本左ノ手ニ承テ見ニ銅鑄ノ龍形ノ頭ニ如意珠ヲ戴ルナリ。本思ハク

淨菩提心如意寶ノ四句ヲ龍ノ讚ニ書スベシトテ龍管ヲ執ルト  
見テ寤ス寶永六年予諸徒ノ爲ニ高祖御請來ノ秘密經軌並  
ニ法流ノ重書ヲ授ク時ニ高本來願テ傳授ニ逢ヒ入壇傳法シテ  
菩薩戒ヲ受持シ長齋シテ倍復精進ス慈救ノ咒ヲ誦ズルコト一  
千五百萬遍世榮ヲ不願臨終正念上生却史ノ爲トス正德  
二年河南ニ來テ諸尊法ヲ書寫ス九月十六日夜夢ミラクニ手  
ヲ擲シテ物ヲ承ルガ如シ五指ニ縵網ノ相アリ傍人ノ曰ク是佛ノ  
手ナリト又正德四年四月八日齋後ニ假寐スニ南方輕雲ノ  
中ニ白色ノ三股金剛杵アリ是何人ノ作ゾ傍人ノ曰ク是淨  
嚴和尚ノ所造ナリト即寤テ思ハク淨嚴師新作ノ次第秘  
訣宗ニ佛意ニ叶ヘルモノナリト感涙ヲ拭フテ信心倍増セリ

續鑛石上末

三

外ノ好夢頗ル多シ具ニ記シガタシ中ニ就テ佛手佛足ノ感摩尼  
三股ノ應ハ寤ニ貴ク羨シキ好相ナリ遂ニ六十七歳ニシテ享保  
七年八月五日ニ病ニ卧シ同廿一日沐浴淨髮シ死期ヲ知テ辭世  
ノ歌ヲ唱ヘ即廿三日寅刻ニ手ヲ洗ヒ口ヲ嗽ギ印ヲ結テ辰ノ  
刻ニ至テ正念ニ寂ス平素ノ祈誓ナレバ上生都史豈空シカラシ  
ヤ死後弟子守性一卷ノ記ヲ持シ來テ予ニ示ス讀畢テ感歎  
特ニ淚レビ下ヲ得ズシテ記シテ後人ノ信修ヲ策スモノナリ高本  
好相ノ中ニ三股金剛杵ヲ夢ミテ是淨嚴師ノ造ナリト云コト  
尤ナルカナ三股ハ三密三平等ヲ表ス先師自ラ妙極ト号シ無  
等子三等子ト書ス意ノ曰ク真言ノ阿闍梨ハ無等三平等三平  
等ニシテ三密皆第一實際妙極ノ境ニ至ラザレバ悉地ヲ不成末

淨菩提心如意寶ノ四句ヲ龍ノ讚ニ書スベシトテ龍管ヲ執ルト  
見テ寤ス寶永六年予諸徒ノ爲ニ高祖御請來ノ秘密經軌並  
ニ法流ノ重書ヲ授ク時ニ高本來願テ傳授ニ逢ヒ入壇傳法シテ  
菩薩戒ヲ受持シ長齋シテ倍復精進ス慈救ノ咒ヲ誦ズルコト一  
千五百萬遍世榮ヲ不願臨終正念上生却史ノ爲トス正德  
二年河南ニ來テ諸尊法ヲ書寫ス九月十六日夜夢ミラクニ手  
ヲ擲シテ物ヲ承ルガ如シ五指ニ縵網ノ相アリ傍人ノ曰ク是佛ノ  
手ナリト又正德四年四月八日齋後ニ假寐スルニ南方輕雲ノ  
中ニ白色ノ三股金剛杵アリ是何人ノ作ゾ傍人ノ曰ク是淨  
嚴和尚ノ所造ナリト即寤テ思ハク淨嚴師新作ノ次第秘  
訣宗ニ佛意ニ叶ヘルモノナリト感涙ヲ拭フテ信心倍増セリ

續鑛石上末

三

外ノ好夢頗ル多シ具ニ記シガタシ中ニ就テ佛手佛足ノ感摩尼  
三股ノ應ハ寤ニ貴ク羨シキ好相ナリ遂ニ六十七歳ニシテ享保  
七年八月五日ニ病ニ卧シ同廿一日沐浴淨髮シ死期ヲ知テ辭世  
ノ歌ヲ唱ヘ即廿三日寅刻ニ手ヲ洗ヒ口ヲ嗽ギ印ヲ結テ辰ノ  
刻ニ至テ正念ニ寂ス平素ノ祈誓ナレバ上生都史豈空シカラシ  
ヤ死後弟子守性一卷ノ記ヲ持シ來テ予ニ示ス讀畢テ感歎  
特ニ淚シ。已コトヲ得ズシテ記シテ後人ノ信修ヲ策スモノナリ高本  
好相ノ中ニ三股金剛杵ヲ夢ミテ是淨嚴師ノ造ナリト云コト  
尤ナルカナ三股ハ三密三平等ヲ表ス先師自ラ妙極ト号シ無  
等子三等子ト書ス意ノ曰ク真言ノ阿闍梨ハ無等三平等三平  
等ニシテ三密皆第一實際妙極ノ境ニ至ラザレバ悉地ヲ不成末



世ノ真言師ハ印言錯謬シ。意密全ク缺ク。豈ニ密ノ妙行ナラシヤト。忿激シテ。名即實體ナリトテ。自ラ妙極ト号シ。諸尊ノ次第秘訣ヲ改メ作ル。皆本經軌ニ依テ私ノ意ヲ不加。觀行ヲ本トス。是三股金剛ニアラズヤ。昔シ弘法大師受法既ニ竟テ。日本ノ三密弘通ノ靈場ヲトシテ。明州ノ津ヨリ遙カニ三股杵ヲ投玉フニ。雲中ニ沖テ高野山ニ落トイヘリ。雲中ノ三股杵是ニアラズヤ。先師ハ雲雪法印ノ弟子ニテ雲農ト号シ。靈雲寺ニ住セリ。輕雲亦宜ナラズヤ。予曾テ東都ニ赴ク時。寶山和尚ヲ禮別ス。和尚ノ曰ク。幸ナルカナ。我が爲ニ師ニ傳ヘヨ。不動ノ十四契十九布字等ノ秘訣遙カニ垂示セラレヨト。予敬諾シテ傳語ヲ申。師領シテ不動瑜伽秘要鈔三卷ヲ述シテ。生馬ニ贈ラル。和尚大ニ悦ビ。平生愛護

●續鑽石上末

四

スルトコロノ二杵アリ。中ニモ三股杵ヲ秘惜シテ成就物ニ擬ス。報恩ノ爲ニ一杵ヲ寶林山ニ贈ント欲ス。猶豫シテ不決セ。即本尊ノ前ニ於テ鬪ス。三股杵ヲ贈ルベシトノ鬪降タリ。故ニ秘惜ストイヘドモ淨嚴ノ方ニ贈ラル。今ニ寶林山ニアリ。高本三股杵ヲ見タルハ。先師ノ製作ノ次第口訣。佛祖ノ本意ニ叶ヘルニアラズヤ。南方輕雲中ト見タルハ。南山南院ノ良意僧都付法ノ嫡資ナルガ故ナルベシ。或人問孔雀明王ノ咒ヲ誦ジテ悉地ヲ得タルハ。役行者ノミナリ。高祖大師東寺ノ三業ヲ奏シ定メ玉フ時。聲明業ノ中ニ曰ク。聲明業一人。應暗書誦梵字悉曇章一部二卷。兼讀大孔雀明王經一部三卷。又可習聲字實相義文。此孔雀明王經ヲ讀シムルコト。古哲其辯ナシ。高本亦夢ニ明王ヲ拜スルニ分明

世ノ真言師ハ。印言錯謬シ。意密全ク缺ク。豈ニ密ノ妙行ナラシヤト。忿激シテ。名即實體ナリトテ。自ラ妙極ト号シ。諸尊ノ次第秘訣ヲ改メ作ル。皆本經軌ニ依テ私ノ意ヲ不加。觀行ヲ本トス。是三股金剛ニアラズヤ。昔シ弘法大師受法既ニ竟テ。日本ノ三密弘通ノ靈場ヲトシテ。明州ノ津ヨリ遙カニ三股杵ヲ投玉フニ。雲中ニ沖テ高野山ニ落トイヘリ。雲中ノ三股杵是ニアラズヤ。先師ハ雲雪法印ノ弟子ニテ雲農ト号シ。靈雲寺ニ住セリ。輕雲亦宜ナラズヤ。予曾テ東都ニ赴ク時。寶山和尚ヲ禮別ス。和尚ノ曰ク。幸ナルカナ。我が爲ニ師ニ傳ヘヨ。不動ノ十四契十九布字等ノ秘訣遙カニ垂示セラレヨト。予敬諾シテ傳語ヲ申。師領シテ不動瑜伽秘要鈔三卷ヲ述シテ。生馬ニ贈ラル。和尚大ニ悦ビ。平生愛護

スルトコロノ二杵アリ。中ニモ三股杵ヲ秘惜シテ成就物ニ擬ス。報恩ノ爲ニ一杵ヲ寶林山ニ贈ント欲ス。猶豫シテ不決セ。即本尊ノ前ニ於テ鬪ス。三股杵ヲ贈ルベシトノ鬪降タリ。故ニ秘惜ストイヘドモ淨嚴ノ方ニ贈ラル。今ニ寶林山ニアリ。高本三股杵ヲ見タルハ。先師ノ製作ノ次第口訣。佛祖ノ本意ニ叶ヘルニアラズヤ。南方輕雲中ト見タルハ。南山南院ノ良意僧都付法ノ嫡資ナルガ故ナルベシ。或人問孔雀明王ノ咒ヲ誦ジテ悉地ヲ得タルハ。役行者ノミナリ。高祖大師東寺ノ三業ヲ奏シ定メ玉フ時。聲明業ノ中ニ曰ク。聲明業一人。應暗書誦梵字悉曇章一部二卷。兼讀大孔雀明王經一部三卷。又可習聲字實相義文。此孔雀明王經ヲ讀シムルコト。古哲其辯ナシ。高本亦夢ニ明王ヲ拜スルニ分明

●續鑽石上末

四

スルトコロノ二杵アリ。中ニモ三股杵ヲ秘惜シテ成就物ニ擬ス。報恩ノ爲ニ一杵ヲ寶林山ニ贈ント欲ス。猶豫シテ不決セ。即本尊ノ前ニ於テ鬪ス。三股杵ヲ贈ルベシトノ鬪降タリ。故ニ秘惜ストイヘドモ淨嚴ノ方ニ贈ラル。今ニ寶林山ニアリ。高本三股杵ヲ見タルハ。先師ノ製作ノ次第口訣。佛祖ノ本意ニ叶ヘルニアラズヤ。南方輕雲中ト見タルハ。南山南院ノ良意僧都付法ノ嫡資ナルガ故ナルベシ。或人問孔雀明王ノ咒ヲ誦ジテ悉地ヲ得タルハ。役行者ノミナリ。高祖大師東寺ノ三業ヲ奏シ定メ玉フ時。聲明業ノ中ニ曰ク。聲明業一人。應暗書誦梵字悉曇章一部二卷。兼讀大孔雀明王經一部三卷。又可習聲字實相義文。此孔雀明王經ヲ讀シムルコト。古哲其辯ナシ。高本亦夢ニ明王ヲ拜スルニ分明

ナラズ。傷人はヲ教ユ。役小角ノ外又明王ノ悉地ヲ得タル人アリ  
ヤ。答本朝ノ昔ハ傳ナケレバ知ガタシ。宋高僧傳曰。晚唐ノ僧道賢  
常ニ孔雀經ヲ誦持シテ。持明悉地ヲ得。夢中ニ飛行シテ。五天  
竺ヲ巡リ且行且記シテ喜躍シテ不勝。寤ルニ及ンデ能ク五天竺  
ノ梵書。悉曇語言ヲ解ス。西域ノ人來レバ。語ヲ聞テ即チ言ク。汝  
ハ是レ某ノ國ノ人ナリト云ニ不違。若シ胡國ノ人我ハ中天竺ニ南天  
竺ニリト給ク者アレバ。道賢即チ曰ク。公ハ龜茲國ナリ。俱睨彌ノ  
人ナリト云ニ。皆耻辱ヲ受ザルハナシ。能ク密藏ヲ誦習傳受セラ  
レケレバ。諸人大阿闍梨ト仰グトイヘリ。是ヲ以テ案ズルニ。大師ノ  
聲明業ニ加ヘ玉フハ。寔ニ八祖相承ノ口受ナルベシ。又孔雀明王ハ  
西方法部ノ佛ノ座ナリ。宜ナルカナ尾ノ文ハ梵字ナリ。是一字

續鑛石上末

五

悉曇十八章ノ根元ナリ。俱舍ニ云ク於テ孔雀輪一切種因相非  
餘智境界唯一切智知。又破戒品故ニ此經咒ヲ誦ズル人悉曇  
ニ通達スルコト。道理極成セルモノナリ  
十五ニハ佛舍利ヲ感得セル人ノ事  
夫物得ガタキハ珍トナリ。得易キハ貴ブニタラズ。佛舍利ノ貴キコ  
トハ得ガタケレバナリ。然リトイヘドモ世澆季ニ及ンデ。贗物逾多シテ  
淨信ノ者逾鮮シ。多ハ樹脂ヲ拈テ舍利ト稱シ。魚目ヲ裹ンテ摩  
尼ト号ス。走卒兒童モ亦言。吾舍利ヲ持スト。蓋シ贗物得易ケ  
レハナリ。豈珍敬スベケンヤ。夫ノ佛牙佛髮真ノ駄都ノ如キハ。月氏  
赤縣ニスラ猶得者罕ナリ。況ヤ扶桑ノ邊陲ナルヲヤ。昔シ康僧  
會誠ヲ致スコト三七日。初メテ孫權カ信ヲ生ゼシメ。宣律師律ヲ

ナラズ。傷人はヲ教ユ。役小角ノ外又明王ノ悉地ヲ得タル人アリ  
ヤ。答本朝ノ昔ハ傳ナケレバ知ガタシ。宋高僧傳曰。晚唐ノ僧道賢  
常ニ孔雀經ヲ誦持シテ。持明悉地ヲ得。夢中ニ飛行シテ。五天  
竺ヲ巡リ且行且記シテ喜躍シテ不勝。寤ルニ及ンデ能ク五天竺  
ノ梵書。悉曇語言ヲ解ス。西域ノ人來レバ。語ヲ聞テ即チ言ク。汝  
ハ是レ某ノ國ノ人ナリト云ニ不違。若シ胡國ノ人我ハ中天竺ニ南天  
竺ニリト給ク者アレバ。道賢即チ曰ク。公ハ龜茲國ナリ。俱睨彌ノ  
人ナリト云ニ。皆耻辱ヲ受ザルハナシ。能ク密藏ヲ誦習傳受セラ  
レケレバ。諸人大阿闍梨ト仰グトイヘリ。是ヲ以テ案ズルニ。大師ノ  
聲明業ニ加ヘ玉フハ。寔ニ八祖相承ノ口受ナルベシ。又孔雀明王ハ  
西方法部ノ佛ノ座ナリ。宜ナルカナ尾ノ文ハ梵字ナリ。是一字

續鑛石上末

五

悉曇十八章ノ根元ナリ。俱舍ニ云ク於テ孔雀輪一切種因相非  
餘智境界唯一切智知。又破戒品故ニ此經咒ヲ誦ズル人悉曇  
ニ通達スルコト。道理極成セルモノナリ  
十五ニハ佛舍利ヲ感得セル人ノ事  
夫物得ガタキハ珍トナリ。得易キハ貴ブニタラズ。佛舍利ノ貴キコ  
トハ得ガタケレバナリ。然リトイヘドモ世澆季ニ及ンデ。贗物逾多シテ  
淨信ノ者逾鮮シ。多ハ樹脂ヲ拈テ舍利ト稱シ。魚目ヲ裹ンテ摩  
尼ト号ス。走卒兒童モ亦言。吾舍利ヲ持スト。蓋シ贗物得易ケ  
レハナリ。豈珍敬スベケンヤ。夫ノ佛牙佛髮真ノ駄都ノ如キハ。月氏  
赤縣ニスラ猶得者罕ナリ。況ヤ扶桑ノ邊陲ナルヲヤ。昔シ康僧  
會誠ヲ致スコト三七日。初メテ孫權カ信ヲ生ゼシメ。宣律師律ヲ

奉スレトト數十年。漸ク張瓊ヲ授ルコトヲ蒙ル。真ノ馱都寔ニ得ガ  
タレバナリ。我カ葦原ノ中洲。大乘流布ノ域ニシテ。上宮太子。南  
無佛陀ノ掌ノ中ニ舍利ノ光明照耀シ。高祖大師。北闕僧伽ノ  
頂ノ上ニ毘盧ノ寶冠赫如タリ。鼎峯正受ノ暮ノ扉ヲ見バ。全身  
舍利今ニアリ。斑鳩雙調ノ朝ノ鐘ヲ聞バ。一斤ノ摩尼昔ニ異ナ  
ラス。加之ス秦ノ武元ハ夢中ニ一顆ノ寶珠ヲ授承。江親通ハ書  
函ニ六粒ノ馱觀ヲ感得シ。慶圓上人ノ千日護摩ヲ修セシ。壇上  
ノ五瓶ヨリ湧出スルコトヲ感ジ。興正菩薩ノ九旬毘尼ヲ講ゼシ。机  
上ニ降赴スルコトヲ蒙ル。威神靈應寧口揭焉ナルニアラズヤ。亦憑シ  
カラズヤ予元祿乙亥ノ夏。妙經ヲ響田ノ宮ニ講ズ。近村ニ一リノ  
信士アリ。日ニ講筵ニ陪シテ。盛夏炎熱ノ苦シミヲ忘レテ。地上清

續鑽石上末

六

涼ノ益ニ預レリ。其妻字ハ阿繁自本篤信ナリ。暇ヲ窺テ屢講  
場ニ來ル。六月十八日糴粃ヲ造テ僧ニ供養セント欲シテ。自ら精  
米ヲ撰ブニ。盆中炳然トシテ異光アリ。怪ミ見ルニ一顆ノ舍利ヲ得  
タリ。信女歡喜頂戴シテ。淨帟ヲ以テ裹ミ佛壇ニ安置シ。夫ノ歸  
ヲ待テ拜セシメント欲ス。然ニ翌朝忽ニ所在ヲ失ス。信女涕泣シ  
テ普ク探リ索ルニ。臥具ノ上ニ白光迸出ス。驚キ見バ舍利ナリ。信  
女雀躍シテ殿ヲ求テ安置シ。日夕ニ禮拜供養ス。又今茲立春  
ノ夜夢ミラク。嚴麗ノ寶閣ニ珍膳ヲ陳列スト。瑞夢頗多シ。案ニ  
淨信心ノ所感ナリ。豈樹脂魚目ノ類ナランヤ。況ヤ復天竺ノ俗  
米ヲ呼テ舍利ト名ク。信女ノ淨心祭ニ似タリ。中ニ於テ感得ス  
ルコト亦宜ナラズヤ。是ヲ以テ是ヲ觀バ。舍利ノ得ガタキニハアラズ。

奉スルコト數十年。漸ク張瓊ガ授ルコトヲ蒙ル。真ノ馱都寔ニ得ガ  
タレバナリ。我カ葦原ノ中洲ハ。大乘流布ノ域ニシテ。上宮太子。南  
無佛陀ノ掌ノ中ニ舍利ノ光明照耀シ。高祖大師。北闕僧伽ノ  
頂ノ上ニ毘盧ノ寶冠赫如タリ。鼎峯正受ノ暮ノ扉ヲ見バ。全身  
舍利今ニアリ。斑鳩雙調ノ朝ノ鐘ヲ聞バ。一斤ノ摩尼昔ニ異ナ  
ラス。加之ス秦ノ武元ハ夢中ニ一顆ノ寶珠ヲ授承。江親通ハ書  
函ニ六粒ノ馱觀ヲ感得シ。慶圓上人ノ千日護摩ヲ修セシ。壇上  
ノ五瓶ヨリ湧出スルコトヲ感ジ。興正菩薩ノ九旬毘尼ヲ講ゼシ。机  
上ニ降赴スルコトヲ蒙ル。威神靈應寧口揭焉ナルニアラズヤ。亦憑シ  
カラズヤ予元祿乙亥ノ夏。妙經ヲ響田ノ宮ニ講ズ。近村ニ一リノ  
信士アリ。日ニ講筵ニ陪シテ。盛夏炎熱ノ苦シミヲ忘レテ。地上清

續鑽石上末

六

涼ノ益ニ預レリ。其妻字ハ阿繁自本篤信ナリ。暇ヲ窺テ屢講  
場ニ來ル。六月十八日糴粃ヲ造テ僧ニ供養セント欲シテ。自ら精  
米ヲ撰ブニ。盆中炳然トシテ異光アリ。怪ミ見ルニ一顆ノ舍利ヲ得  
タリ。信女歡喜頂戴シテ。淨帟ヲ以テ裹ミ佛壇ニ安置シ。夫ノ歸  
ヲ待テ拜セシメント欲ス。然ニ翌朝忽ニ所在ヲ失ス。信女涕泣シ  
テ普ク探リ索ルニ。臥具ノ上ニ白光迸出ス。驚キ見バ舍利ナリ。信  
女雀躍シテ殿ヲ求テ安置シ。日夕ニ禮拜供養ス。又今茲立春  
ノ夜夢ミラク。嚴麗ノ寶閣ニ珍膳ヲ陳列スト。瑞夢頗多シ。案ニ  
淨信心ノ所感ナリ。豈樹脂魚目ノ類ナランヤ。況ヤ復天竺ノ俗  
米ヲ呼テ舍利ト名ク。信女ノ淨心祭ニ似タリ。中ニ於テ感得ス  
ルコト亦宜ナラズヤ。是ヲ以テ是ヲ觀バ。舍利ノ得ガタキニハアラズ。

淨信ノ人得難キナリ。文曰。如來舍利。一興供養。千遍生天。後證涅槃。此ノ人ノ福豈唐捐ナランヤ。予面會此ヲ拜シテ其淨信ヲ褒シ。其勝德ヲ羨ム。咨育王ハ曾テ登還シ去ヌ。隋帝モ亦何ノ處ニカ在。皇慶ノ拜セザルコトヲ恨ミ。親通カ既ニ逝シコトヲ歎ク。故ニ固陋ヲ忘レテ粗大槩ヲ記スルモノナリ。若後ノ人此辭ヲ感ジテ。又淨信ヲ凝サハ。是予ガ大幸ナラン。元祿八年中秋十八日ニ記ス。○又紀州那賀郡ニ今畑ト云村アリ。孫作ト云者。幼少ヨリ粉川ノ觀音ヲ信仰シテ月詣ヲ始メ。五十餘年ノ間。未ダ曾テ懈ラズ。元祿ノ末ノ比。七十餘ニナリテ。歩行モ成ガタケレバ。或時堂ノ前ニ跪キ白スヤウ。五十餘年。毎月懈ナシトイヘドモ。老衰シテ行歩叶ハザレバ。月詣ヲモ止ベシ。今度こそ御暇乞ナレ。若存命仕ルナ

續鑛石上末

七

ラハ時々ハ參詣仕ルベシトテ。涙ヲ流シ名号ヲ唱ヘケレバ屋裏ボチト鳴ル聲アリ。鼠ノ走ル聲カト仰テ見ルニ。佛舍利三粒。孫作カ膝ノ上ニ落ツ。有難ク思ヒ。紙ニ包ミカヘラントス。傍人見テ。我ニモ一粒分チ與ヨト乞。孫作ユルサス。又前ノ如クボツトト鳴ル。前ヨリハ少南ノ方ニ一粒落テ階ノ下ニ轉ビ落ヌ。傍人往テ尋ルニ不見。孫作後ヨリ行テ見レバ。分明ニ拜レサセ玉フ。此モ觀音ノ我ニ賜ナリトテ同ジク紙ニ包ミテ歸リ。信心懈ラザレバ。三四年ノ内ニ多ク分ジケルトゾ。是彼信士ガ淨信ノ感ズルトコロナリ。或人ノ曰ク。一生不婬ノ人ヲ火葬ニスレバ多ク舍利アリト。又友田ノ舍利。津輕ノ舍利等ハ。真ノ舍利ニアラザルベシ。如何。予答テ曰ク。非情ノ土沙スラ加持スレバ神妙ノ力用アリ。友田津輕ノ舍利モ。信仰シテ舍利禮ヲ唱ルル人ハ。多

淨信ノ人得難キナリ。文曰。如來舍利。一興供養。千遍生天。後證涅槃。此ノ人ノ福豈唐捐ナランヤ。予面會此ヲ拜シテ其淨信ヲ褒シ。其勝德ヲ羨ム。咨育王ハ曾テ登還シ去ヌ。隋帝モ亦何ノ處ニカ在。皇慶ノ拜セザルコトヲ恨ミ。親通カ既ニ逝シコトヲ歎ク。故ニ固陋ヲ忘レテ粗大槩ヲ記スルモノナリ。若後ノ人此辭ヲ感ジテ。又淨信ヲ凝サハ。是予ガ大幸ナラン。元祿八年中秋十八日ニ記ス。○又紀州那賀郡ニ今畑ト云村アリ。孫作ト云者。幼少ヨリ粉川ノ觀音ヲ信仰シテ月詣ヲ始メ。五十餘年ノ間。未ダ曾テ懈ラズ。元祿ノ末ノ比。七十餘ニナリテ。歩行モ成ガタケレバ。或時堂ノ前ニ跪キ白スヤウ。五十餘年。毎月懈ナシトイヘドモ。老衰シテ行歩叶ハザレバ。月詣ヲモ止ベシ。今度こそ御暇乞ナレ。若存命仕ルナ

續鑛石上末

七

ラハ時々ハ參詣仕ルベシトテ。涙ヲ流シ名号ヲ唱ヘケレバ屋裏ボチト鳴ル聲アリ。鼠ノ走ル聲カト仰テ見ルニ。佛舍利三粒。孫作カ膝ノ上ニ落ツ。有難ク思ヒ。紙ニ包ミカヘラントス。傍人見テ。我ニモ一粒分チ與ヨト乞。孫作ユルサス。又前ノ如クボツトト鳴ル。前ヨリハ少南ノ方ニ一粒落テ階ノ下ニ轉ビ落ヌ。傍人往テ尋ルニ不見。孫作後ヨリ行テ見レバ。分明ニ拜レサセ玉フ。此モ觀音ノ我ニ賜ナリトテ同ジク紙ニ包ミテ歸リ。信心懈ラザレバ。三四年ノ内ニ多ク分ジケルトゾ。是彼信士ガ淨信ノ感ズルトコロナリ。或人ノ曰ク。一生不婬ノ人ヲ火葬ニスレバ多ク舍利アリト。又友田ノ舍利。津輕ノ舍利等ハ。真ノ舍利ニアラザルベシ。如何。予答テ曰ク。非情ノ土沙スラ加持スレバ神妙ノ力用アリ。友田津輕ノ舍利モ。信仰シテ舍利禮ヲ唱ルル人ハ。多

ク分身ヲ得。是本地法身法界塔婆故ナリ。況ヤ應身ノ舍利モ處ニ散在ス。法華ノ提婆品曰ク此三千大千世界ノ中ニ芥子ハカリノ地モ佛因位ニ捨身シ玉ハザル處ナシト。然バ友田津輕ハ其頭著ナル處ニシテ。今ニ佛舍利ヲ現ジ玉ナルベシ。天竺ニハ薩埵王子ノ身ヲ捨玉ヒシ跡。須拏那太子ノ二子ヲ婆羅門ニ施シ玉ヘル處。無量劫ヲ經トイヘドモ。草木色ヲ變ジテ血塗ノ相今ニ在トイヘリ。豈信ゼサルベケンヤ。信ハ道ノ元功德ノ母タリ。佛法ノ大海ニハ信ヲ能入トス。不信ノ人ハ寶ノ山ニ入レドモ。手ヲ空フシテ歸ルニ喩ヘ玉ヘリ。伏シテ希ハ信心ヲ發ベキコトヲ

十六ニ寶山湛海和尚上生兜率ノ事

和州生馬山寶山湛海和尚勢州一色村ノ人ナリ。弱冠ニシテ

續鑽石上末

八

出家シ四十八歳ニシテ大鳥山ノ僧房ニ入衆シ。受具ノ後四十年ノ間。至心ニ不動ノ慈救呪ヲ念誦シ。八千枚十萬枚等ノ護摩ヲ修スルコト數回。勇猛強盛ノ修行者ナリ。予前集ノ中ニ頗ル其行狀ヲ記シ。又元祿七年大都行狀ヲ録ス。其後在世廿三年。享年八十八歳ニシテ。享保元年。正月十六日上生シ玉ヘバ。廿三年ノ事跡ヲバ記セズ。今現ニ行狀流布セルヲ以テ。諸人ノ普ク聞知ルトコロナリ。今此集ニハ寂後上生都史ノ應アリシ事ヲ記ス。武州豊嶋ノ郡ニ一女アリ。享保三年ノ春重病ヲ受テ漿飲ヲ絶コト數日。百療手ヲ拱ク。四月三日殆ト死門ニ入已ジテ。一夜ヲ經テ甦生セルニ似タリ。病頓ニ痊テ飲食常ノ如シ。親族喜ヒ怪シム。即チ曰ク妾夢ノ如クニ天宮ニ到ニ。光明閃爍シテ。奇香秘醇

ク分身ヲ得。是本地法身法界塔婆故ナリ。況ヤ應身ノ舍利モ處ニ散在スベシ。法華ノ提婆品ニ曰ク此三千大千世界ノ中ニ芥子ハ

カリノ地モ。佛ノ因位ニ捨身シ玉ハザル處ナシト。然バ友田津輕ハ。其頭著ナル處ニシテ。今ニ佛舍利ヲ現ジ玉ナルベシ。天竺ニハ薩埵王子ノ身ヲ捨玉ヒシ跡。須拏那太子ノ二子ヲ婆羅門ニ施シ玉ヘル處。無量劫ヲ經トイヘドモ。草木色ヲ變ジテ血塗ノ相今ニ在トイヘリ。豈信ゼサルベケンヤ。信ハ道ノ元功德ノ母タリ。佛法ノ大海ニハ信ヲ能入トス。不信ノ人ハ寶ノ山ニ入レドモ。手ヲ空フシテ歸ルニ喩ヘ玉ヘリ。伏シテ希ハ信心ヲ發ベキコトヲ

十六ニ寶山湛海和尚上生兜率ノ事

和州生馬山寶山湛海和尚勢州一色村ノ人ナリ。弱冠ニシテ

續鑽石上末

八

出家シ四十八歳ニシテ大鳥山ノ僧房ニ入衆シ。受具ノ後四十年ノ間。至心ニ不動ノ慈救呪ヲ念誦シ。八千枚十萬枚等ノ護摩ヲ修スルコト數回。勇猛強盛ノ修行者ナリ。予前集ノ中ニ頗ル其行狀ヲ記シ。又元祿七年大都行狀ヲ録ス。其後在世廿三年。享年八十八歳ニシテ。享保元年。正月十六日上生シ玉ヘバ。廿三年ノ事跡ヲバ記セズ。今現ニ行狀流布セルヲ以テ。諸人ノ普ク聞知ルトコロナリ。今此集ニハ寂後上生都史ノ應アリシ事ヲ記ス。武州豊嶋ノ郡ニ一女アリ。享保三年ノ春重病ヲ受テ漿飲ヲ絶コト數日。百療手ヲ拱ク。四月三日殆ト死門ニ入已ジテ。一夜ヲ經テ甦生セルニ似タリ。病頓ニ痊テ飲食常ノ如シ。親族喜ヒ怪シム。即チ曰ク妾夢ノ如クニ天宮ニ到ニ。光明閃爍シテ。奇香秘醇

②上末 08 オ

②上末 08 ウ

瑤池寶樹靈禽音妙ニシテ雅樂遠ク聞フ。金殿玉樓アツテ旛蓋廳。曼陀亂墜ス。一ノ大殿ニ到ルニ。香衣ノ比丘アリ。高座ニ在テ說法シ玉ヘバ。無量ノ僧俗圍繞シテ聽聞ス。妾漸ク高座ニ近イテ膜拜スルニ。比丘告テ曰ク。汝ガ病ハ宿業ノ果ストコロナリ。昔婆扁鵲モ治スルコトアタハジ。若出家セバ業ヲ轉ジテ壽ヲ増スベシト。妾悦テ曰。我今祝髮セシ。師願クハ證明シ玉ヘト。師ノ曰ク。汝約ヲ忘ルコトナカレ。必ず出家セヨト。妾慈誨ヲ聞テ身心適悦シ。即問テ曰ク。阿師ハ何人ゾヤ。師ノ曰ク。我ハ淨嚴ナリ。此處ハ都率ノ内院ナリ。我生平誓フトコロハ。世世ニ閻浮ニ生ジテ。密乘ヲ弘通シ。羣迷ヲ濟度セント。而モ若木薪盡ク。行藏數アルヲ以テ。此ニ居シテ。機ノ興ヲ待ノミ。汝宿福有テ此ニ神遊ス。必ず難染シテ。堅ク齋戒ヲ護

續鑽石上末

九

持セ。末世ノ僧尼破戒ヲ以ノ故ニ。皆地獄ニ墮ツ。尤モ哀ムベシ。次ニ傍ニ一室ヲ見ルニ。香衣ノ老僧壇ヲ構ヘテ。修法スルアリ。妾問伊ハ詎人ゾ。師ノ曰ク。寶山和尚ナリ。願力ノ故ニ來生セリ。而モ未ダ悉地ヲ成就セズ。予モ亦成佛ハ尚迫ナリト。又遙カニ一ノ寶宮ヲ見ニ。高僧在ス。威光赫如タリ。妾又問彼何人ゾ。師ノ曰ク。此ハ是當來導師。彌勒慈尊。即チ我弘法大師ナリ。汝值遇ノ因緣アサカラズ。必ず出家シテ進修セヨ。慎ニ懈怠スルコトナカレト。妾喜ビ骨髓ニ徹シテ。病苦忽ニ除コル。悔イカナ復下界ニ下ルコト。歡歎シテ涙ヲ拭フ。諸人此ヲ聞テ驚歎スルコト不止。或ハ泣或ハ羨ム。養父カ曰ク。我汝ヲ養コトハ。我家ヲ繼シメンガ爲ナリ。然レドモ聖僧ニ值遇シテ。願ヲ發シ壽ヲ延。何ゾ暫クモ塵中ニ羈コトヲ得ヤ

瑤池寶樹靈禽音妙ニシテ。雅樂遠ク聞フ。金殿玉樓アツテ旛蓋廳。曼陀亂墜ス。一ノ大殿ニ到ルニ。香衣ノ比丘アリ。高座ニ在テ說法シ玉ヘバ。無量ノ僧俗圍繞シテ聽聞ス。妾漸ク高座ニ近イテ膜拜スルニ。比丘告テ曰ク。汝ガ病ハ宿業ノ果ストコロナリ。昔婆扁鵲モ治スルコトアタハジ。若出家セバ業ヲ轉ジテ壽ヲ増スベシト。妾悦テ曰。我今祝髮セシ。師願クハ證明シ玉ヘト。師ノ曰ク。汝約ヲ忘ルコトナカレ。必ず出家セヨト。妾慈誨ヲ聞テ身心適悦シ。即問テ曰ク。阿師ハ何人ゾヤ。師ノ曰ク。我ハ淨嚴ナリ。此處ハ都率ノ内院ナリ。我生平誓フトコロハ。世世ニ閻浮ニ生ジテ。密乘ヲ弘通シ。羣迷ヲ濟度セント。而モ若木薪盡ク。行藏數アルヲ以テ。此ニ居シテ。機ノ興ヲ待ノミ。汝宿福有テ此ニ神遊ス。必ず難染シテ。堅ク齋戒ヲ護

續鑽石上末

九

持セヨ。末世ノ僧尼破戒ヲ以ノ故ニ。皆地獄ニ墮ツ。尤モ哀ムベシ。次ニ傍ニ一室ヲ見ルニ。香衣ノ老僧壇ヲ構ヘテ。修法スルアリ。妾問伊ハ詎人ゾ。師ノ曰ク。寶山和尚ナリ。願力ノ故ニ來生セリ。而モ未ダ悉地ヲ成就セズ。予モ亦成佛ハ尚迫ナリト。又遙カニ一ノ寶宮ヲ見ニ。高僧在ス。威光赫如タリ。妾又問彼何人ゾヤ。師ノ曰ク。此ハ是當來導師。彌勒慈尊。即チ我弘法大師ナリ。汝值遇ノ因緣アサカラズ。必ず出家シテ進修セヨ。慎ニ懈怠スルコトナカレト。妾喜ビ骨髓ニ徹シテ。病苦忽ニ除コル。悔イカナ復下界ニ下ルコト。歡歎シテ涙ヲ拭フ。諸人此ヲ聞テ驚歎スルコト不止。或ハ泣或ハ羨ム。養父カ曰ク。我汝ヲ養コトハ。我家ヲ繼シメンガ爲ナリ。然レドモ聖僧ニ值遇シテ。願ヲ發シ壽ヲ延。何ゾ暫クモ塵中ニ羈コトヲ得ヤ

②上末 09ウ

ト即出家ヲ許ス。同廿一日晝衣ヲ被服シテ近住尼トナル。高野山昶遍阿闍梨。東都ニ在テ記シテ傳フ。予先師ニ親炙スルコト三十年。曾テ師ノ意願ヲ知ル。尼カ語ルトコロ眞實ニシテ妄ナズ。又寶山湛海和尚。生馬ノ峯ニ精勤シ玉フ事四十春。影山ヲ不下。享年八十七歳ニシテ。正徳五年臘八ニ諸徒告テ曰ク。予一生苦行確乎。多勇心。現世ニ悉地ヲ得テ壽ヲ延。肉身ヲ持シテ慈氏下生ヲ得トス。然ルニ宿福薄少ニシテ。閉眼ニアリ。今日ヨリ願ヲ都史ノ内宮ニ改ム。汝等是ヲ知ト。即本尊ニ對シテ願ヲ立玉フコトモ。亦復カクノ如シ。已シテ正徳六年正月十六日。蛇ヲ上出シ玉ヘリ。尼カ言符節ヲ合セタルカ如シ。咨奇ナルカナ。先師戰化ノ時ハ。女始テ四歳ナリ。未ダニ師ノ面ヲ不

●續鑛石上末

十

見忽ニ此感通アル。誰カ信伏セザランヤ。今茲海公ノ大祥諱。我師ノ十七回諱ニ當テ。此ノ不思議ノ事ヲ聞テ。且ハ喜且ハ悲。曼々タル長夜何ノ時ニカ且ン。予尼ガ養父ト故アリ。依テ此ヲ録シテ衆人ノ進修ヲ策スモノナリ。先師ガ行狀ニ卷アリ。具ニ述ガタシ。或人問テ曰ク。高本一千五百落又ノ慈救ノ咒ヲ念誦シ。寶山和尚四十年ガ間。精進ニ修行シ玉フニ。悉地成就セザルコト如何。曾テ聞一日ニ慈救咒ヲ二落又滿ジ玉フト。然レバ四十年ハ。一万七千七百餘日ナリ。其中ニ設ヒ障リアリトモ。二千日ヲバ缺ベカラス。一日ニ二十万遍ヲ以テ計レバ。三十八年ニハ。凡ソ三千万萬遍ナラシ。十方ヲ一落又トスル時ハ。三万落又ナリ。一百落又ヲ一俱胝トスル時ハ。三十俱胝遍ナリ。是ノ如ク遍數

ト。即出家ヲ許ス。同廿一日晝衣ヲ被服シテ近住尼トナル。高野山昶遍阿闍梨。東都ニ在テ記シテ傳フ。予先師ニ親炙スルコト三十年。曾テ師ノ意願ヲ知ル。尼カ語ルトコロ眞實ニシテ妄ナラズ。又寶山湛海和尚。生馬ノ峯ニ精勤シ玉フ事四十春。影山ヲ不下。享年八十七歳ニシテ。正徳五年臘八ニ諸徒告テ曰ク。予一生苦行確乎。多勇心。現世ニ悉地ヲ得テ壽ヲ延。肉身ヲ持シテ慈氏下生ヲ得トス。然ルニ宿福薄少ニシテ。閉眼ニアリ。今日ヨリ願ヲ都史ノ内宮ニ改ム。汝等是ヲ知ト。即本尊ニ對シテ願ヲ立玉フコトモ。亦復カクノ如シ。已シテ正徳六年正月十六日。蛇ヲ上出シ玉ヘリ。尼カ言符節ヲ合セタルカ如シ。咨奇ナルカナ。先師戰化ノ時ハ。女始テ四歳ナリ。未ダニ師ノ面ヲ不

●續鑛石上末

十

見。忽ニ此感通アルコト。誰カ信伏セザランヤ。今茲海公ノ大祥諱。我師ノ十七回諱ニ當テ。此ノ不思議ノ事ヲ聞テ。且ハ喜且ハ悲。曼々タル長夜何ノ時ニカ且ン。予尼ガ養父ト故アリ。依テ此ヲ録シテ衆人ノ進修ヲ策スモノナリ。先師ガ行狀ニ卷アリ。具ニ述ガタシ。或人問テ曰ク。高本一千五百落又ノ慈救ノ咒ヲ念誦シ。寶山和尚四十年ガ間。精進ニ修行シ玉フニ。悉地成就セザルコト如何。曾テ聞一日ニ慈救咒ヲ二落又滿ジ玉フト。然レバ四十年ハ。一万七千七百餘日ナリ。其中ニ設ヒ障リアリトモ。二千日ヲバ缺ベカラス。一日ニ二十万遍ヲ以テ計レバ。三十八年ニハ。凡ソ三千万萬遍ナラシ。十方ヲ一落又トスル時ハ。三万落又ナリ。一百落又ヲ一俱胝トスル時ハ。三十俱胝遍ナリ。是ノ如ク遍數

②上末 10ウ

ヲ積トイヘドモ。悉地成ゼズ。不<sub>レ</sub>如念佛三昧ヲ行ジテ。早く淨  
土ニ往生センニハ。是易行道ニシテ。末世相應ノ行ナリト。予答善  
哉問コト予ヲ起スモノナリ。試<sub>ミ</sub>ニ此ヲ論ゼン。時ニ正像末ノ別ア  
リ。邦ニ邊中ノ異アリ。人ニ宿善ノ厚薄勤惰ノ等アリ。故ニ青  
龍ノ仁王疏ニ曰。正法千年。像法千年。末法萬年。此ノ三ノ別ハ。教  
アリ。行者アリ。果證ノ者アルヲ正法ト名ク。教アリ。行者アレドモ。果  
證ナキヲ像法ト名ク。唯シ其教ノミ有テ。行者モナク。果證モナキヲ  
末法ト名ク。今時ヲ考レバ。異說多トイヘドモ。世尊入涅槃ノ後。人王  
第十一代垂仁天皇ノ在位八十一年壬子ヨリ像法ニ入ル。是後漢  
ノ光武皇帝ノ建武二十八年ニ當ル。日本ニハ佛法ノ名字ヲモ聞  
ザル時ナリ。像法五百年ヲ過テ。欽明天皇ノ馭宇ニ。佛法初テ

續鑽石上末

十一

傳ハル。人王七十代後冷泉院ノ。永承六年辛卯二月十六日ヨリ  
末法ニ入ル。初テ白衣ニテ遊行スル僧アリト云。比來六百七十三  
年。三衣ヲ著セル僧ハ麟角ノ如ク。白衣ノ僧ハ牛毛ニ似タリ。像法  
ノ中ニスラ。證果ノ人ナシ。末法ニ入ヌレバ。教ノミニシテ。學教成迷ノ人  
附佛法ノ外道ノミ多クシテ。行者ト證果トノ人ハ絶タリ。然レドモ  
大師ノ曰ク。人法法余ナリ。興廢何時。機根絶クタリ。正像何ソ  
別ント。故ニ役小角。大師等ハ。即身ニ果ヲ證ス。得果ノ人ナキニシ  
モアラス。今ハ末法ナレドモ。既ニ行者アリ。都史ノ内宮ニ生ズル時  
ハ。中品ノ悉地成就ノ人ナリ。何ゾ證ナシト云ヤ。又外相ヲ見テ  
内心ヲ量ルベカラズ。南岳天台ノ權化ナル。猶五品十信ナリト謙ス。  
此ノ大丈夫實ニ内證六淨除蓋ニ階セザルコトナカランヤ。又不空羅

ヲ積トイヘドモ。悉地成ゼズンバ。不<sub>レ</sub>如念佛三昧ヲ行ジテ。早く淨  
土ニ往生センニハ。是易行道ニシテ。末世相應ノ行ナリト。予答善  
哉問コト予ヲ起スモノナリ。試<sub>ミ</sub>ニ此ヲ論ゼン。時ニ正像末ノ別ア  
リ。邦ニ邊中ノ異アリ。人ニ宿善ノ厚薄勤惰ノ等アリ。故ニ青  
龍ノ仁王疏ニ曰。正法千年。像法千年。末法萬年。此ノ三ノ別ハ。教  
アリ。行者アリ。果證ノ者アルヲ正法ト名ク。教アリ。行者アレドモ。果  
證ナキヲ像法ト名ク。唯シ其教ノミ有テ。行者モナク。果證モナキヲ  
末法ト名ク。今時ヲ考レバ。異說多トイヘドモ。世尊入涅槃ノ後。人王  
第十一代垂仁天皇ノ在位八十一年壬子ヨリ像法ニ入ル。是後漢  
ノ光武皇帝ノ。建武二十八年ニ當ル。日本ニハ佛法ノ名字ヲモ聞  
ザル時ナリ。像法五百年ヲ過テ。欽明天皇ノ馭宇ニ。佛法初テ

續鑽石上末

十一

傳ハル。人王七十代後冷泉院ノ。永承六年辛卯二月十六日ヨリ  
末法ニ入ル。初テ白衣ニテ遊行スル僧アリト云。比來六百七十三  
年。三衣ヲ著セル僧ハ麟角ノ如ク。白衣ノ僧ハ牛毛ニ似タリ。像法  
ノ中ニスラ。證果ノ人ナシ。末法ニ入ヌレバ。教ノミニシテ。學教成迷ノ人  
附佛法ノ外道ノミ多クシテ。行者ト證果トノ人ハ絶タリ。然レドモ  
大師ノ曰ク。人法法余ナリ。興廢何時。機根絶クタリ。正像何ソ  
別ント。故ニ役小角。大師等ハ。即身ニ果ヲ證ス。得果ノ人ナキニシ  
モアラス。今ハ末法ナレドモ。既ニ行者アリ。都史ノ内宮ニ生ズル時  
ハ。中品ノ悉地成就ノ人ナリ。何ゾ證ナシト云ヤ。又外相ヲ見テ  
内心ヲ量ルベカラズ。南岳天台ノ權化ナル。猶五品十信ナリト謙ス。  
此ノ大丈夫實ニ内證六淨除蓋ニ階セザルコトナカランヤ。又不空羅

②上末11ウ



索經ノ注ニ曰。西域大咒藏ノ中ニ説ク。佛在世ノ時ハ凡ソ咒法ノ中ニ十万遍ヲ誦ズレバ成ズルコトヲ得ト説玉フコトハ。佛ノ威力ノ故ニ成ズルコトヲ得。佛滅後ニハ。十万遍ヲ誦ジテ不成セトハ。衆生ノ薄福ナルニ依テナリ。須ク百万遍ニシテ成就スベシ。遍數多ナルヲ以テ故ニ。三諸障ヲ消シ。二六咒ニ於テ紳トシテ其功アリ。若衆生アツテ。宿業障重クシテ。百万遍ニシテモ猶悉地ヲ得ズンバ。須ク二百萬遍。或ハ三百萬遍。或ハ四百萬遍。乃至七百萬遍ヲ誦ジ満ズレバ必ズ成就スト。文又問寶山師ノ如キハ。三千万遍ニ過タリ。七百萬遍ニ過タルコト幾倍ゾ。而モ成就ナキハ云何。答不空羅索經翻譯ノ時ハ。唐朝ノ始ナレバ。像法ノ最中ナリ。今ハ末法万年ノ初ナレバ。人ノ福力逾薄ク。重障根鈍ニ邊國ナレバ。天竺ノ如キ

續鑛石上末

十二

香藥花果乳酪酥油ノ支分具足セザルヲ以テ。悉地ヲ得コトカクシ。豈翅密乘ノミナランヤ。諸宗皆同ジ。持律者ト夸ル人ハ木頭ノ異ナラズ。一行三昧ノ稱号ハ。下品下生ヲ得モノ鮮シ。是實ニ教ノミニシテ行ト證ト闕タレバ。皆結緣機ナリ。然レドモ教藥甚深ニシテ醍醐ノ妙味ニ飽キ。數百落又ノ功ヲ積ル人ハ。種々ノ好相感ジ都史上生ノ應アリ。設ヒ外院ニ在トモ。人間ノ二千八百年ノ後ハ必ズ内院ニ入テ證果スベシ。何ゾ汝ガ懈慢界ニ生ジ。或ハ十二大劫蓮胎ニ孕レテ。化他全ク闕タルニ比センヤ。況ヤ陀羅尼集經ノ中ニ分明ノ對比アリ。且夫十念往生ノ文。彌勒所問經ニ由ル時ハ。地上ノ菩薩ノ十念ナリ。觀經ノ十念ハ。隨他意語別時意趣ナリ。醍醐ヲ弃テ牛乳ヲ覓摩尼ヲ擲テ燕石ヲ拾フコト

索經ノ注ニ曰。西域大咒藏ノ中ニ説ク。佛在世ノ時ハ凡ソ咒法ノ中ニ。十万遍ヲ誦ズレバ成ズルコトヲ得ト説玉フコトハ。佛ノ威力ノ故ニ成ズルコトヲ得。佛滅後ニハ。十万遍ヲ誦ジテ不成セトハ。衆生ノ薄福ナルニ依テナリ。須ク百万遍ニシテ成就スベシ。遍數多ナルヲ以テ故ニ。一ニハ諸障ヲ消シ。二ニハ咒ニ於テ紳トシテ其功アリ。若衆生アツテ。宿業障重クシテ。百万遍ニシテモ猶悉地ヲ得ズンバ。須ク二百萬遍。或ハ三百萬遍。或ハ四百萬遍。乃至七百萬遍ヲ誦ジ満ズレバ必ズ成就スト。文又問寶山師ノ如キハ。三千万遍ニ過タリ。七百萬遍ニ過タルコト幾倍ゾ。而モ成就ナキハ云何。答不空羅索經翻譯ノ時ハ。唐朝ノ始ナレバ。像法ノ最中ナリ。今ハ末法万年ノ初ナレバ。人ノ福力逾薄ク。重障根鈍ニ邊國ナレバ。天竺ノ如キ

續鑛石上末

十二

香藥花果乳酪酥油ノ支分具足セザルヲ以テ。悉地ヲ得コトカクシ。豈翅密乘ノミナランヤ。諸宗皆同ジ。持律者ト夸ル人ハ木頭ノ異ナラズ。一行三昧ノ稱号ハ。下品下生ヲ得モノ鮮シ。是實ニ教ノミニシテ行ト證ト闕タレバ。皆結緣機ナリ。然レドモ教藥甚深ニシテ醍醐ノ妙味ニ飽キ。數百落又ノ功ヲ積ル人ハ。種々ノ好相感ジ都史上生ノ應アリ。設ヒ外院ニ在トモ。人間ノ二千八百年ノ後ハ必ズ内院ニ入テ證果スベシ。何ゾ汝ガ懈慢界ニ生ジ。或ハ十二大劫蓮胎ニ孕レテ。化他全ク闕タルニ比センヤ。況ヤ陀羅尼集經ノ中ニ分明ノ對比アリ。且夫十念往生ノ文。彌勒所問經ニ由ル時ハ。地上ノ菩薩ノ十念ナリ。觀經ノ十念ハ。隨他意語別時意趣ナリ。醍醐ヲ弃テ牛乳ヲ覓摩尼ヲ擲テ燕石ヲ拾フコト

②上末12ウ

ナカレ又問兜率ノ内院ハ聖衆ノ集會處ナリ。凡女ノ身到リ拜  
スベカラズ。況ヤ講場ノ消息建壇修法ノ儀式密嚴界會ニ於テ  
何ノ此アラシヤ答フ舍衛城ニ九億ノ家アリ。三億ハ佛ヲ拜シ法  
ヲ聞テ證果ス。三億ノ家ハ佛ノ出世ノ物語ヲ聞トイヘドモ。終ニ  
拜セズ。御說法ヲ聽聞セズ。殘リ三億ノ家ハ。少モ佛ノ出世ヲ不  
知ト。佛ノ在世スラ縁ナキモノハカクノ如シ。佛ノ化身スラ拜シガタ  
シ。況ヤ劣應身勝應身陀受用身ヲヤ。觀佛三昧經ニ曰ク。五百  
ノ釋子アリ。佛ヲ拜スルニ炭人ノ如シ。一千人アリ。佛ノ三十二相  
ヲ拜セズ赤土人ノ如シトヲモヘリ。十六人ノ優婆塞ハ黑象脚ノ如シ  
ト見。優婆夷二十四人ハ。聚墨ノ如シト見。比丘尼アリ佛ハ白銀  
色ナリト見。佛種ニ說法シテ。宿業ヲ懺悔セシメ玉ヘハ。後二漸

續鑽石上末

十三

ク三十二相ヲ拜ストイヘリ濁世未出人ハ。佛在世ノ外道邪見ノ  
人ヨリモ劣レルコト何幾重ゾ。唯淨土ノ相内院ノ樂ヲ聞トイヘドモ  
人間ノ樂ニナゾラヘテ知ノミ。何ソ眞實ノ境界ヲ見ヤ。我等カ如キ  
夢中ニ佛ヲ拜スルハ。石地藏木佛ノ古キ黒色ナル。或ハ畫像ノ  
ス、ケタル。或ハ一尺二尺。五尺八尺ナルニ過ズ。金色ノ形像ヲ夢  
ミルコトスラ希ナリ。況ヤ三十二相莊嚴ノ身ヲヤ。觀經ニ曰無  
量壽佛ノ身ハ高サ六十万億那由多恒河沙由旬ナリト。此地  
上ノ菩薩ノ感見スルトコロニシテ。地前ノ菩薩ニ乘凡夫ノ及バ  
サルトコロナリ。是勝應身スラ及バス。況ヤ他受用身法身等八遍  
一切處ナルヲ以テ。我儕常ニ佛ノ身中ニ住スレドモ知コトナキコ  
ト。日出レドモ盲者ハ不見。雷霆地ヲ振ヘドモ。聾者ハ聞ザルガ如

ナカレ。又問兜率ノ内院ハ聖衆ノ集會處ナリ。凡女ノ身到リ拜  
スベカラズ。況ヤ講場ノ消息建壇修法ノ儀式密嚴界會ニ於テ  
何ノ此アラシヤ答フ舍衛城ニ九億ノ家アリ。三億ハ佛ヲ拜シ法  
ヲ聞テ證果ス。三億ノ家ハ佛ノ出世ノ物語ヲ聞トイヘドモ。終ニ  
拜セズ。御說法ヲ聽聞セズ。殘リ三億ノ家ハ。少モ佛ノ出世ヲ不  
知ト。佛ノ在世スラ縁ナキモノハカクノ如シ。佛ノ化身スラ拜シガタ  
シ。況ヤ劣應身勝應身陀受用身ヲヤ。觀佛三昧經ニ曰ク。五百  
ノ釋子アリ。佛ヲ拜スルニ炭人ノ如シ。一千人アリ。佛ノ三十二相  
ヲ拜セズ赤土人ノ如シトヲモヘリ。十六人ノ優婆塞ハ黑象脚ノ如シ  
ト見。優婆夷二十四人ハ。聚墨ノ如シト見。比丘尼アリ佛ハ白銀  
色ナリト見。佛種ニ說法シテ。宿業ヲ懺悔セシメ玉ヘハ。後二漸

續鑽石上末

十三

ク三十二相ヲ拜ストイヘリ濁世未出人ハ。佛在世ノ外道邪見ノ  
人ヨリモ劣レルコト何幾重ゾ。唯淨土ノ相内院ノ樂ヲ聞トイヘドモ  
人間ノ樂ニナゾラヘテ知ノミ。何ソ眞實ノ境界ヲ見ヤ。我等カ如キ  
夢中ニ佛ヲ拜スルハ。石地藏木佛ノ古キ黒色ナル。或ハ畫像ノ  
ス、ケタル。或ハ一尺二尺。五尺八尺ナルニ過ズ。金色ノ形像ヲ夢  
ミルコトスラ希ナリ。況ヤ三十二相莊嚴ノ身ヲヤ。觀經ニ曰無  
量壽佛ノ身ハ。高サ六十万億那由多恒河沙由旬ナリト。此地  
上ノ菩薩ノ感見スルトコロニシテ。地前ノ菩薩ニ乘凡夫ノ及バ  
サルトコロナリ。是勝應身スラ及バス。況ヤ他受用身法身等八遍  
一切處ナルヲ以テ。我儕常ニ佛ノ身中ニ住スレドモ知コトナキコ  
ト。日出レドモ盲者ハ不見。雷霆地ヲ振ヘドモ。聾者ハ聞ザルガ如

②上末13ウ

シ。故ニ又曰ク。或現大身滿虛空中。或現小身。丈六八尺ト。説ヒ  
八尺ノ化身ヲ拜ストモ。墨聚赤土ノ如クナルベシ。何ゾ其ノ三十二相  
ヲ拜センヤ。元興寺ノ智光ノ掌中ノ淨土ヲ寫セル。法如尼ノ淨  
土ノ變相ヲ感ゼル。實ニ阿彌陀佛ノ一毛端ニモ及バス。彌陀觀  
音ノ化身ヲ拜セル。皆比丘尼ノ形ナリ。然レバ。則信女カ都史ニ  
神遊スル。唯閻浮ノ相ヲ取テ見ヘシ。廣博嚴淨ノ伽藍ト見ハ  
是人間ノ天宮佛土ニアラスヤ。客信伏低頭シテ又問。淨嚴和  
尚宗乘ヲ興隆スルコトハ顯著ナリ。未タ落叉行法ノ功ヲ積コトヲ  
不聞何ニ依テカ上生スルヤ。答此義卒尔ニ答ヘガタシ。千回遠慮  
ストイヘドモ。答ヘズ。却テ給クニ似タリ。少シキ凡ナラザルコトヲ示  
サン。在胎誕生ニ既ニ奇特多シ。幼少ニシテ文字習ハザルニ自ラ

續鑛石上末

十四

知リ二三歳ニシテ自ラ空海ト名乗ル。父恐レテ強テ空經ト号  
セシム。生ナガラノ僧ナリ。盛ニ宗教ヲ宣揚スル時。種々ノ奇瑞多シ  
具ニ述ガタシ。平生ノ雅訓十七條アリ。且ク一二ヲ出サバ。常ニ曰ク  
脅背諂笑。病于夏畦。ト今ノ僧權門勢家ニ走り。日夜經營叩  
頭於臣妾之履。朝夕苞苴。屈膝於僕隸之足。實ニ夏畦ヨリモ  
苦シキニアラスヤ。耻ベシク悲イカナクトテ。公侯貴人ニ交リヲ不結  
彼ヨリ德ヲ慕ヒ來ル時。應ニ隨テ説法スレドモ。饗饗セズ。餉送用  
潤シ早滂。豐儉ヲ借問セズ。唯日夜ニ興隆正法。濟度羣迷ヲ思  
トス。二ニ八平生榮華ヲ不レ欣。籠布木棉衣ヲ著シ。若他人ノ施セル  
絹衣アレバ。領袖裏ニ木棉ヲ著シ。多クハ紙子ヲ著セラレタリ。食物  
ハ一羹一蔬。或ハ無菜ナリ。常ニ徒衆ヲ誡メテ曰ク。儒士スラ猶云

シ。故ニ又曰ク。或現大身滿虛空中。或現小身。丈六八尺ト。設ヒ  
八尺ノ化身ヲ拜ストモ。墨聚赤土ノ如クナルベシ。何ゾ其ノ三十二相  
ヲ拜センヤ。元興寺ノ智光ノ掌中ノ淨土ヲ寫セル。法如尼ノ淨  
土ノ變相ヲ感ゼル。實ニ阿彌陀佛ノ一毛端ニモ及バス。彌陀觀  
音ノ化身ヲ拜セル。皆比丘尼ノ形ナリ。然レバ。則信女カ都史ニ  
神遊スル。唯閻浮ノ相ヲ取テ見ヘシ。廣博嚴淨ノ伽藍ト見ハ  
是人間ノ天宮佛土ニアラスヤ。客信伏低頭シテ又問。淨嚴和  
尚宗乘ヲ興隆スルコトハ顯著ナリ。未タ落叉行法ノ功ヲ積コトヲ  
不聞何ニ依テカ上生スルヤ。答此義卒尔ニ答ヘガタシ。千回遠慮  
ストイヘドモ。答ヘズ。却テ給クニ似タリ。少シキ凡ナラザルコトヲ示  
サン。在胎誕生ニ既ニ奇特多シ。幼少ニシテ文字習ハザルニ自ラ

續鑛石上末

十四

知リ二三歳ニシテ自ラ空海ト名乗ル。父恐レテ強テ空經ト号  
セシム。生ナガラノ僧ナリ。盛ニ宗教ヲ宣揚スル時。種々ノ奇瑞多シ  
具ニ述ガタシ。平生ノ雅訓十七條アリ。且ク一二ヲ出サバ。常ニ曰ク  
脅背諂笑。病于夏畦。ト今ノ僧權門勢家ニ走り。日夜經營叩  
頭於臣妾之履。朝夕苞苴。屈膝於僕隸之足。實ニ夏畦ヨリモ  
苦シキニアラスヤ。耻ベシク悲イカナクトテ。公侯貴人ニ交リヲ不結  
彼ヨリ德ヲ慕ヒ來ル時。應ニ隨テ説法スレドモ。饗饗セズ。餉送用  
潤シ早滂。豐儉ヲ借問セズ。唯日夜ニ興隆正法。濟度羣迷ヲ思  
トス。二ニ八平生榮華ヲ不レ欣。籠布木棉衣ヲ著シ。若他人ノ施セル  
絹衣アレバ。領袖裏ニ木棉ヲ著シ。多クハ紙子ヲ著セラレタリ。食物  
ハ一羹一蔬。或ハ無菜ナリ。常ニ徒衆ヲ誡メテ曰ク。儒士スラ猶云

②上末 14ウ

道ニ志シテ惡衣惡食ヲ耻ルモノハ。未ダ與ニ議ニタラズト。況ヤ沙門遠ク無上道ヲ期シ。剃髮染衣シテ乞食ヲ行トス。何ゾ惡衣惡食ヲ辱ンヤ。彼ノ修學總テ廢シテ。好ンデ王侯ノ門ニ出入シ。肝テ起晏ク食シテ。羣リ集テ食ヲ談シ。戲笑劇談シ。圍碁蹴鞠ヲ遊トスルモノハ。豈沙門ナランヤ。國家ノ大賊ナリ。三ニハ真言上乘ノ機。持戒清淨ノ人ヲ取ベシ。持戒ナラザレバ。其心誠ナシ。苟モ誠アラバ。豈如來ノ制戒ヲ背ンヤ。四ニハ昔シ晋ノ陶侃ハ陶淵明カ曾祖父ナリ。常ニ人ニ語テ曰ク。大禹ノ聖者ナリ。乃シ寸陰ヲ惜ム。衆人ニ至テハ當ニ分陰ヲ惜ムベシ。豈逸遊荒醉シテ。生テ時ニ益ナク。死シテ後ニ聞ルコトナキハ。是自ラ弃ナリト。況ヤ沙門ハ三界ヲ出離シ。無上菩提ヲ期シ。一切衆生ヲ度セント誓フ。若一念片時モ懈怠共。是盡未來際マデ

●續鑽石上末

十五

ノ費ニアラズヤ。五ニハ一切ノ書ヲ讀。一切ノ藝能ニ通達ストモ。菩提心ナクバ。愚者ノ深信ニシテ欺カザレバ。智辯有テ道心ナキハ所謂ル世智辯聰ニシテ。八難ノ隨一ナリ。辯ハ諫ヲ防ギ。詞ハ非ヲ飾テ。動スレバ法ヲ破シ。人ヲ誘ズ。調達ガ六万法藏ヲ暗記セルモ。生身ノ墮獄ヲ不免。善星比丘ノ十二部經ヲ讀ミ。四禪定ヲ得タルモ。未ダ五無間ノ苦患ヲ救フコトナシ。悲イカナ今ノ人。世智辯聰ナルヲ器用ノ人ト稱歎シ。滑稽ノ辯アルモノヲ。學者ト号シ道人ト名ク。我未ダ知ズ其ノ菩提心ハ。一文不通ノ俗士ヨリモ劣レルコトヲ。子曰ク剛毅木訥近仁ト。滑稽ニシテ興アランヨリハ。不如默シテ興ナカラシト。十七个條皆苦口叮嚀ナリ。事繁ケレバ略ス。一生興隆正法度衆生ノ思ヨリ外他ナシ。是利佗ヲ先トス菩薩ノ行ナリ。自行ノ

道ニ志シテ惡衣惡食ヲ耻ルモノハ。未ダ與ニ議ニタラズト。況ヤ沙門遠ク無上道ヲ期シ。剃髮染衣シテ乞食ヲ行トス。何ゾ惡衣惡食ヲ辱ンヤ。彼ノ修學總テ廢シテ。好ンデ王侯ノ門ニ出入シ。肝テ起晏ク食シテ。羣リ集テ食ヲ談シ。戲笑劇談シ。圍碁蹴鞠ヲ遊トスルモノハ。豈沙門ナランヤ。國家ノ大賊ナリ。三ニハ真言上乘ノ機。持戒清淨ノ人ヲ取ベシ。持戒ナラザレバ。其心誠ナシ。苟モ誠アラバ。豈如來ノ制戒ヲ背ンヤ。四ニハ昔シ晋ノ陶侃ハ陶淵明カ曾祖父ナリ。常ニ人ニ語テ曰ク。大禹ノ聖者ナリ。乃シ寸陰ヲ惜ム。衆人ニ至テハ當ニ分陰ヲ惜ムベシ。豈逸遊荒醉シテ。生テ時ニ益ナク。死シテ後ニ聞ルコトナキハ。是自ラ弃ナリト。況ヤ沙門ハ三界ヲ出離シ。無上菩提ヲ期シ。一切衆生ヲ度セント誓フ。若一念片時モ懈怠セバ。是盡未來際マデ

●續鑽石上末

十五

ノ費ニアラズヤ。五ニハ一切ノ書ヲ讀。一切ノ藝能ニ通達ストモ。菩提心ナクバ。愚者ノ深信ニシテ欺カザルニハシカシ。智辯有テ道心ナキハ所謂ル世智辯聰ニシテ。八難ノ隨一ナリ。辯ハ諫ヲ防ギ。詞ハ非ヲ飾テ。動スレバ法ヲ破シ。人ヲ誘ズ。調達ガ六万法藏ヲ暗記セルモ。生身ノ墮獄ヲ不免。善星比丘ノ十二部經ヲ讀ミ。四禪定ヲ得タルモ。未ダ五無間ノ苦患ヲ救フコトナシ。悲イカナ今ノ人。世智辯聰ナルヲ器用ノ人ト稱歎シ。滑稽ノ辯アルモノヲ。學者ト号シ道人ト名ク。我未ダ知ズ其ノ菩提心ハ。一文不通ノ俗士ヨリモ劣レルコトヲ。子曰ク剛毅木訥近仁ト。滑稽ニシテ興アランヨリハ。不如默シテ興ナカラシト。十七个條皆苦口叮嚀ナリ。事繁ケレバ略ス。一生興隆正法度衆生ノ思ヨリ外他ナシ。是利佗ヲ先トス菩薩ノ行ナリ。自行ノ

②上末15ウ

徒ノ偶落又ヲ満シタルト。同日ニ論スベカラズ。都史ニ在コト疑フベカラズ。且夫一切衆生ノ胸問ニ本有法身ノ遮那アリ。自ラ不解。無始ノ間隔遍計所執ノ爲ニ惱レテ。日夜ニ鬪諍絶ルコトナシ。常ニ他ノ爲ニ勝レテ。自ラ負處ニ墮ス。此ノ内障ヲ除クニ。顯乘ノ行者ハ三大無數劫ヲ歴。密宗ノ下根ノ人ハ。六無畏十地ノ位ヲ經。若上根上智ノ人ハ。籌ヲ一念ノ阿字ニ運シ。勝コトヲ三大僧祇ノ外ニ決ス。今日我儕ノ如キハ。結緣機ノミナルヲ以テ。現成悉地ノ人希ナリ。世人軍談ヲ好ム。且ク軍陳ニ寄テ。成佛ノ難キコトヲ明スヘシ。

十七ニハ心王ノ毘盧遮那降魔成道ノ事

問テ曰ク大日經ニ十善戒四波羅夷ヲ説尸羅淨無缺ト説リ。真言行者必ズ顯密ノ諸戒ヲ堅固ニ受持スベシト。大師ノ遺誠

續鑛石上末

十六

淨嚴ノ信女ニ告ラレシ言平生ノ嚴訓欽テ承ンヌ。然ルニ準提如意輪六字大明咒。大佛頂等ニ。不持戒者名持戒ト説。不擇淨不淨。不依齋戒等ノ文アリ。此ハ是何事ゾ。請疑ヲ斷ゼヨ。答軍書ニ曰ク。心ヲ剛ニシテ用心ヲ臆病ニスベシト。若強過テ用心怠ル時ハ必ズ破敗ス。武田信玄ノ城墾ヲ築カザルヲ以テノ故ニ。勝頼ノ代ニ國亡ビ。自ラ剛過タルヲ以テ遠州ニ深入シテ身先立テ亡ブ。惡禪師義圓ノ續勢モナキニ敵陣ニ深入シテ空ク討レ。池田勝入ノ三河ニ夜討シテ討死セシガ如キハ。皆剛ノミニシテ臆シテ用心セザル故ナリ。修行者モ亦然ナリ。十重禁戒ノ隍ヲ深フシテ。尸羅淨無缺ナルハ。用心ノ臆シタルナリ。勇猛ノ菩提心ヲ起シテ。煩惱即菩提ノ觀ヲ勵スハ心ノ剛ナルナリ。末世下根ノ者。卒尔ニ準提ノ軌。六字大明咒ニ依ル時ハ。用心堅

徒ノ偶落又ヲ満シタルト。同日ニ論スベカラズ。都史ニ在コト疑フベカラズ。且夫一切衆生ノ胸問ニ。本有法身ノ遮那アリ。自ラ不解。無始ノ間隔遍計所執ノ爲ニ惱レテ。日夜ニ鬪諍絶ルコトナシ。常ニ他ノ爲ニ勝レテ。自ラ負處ニ墮ス。此ノ内障ヲ除クニ。顯乘ノ行者ハ三大無數劫ヲ歴。密宗ノ下根ノ人ハ。六無畏十地ノ位ヲ經。若上根上智ノ人ハ。籌ヲ一念ノ阿字ニ運シ。勝コトヲ三大僧祇ノ外ニ決ス。今日我儕ノ如キハ。結緣機ノミナルヲ以テ。現成悉地ノ人希ナリ。世人軍談ヲ好ム。且ク軍陳ニ寄テ。成佛ノ難キコトヲ明スヘシ。

十七ニハ心王ノ毘盧遮那降魔成道ノ事

問テ曰ク大日經ニ十善戒四波羅夷ヲ説尸羅淨無缺ト説リ。真言行者必ズ顯密ノ諸戒ヲ堅固ニ受持スベシト。大師ノ遺誠

續鑛石上末

十六

淨嚴ノ信女ニ告ラレシ言平生ノ嚴訓欽テ承ンヌ。然ルニ準提如意輪六字大明咒。大佛頂等ニ。不持戒者名持戒ト説。不擇淨不淨。不依齋戒等ノ文アリ。此ハ是何事ゾ。請疑ヲ斷ゼヨ。答軍書ニ曰ク。心ヲ剛ニシテ用心ヲ臆病ニスベシト。若強過テ用心怠ル時ハ必ズ破敗ス。武田信玄ノ城墾ヲ築カザルヲ以テノ故ニ。勝頼ノ代ニ國亡ビ。自ラ剛過タルヲ以テ遠州ニ深入シテ身先立テ亡ブ。惡禪師義圓ノ續勢モナキニ敵陣ニ深入シテ空ク討レ。池田勝入ノ三河ニ夜討シテ討死セシガ如キハ。皆剛ノミニシテ臆シテ用心セザル故ナリ。修行者モ亦然ナリ。十重禁戒ノ隍ヲ深フシテ。尸羅淨無缺ナルハ。用心ノ臆シタルナリ。勇猛ノ菩提心ヲ起シテ。煩惱即菩提ノ觀ヲ勵スハ心ノ剛ナルナリ。末世下根ノ者。卒尔ニ準提ノ軌。六字大明咒ニ依ル時ハ。用心堅

カラザルヲ以テ煩悩ノ敵ノ爲ニ法身ノ慧命ヲ失ハシト必セリ。問  
然ラハ準提如意輪ノ法。全ク無益カ何レノ時ノ用ゾ。答一切衆  
生ノ各々ノ心中ニ無始ヨリ本覺法身アリ。生佛平等ナリ  
或時忽然トシテ生佛隔歴ノ一念ヲ生ズ。是ヲ根本無明ト名ス  
經ニ曰ク無明ノ羅刹鬼王ト。此大鬼王威力最大ニシテ。生死長  
夜ノ山ニ。無始間隔ノ城塚ヲ築キ。前ニハ三塗八難ノ折處ヲ構  
ヘ。欲海ヲ總堀トシ。愛河ヲ内堀トシ。十二棘藪ノ亂杙逆茂木ヲ  
引市シ。八顛倒ノ門ヲ關シ。十八界ノ樓櫓高ク立並ヘ。内ニハ六十  
二見ノ長屋百八煩惱ノ小屋アリ。後ニハ八寒八熱ノ地獄ヲ造リ  
列シ。五蘊ノ聚落ニ亂入シテ。七聖財ヲ劫奪シ。十善戒四禪八定  
ノ少男女ヲハ猥リニ侵掠シテ。北洲長壽天ニ押込テ永ク出ス。五逆

●續鑛石上末

十七

カラザルヲ以テ。煩悩ノ敵ノ爲ニ。法身ノ慧命ヲ失ハシト必セリ。問  
然ラハ準提如意輪ノ法ハ。全ク無益カ何レノ時ノ用ゾ。答一切衆  
生ノ各々ノ心中ニ。無始ヨリ本覺法身アリ。生佛平等ナリ  
或時忽然トシテ。生佛隔歴ノ一念ヲ生ズ。是ヲ根本無明ト名ク。  
經ニ曰ク無明ノ羅刹鬼王ト。此大鬼王威力最大ニシテ。生死長  
夜ノ山ニ。無始間隔ノ城塚ヲ築キ。前ニハ三塗八難ノ折處ヲ構  
ヘ。欲海ヲ總堀トシ。愛河ヲ内堀トシ。十二棘藪ノ亂杙逆茂木ヲ  
引市シ。八顛倒ノ門ヲ關シ。十八界ノ樓櫓高ク立並ヘ。内ニハ六十  
二見ノ長屋百八煩惱ノ小屋アリ。後ニハ八寒八熱ノ地獄ヲ造リ  
列シ。五蘊ノ聚落ニ亂入シテ。七聖財ヲ劫奪シ。十善戒四禪八定  
ノ少男女ヲハ猥リニ侵掠シテ。北洲長壽天ニ押込テ永ク出ス。五逆

●續鑛石上末

十七

②上末17ウ

ズルナリ。是真言行者ノ初テ三昧耶戒ヲ受テ。三密ノ供養  
行ヲ修スル位ト齊シ。是ヲ第一ノ善ノ無畏ト名ク。二ニハ三  
界皆苦ナリト知テ。出離生死ヲ願ヒ不淨觀等ヲ修行シ。  
羊鹿ノ車ヲ索テ無我ヲ得ルハ。是ヲ第二ノ身無畏ヲ得  
ト名ク。是真言行者ノ本尊ノ三昧。衆相現前スル位ト齊シ。是  
五落又百落又ノ遍數ヲ積テ無明鬼王ノ先陣見惑ノ惡  
源太ヲ攻亡セルナリ。下品悉地成就ノ人ナリ。三ニハ唯蘊無  
我ノ心ニ住シ。人空無漏ヲ證ジ。正ニ三界ヲ出離シ。三百由旬ノ  
惡道ヲ過テ阿羅漢ト成化城ニ入テ安坐スル。是ヲ第三ノ  
無我無畏ヲ得ト名ク。無明鬼王ノ寵臣思惑ノ太郎ガ頸ヲ取  
ルナリ。真言行者。瑜伽ノ種々不思議ノ境界ハ。一切分段ノ中

●續鑽石上末

十八

ニ於テ不可得ナリト觀ジテ。愛慢ヲ生ゼザル位ト齊シ。是見思  
ノ煩惱ヲ斷シ畢テ。永ク輪回ヲ脱ル。即唯蘊拔業ノ二種ノ行  
人。中品ノ悉地成就ノ人ナリ。四ニハ人空涅槃ノ理ヲ得畢テ。少キ  
習氣ヲ侵シ。一分法無我性ヲ悟ル。是通教ノ菩薩ノ如シ。又ハ寂然  
界ノ菩薩ト名ク。是真言行人瑜伽ノ境界ハ。皆水月鏡像ノ如シ  
ト觀ジテ。十喻ノ相ヲ悟ル位。是ト齊シ。是無始間隔ノ城ノ本丸ニ  
攻入。初メテ無明鬼王ト刃ヲ交ヘ。深手ヲ蒙ラシムルカ如シ。是ヲ第四  
ノ法無畏ヲ得ト名ク。是ヨリ後ハ同ク上品ノ悉地成就ノ人ナリ。  
位三賢ニアリ。初阿僧祇劫ヲ度スルナリ。五ニハ唯心識觀ヲ  
修シテ。三界唯心方法識ナリト悟テ。心ノ本不生ヲ覺リ。  
第二阿僧祇劫ヲ過グ。は無明鬼王ノ股肱ノ臣宗室等ヲ

ズルナリ。是真言行者ノ初テ三昧耶戒ヲ受テ。三密ノ供養  
行ヲ修スル位ト齊シ。是ヲ第一ノ善ノ無畏ト名ク。二ニハ三  
界皆苦ナリト知テ。出離生死ヲ願ヒ不淨觀等ヲ修行シ。  
羊鹿ノ車ヲ索テ無我ヲ得ルハ。是ヲ第二ノ身無畏ヲ得  
ト名ク。是真言行者ノ本尊ノ三昧。衆相現前スル位ト齊シ。是  
五落又百落又ノ遍數ヲ積テ無明鬼王ノ先陣見惑ノ惡  
源太ヲ攻亡セルナリ。下品悉地成就ノ人ナリ。三ニハ唯蘊無  
我ノ心ニ住シ。人空無漏ヲ證ジ。正ニ三界ヲ出離シ。三百由旬ノ  
惡道ヲ過テ阿羅漢ト成化城ニ入テ安坐スル。是ヲ第三ノ  
無我無畏ヲ得ト名ク。無明鬼王ノ寵臣思惑ノ太郎ガ頸ヲ取  
ルナリ。真言行者。瑜伽ノ種々不思議ノ境界ハ。一切分段ノ中

●續鑽石上末

十八

ニ於テ不可得ナリト觀ジテ。愛慢ヲ生ゼザル位ト齊シ。是見思  
ノ煩惱ヲ斷シ畢テ。永ク輪回ヲ脱ル。即唯蘊拔業ノ二種ノ行  
人。中品ノ悉地成就ノ人ナリ。四ニハ人空涅槃ノ理ヲ得畢テ。少キ  
習氣ヲ侵シ。一分法無我性ヲ悟ル。是通教ノ菩薩ノ如シ。又ハ寂然  
界ノ菩薩ト名ク。是真言行人瑜伽ノ境界ハ。皆水月鏡像ノ如シ  
ト觀ジテ。十喻ノ相ヲ悟ル位。是ト齊シ。是無始間隔ノ城ノ本丸ニ  
攻入。初メテ無明鬼王ト刃ヲ交ヘ。深手ヲ蒙ラシムルカ如シ。是ヲ第四  
ノ法無畏ヲ得ト名ク。是ヨリ後ハ同ク上品ノ悉地成就ノ人ナリ。  
位三賢ニアリ。初阿僧祇劫ヲ度スルナリ。五ニハ唯心識觀ヲ  
修シテ。三界唯心方法識ナリト悟テ。心ノ本不生ヲ覺リ。  
第二阿僧祇劫ヲ過グ。は無明鬼王ノ股肱ノ臣宗室等ヲ

②上末 18ウ

②上末 18オ

悉ク滅ホトカガシ。是他緣覺心二種ノ菩薩ナリ。位從リ初地  
至ニ七地真言行者。一切ノ境界ハ皆自心ノ功德ナリト知テ  
自在ヲ得ル位此ト齊シ。是ヲ第五ノ法無我無畏ト名ク。六ニ  
ハ兩一乘ノ行者。真如實觀ヲ修シテ。圓融ノ三諦ヲ悟リ。平  
等法界常寂光土ニ居スルナリ。是第三阿僧祇劫ヲ度シテ  
佛果ヲ成ズ。是ヲ十地満足ト名ク。是一道極無二心ノ行者ナ  
リ。即無始間隔ノ城ヲ燒亡シ無明鬼王ヲ縛シテ悶絕セシム  
ルガ如シ。是ヲ一切法自性平等無畏ト名ク。所謂常寂光土  
ハ毘盧遮那ナリ。真言行者諸法ハ無相ナリ。謂ク虚空ノ相ナ  
リト悟テ。勝義ノ菩提心成就スル位。此ト齊シ。凡ソ僧祇ノ梵語  
ニ時分ト妄執トノ二義アリ。顯教ノ說ハ時分ニ約スルカ故ニ。三

●續鑛石上末

十九

大阿僧祇劫ヲ經テ難行苦行シテ成佛スト立ツ。密宗ニハ  
妄執ノ義ニ據。初劫ニハ籠妄執ヲ斷ズ。是見思ノ二惑ヲ斷  
ズルナリ。二劫ニハ塵沙ノ惑ヲ斷ズ。是ヲ細妄執ト名ク。第  
三劫ニハ無明ヲ斷ズ。是ヲ微細妄執ト名ク。然モ此ハ顯  
乘ノ所說ト。比校寄齋スル時ノ事ナリ。密宗ニハ多種ノ惑  
ヲ不立。唯無始間隔ノ一惑ヲ說。是ニ籠細ヲ分テ。三妄執  
ト名ルナリ。故ニ三妄執ハ三部ノ佛徳ナリト悟テ。三大阿僧祇  
劫ヲ不經シテ即身ニ成佛ス。是輪王ノ太子初メテ誕育ス  
ルナリ。初ヨリ無明鬼王ト不戰シテ和談シ。早ク幕下ニ屬セシム  
ルガ如シ。此ハ是機教相應。正機ノ頓覺成佛ノ人ナリ。凡ソ真言ノ  
機ヲ檢校スルニ九種アリ。一ニ迂廻機。是顯乘ヨリ後ニ密ニ歸入

悉ク滅ホトカガシ。是他緣覺心二種ノ菩薩ナリ。位從リ初地  
至ニ七地真言行者。一切ノ境界ハ皆自心ノ功德ナリト知テ。  
自在ヲ得ル位此ト齊シ。是ヲ第五ノ法無我無畏ト名ク。六ニ  
ハ兩一乘ノ行者。真如實觀ヲ修シテ。圓融ノ三諦ヲ悟リ。平  
等法界常寂光土ニ居スルナリ。是第三阿僧祇劫ヲ度シテ  
佛果ヲ成ズ。是ヲ十地満足ト名ク。是一道極無二心ノ行者ナ  
リ。即無始間隔ノ城ヲ燒亡シ無明鬼王ヲ縛シテ悶絕セシム  
ルガ如シ。是ヲ一切法自性平等無畏ト名ク。所謂常寂光土  
ハ毘盧遮那ナリ。真言行者諸法ハ無相ナリ。謂ク虚空ノ相ナ  
リト悟テ。勝義ノ菩提心成就スル位。此ト齊シ。凡ソ僧祇ノ梵語  
ニ時分ト妄執トノ二義アリ。顯教ノ說ハ時分ニ約スルカ故ニ。三

●續鑛石上末

十九

大阿僧祇劫ヲ經テ難行苦行シテ成佛スト立ツ。密宗ニハ  
妄執ノ義ニ據。初劫ニハ籠妄執ヲ斷ズ。是見思ノ二惑ヲ斷  
ズルナリ。二劫ニハ塵沙ノ惑ヲ斷ズ。是ヲ細妄執ト名ク。第  
三劫ニハ無明ヲ斷ズ。是ヲ微細妄執ト名ク。然モ此ハ顯  
乘ノ所說ト。比校寄齋スル時ノ事ナリ。密宗ニハ多種ノ惑  
ヲ不立。唯無始間隔ノ一惑ヲ說。是ニ籠細ヲ分テ。三妄執  
ト名ルナリ。故ニ三妄執ハ三部ノ佛徳ナリト悟テ。三大阿僧祇  
劫ヲ不經シテ即身ニ成佛ス。是輪王ノ太子初メテ誕育ス  
ルナリ。初ヨリ無明鬼王ト不戰シテ和談シ。早ク幕下ニ屬セシム  
ルガ如シ。此ハ是機教相應。正機ノ頓覺成佛ノ人ナリ。凡ソ真言ノ  
機ヲ檢校スルニ九種アリ。一ニ迂廻機。是顯乘ヨリ後ニ密ニ歸入

②上末19ウ



スル人迂曲シテ秘密ニ入カ故ニ名クニ二ハ漸次機。此ハ初ヨリ  
密教ニ遇トイヘドモ機根劣ナルガ故ニ。次第二十住心ヲ經テ。後ニ終  
ニ本不生際ヲ悟テ成佛スルナリ。三ニハ直往機。是ハ最初ヨリ  
密教ヲ學ビ深信猛利ノ人ナリ。此ニ又三ノ別アリ。初ニハ結緣機。今  
日我門カ如キ者。幼少ヨリ密教ヲ學トイヘドモ業障厚重ニシテ。下  
品ノ悉地ヲモ得コトアタハザルナリ。次ニハ傍機ニ又二アリ。或ハ顯密傍  
修シ。或ハ誦咒ノミヲ勤メ。觀念バカリヲ尊ミ。三密具足セザレバ傍機  
ト名ク。後ニハ正機。是ハ大度量勇銳無惑ノ人。具ニ三密ヲ修シテ  
即身成佛スル人。上品悉地成就ノ人ナリ。此モ亦三ノ別アリ。三頓機  
一念一時等ノ修行ニテ成佛スルナリ。次ニ極大頓機ハ。發心即到ノ大機  
ナリ。二ニハ漸機。一生ニ漸ク修行シ成佛スル人ナリ。三ニハ超機ニ地ヨリ

●續鑛石上末

二十

超テ第七地ヲ證スル人ナリ。是ハ六地ハ大悲爲根ノ句ノ故ニ。大悲心  
切ナレバ。頓ニ超ルコト。千手經ノ說ノ如シ。已上合シテ九箇ノ機辨別  
ス。トイヘドモ五百年來ノ真言師ハ悉ク結緣機ニシテ。正機ノ人ハ鮮シ。千  
万人ノ中ニ若一人正機ナル有トモ。頓超ニハアラズ。漸機ナルベシ又秘密ノ  
斷惑證理ヲ明スニ。十住心。六無畏ノ不同。三劫寶珠。輪王太子ノ  
喻アリ。畧シテ上ニ出カ如シ。此書ノ宗トスル處ナリ。法花ニ譬如強  
力轉輪聖王ト説ハ。自心本有ノ金輪王佛頂ナリ。故ニ十佛刹塵ノ  
內大ニ眷屬。本ヨリ集會スト云。其討伐ノ消息ハ本ヨリ廣大金剛  
法界宮ヲ皇居トス。其高シテ中邊ナシ。當ニ知ベシ廣ニシテ無際ナリ。  
本有大悲願ノ海ヲ總堀トシ。清涼池ヲ内堀トシ。有門空門空  
有門非空有門ヲ構ヘ。息增愛降ノ四令ヲ正シクシ。八正道ヲ開キ。

スル人迂曲シテ秘密ニ入カ故ニ名クニ二ニハ漸次機。此ハ初ヨリ  
密教ニ遇トイヘドモ機根劣ナルガ故ニ。次第二十住心ヲ經テ。後ニ終  
ニ本不生際ヲ悟テ成佛スルナリ。三ニハ直往機。是ハ最初ヨリ  
密教ヲ學ビ深信猛利ノ人ナリ。此ニ又三ノ別アリ。初ニハ結緣機。今  
日我門カ如キ者。幼少ヨリ密教ヲ學トイヘドモ業障厚重ニシテ。下  
品ノ悉地ヲモ得コトアタハザルナリ。次ニハ傍機ニ又二アリ。或ハ顯密傍  
修シ。或ハ誦咒ノミヲ勤メ。觀念バカリヲ尊ミ。三密具足セザレバ傍機  
ト名ク。後ニハ正機。是ハ大度量勇銳無惑ノ人。具ニ三密ヲ修シテ  
即身成佛スル人。上品悉地成就ノ人ナリ。是ニモ亦三ノ別アリ。一ニハ頓機。  
一念一時等ノ修行ニテ成佛スルナリ。次ニ極大頓機ハ。發心即到ノ大機  
ナリ。二ニハ漸機。一生ニ漸ク修行シ成佛スル人ナリ。三ニハ超機ニ地ヨリ

●續鑛石上末

二十

超テ第七地ヲ證ズル人ナリ。是ハ六地ハ大悲爲根ノ句ノ故ニ。大悲心  
切ナレバ。頓ニ超ルコト。千手經ノ說ノ如シ。已上合シテ九箇ノ機辨別  
ス。トイヘドモ五百年來ノ真言師ハ。悉ク結緣機ニシテ。正機ノ人ハ鮮シ。千  
万人ノ中ニ若一人正機ナル有トモ。頓超ニハアラズ。漸機ナルベシ又秘密ノ  
斷惑證理ヲ明スニ。十住心。六無畏ノ不同。三劫寶珠。輪王太子ノ  
喻アリ。畧シテ上ニ出スカ如シ。此書ノ宗トスル處ナリ。法花ニ譬如強  
力轉輪聖王ト説ハ。自心本有ノ金輪王佛頂ナリ。故ニ十佛刹塵ノ  
內大ニ眷屬。本ヨリ集會スト云。其討伐ノ消息ハ本ヨリ廣大金剛  
法界宮ヲ皇居トス。其高シテ中邊ナシ。當ニ知ベシ廣ニシテ無際ナリ。  
本有大悲願ノ海ヲ總堀トシ。清涼池ヲ内堀トシ。有門空門空  
有門非空有門ヲ構ヘ。息增愛降ノ四令ヲ正シクシ。八正道ヲ開キ。

②上末 20ウ

六大無導。遮情表德ノ駈引ヲ自在ナラシメ。三密加持ノ妙感妙應。海潮ノ忒ハザル如ク。各勇健ノ大菩提心ヲ幢旗ヲ建。寶幢如來勝軍地藏ヲ以テ先陣ト定メ。各一門ヨリ大空ノ戰具ヲ執テ向フ。所謂召罪ノ金熊手。推罪ノ鐵碎棒。業障除ノ薙鎌。成菩提ノ鉞斧。大空ノ大長刀。或ハ阿字ノ一刀ヲ帶シ。中道ノ手鐙ヲ提タル持金剛衆モアリ。如來爍乞底鉢。寶楮。千輻輪。五股三股獨股羯磨杵ヲ持セル聖衆モアリ。或ハ師子王。或ハ象。金翅鳥孔雀ニ乘ル菩薩モアリ。各大精進ノ腹卷シ。大悲行願ノ五枚胃ニ。三股ヲ立物ニシタルヲ猪頸ニ著成。忍辱ノ鎧甲ヲ著。神通乗ト云ル馬ノ籠。逞ニ大金剛輪ノ鞍ヲ置。利行同事ノ兩鐙。折伏攝受ノ兩手綱ヲ執リ。慈悲ノ瞞當シ。喜捨ノ籠手ヲ指。金剛喻定ノ弓ニ方便ノ

續鑽石上末

二十一

弦ヲ掛。智慧ノ鎬矢。降伏ノ大鴈股五十二位指タル舍磨多毘婆舍那ノ空穗。箭消高ニ肩成シ。各々ノ慧眼ヲ開テ。無明ノ昏夜ヲ破シ玉ヘハ。無始間隔ノ城落ルコト跟ヲ運スベカラズ。然ルニ末世ノ行者ハ。動スレバ妄念起リ。懈怠ヲ生ズルハ叛逆人ノ出來レルカ如シ。務テ對治スベシ。其法具。蘊悉地。妙辟經等ニ説玉ヘリ。法華ニ輪王ノ髻中ノ明珠ヲ賜ト云ハ。礦石中ノ如意珠ナリ。置在高幢雨種種寶ハ。正ク佛果。此集ノ宗トスルコトコ。地藏ノ三昧ナリ。勤メテ早ク是ヲ得ベシ。且夫漢ノ高祖ノ快ク天下ヲ保ツモ。張良韓信蕭何ノ三傑ヲ用タル故ナリ。今モ亦是ノ如シ。籌策ヲ一阿中道ノ觀ニ運シ。勝コトヲ三大僧祇ノ外ニ決スルコトハ。文殊準。毘愛染王等ノ三昧ナリ。十佛刹塵ヲ持金剛衆ヲ連テ。戰ハ則チ勝。攻ハ則取コ

六大無導。遮情表德ノ駈引ヲ自在ナラシメ。三密加持ノ妙感妙應。海潮ノ忒ハザル如ク。各勇健ノ大菩提心ヲ幢旗ヲ建。寶幢如來勝軍地藏ヲ以テ先陣ト定メ。各一門ヨリ大空ノ戰具ヲ執テ向フ。所謂召罪ノ金熊手。推罪ノ鐵碎棒。業障除ノ薙鎌。成菩提ノ鉞斧。大空ノ大長刀。或ハ阿字ノ一刀ヲ帶シ。中道ノ手鐙ヲ提タル持金剛衆モアリ。如來爍乞底鉢。寶楮。千輻輪。五股三股獨股羯磨杵ヲ持セル聖衆モアリ。或ハ師子王。或ハ象。金翅鳥孔雀ニ乘ル菩薩モアリ。各大精進ノ腹卷シ。大悲行願ノ五枚胃ニ。三股ヲ立物ニシタルヲ猪頸ニ著成。忍辱ノ鎧甲ヲ著。神通乗ト云ル馬ノ籠。逞ニ大金剛輪ノ鞍ヲ置。利行同事ノ兩鐙。折伏攝受ノ兩手綱ヲ執リ。慈悲ノ瞞當シ。喜捨ノ籠手ヲ指。金剛喻定ノ弓ニ方便ノ

續鑽石上末

二十一

弦ヲ掛。智慧ノ鎬矢。降伏ノ大鴈股五十二位指タル舍磨多毘婆舍那ノ空穗。箭消高ニ肩成シ。各々ノ慧眼ヲ開テ。無明ノ昏夜ヲ破シ玉ヘハ。無始間隔ノ城落ルコト跟ヲ運スベカラズ。然ルニ末世ノ行者ハ。動スレバ妄念起リ。懈怠ヲ生ズルハ叛逆人ノ出來レルカ如シ。務テ對治スベシ。其法具。蘊悉地。妙辟經等ニ説玉ヘリ。法華ニ輪王ノ髻中ノ明珠ヲ賜ト云ハ。礦石中ノ如意珠ナリ。置在高幢雨種種寶ハ。正ク佛果。此集ノ宗トスルコトコ。地藏ノ三昧ナリ。勤メテ早ク是ヲ得ベシ。且夫漢ノ高祖ノ快ク天下ヲ保ツモ。張良韓信蕭何ノ三傑ヲ用タル故ナリ。今モ亦是ノ如シ。籌策ヲ一阿中道ノ觀ニ運シ。勝コトヲ三大僧祇ノ外ニ決スルコトハ。文殊準。毘愛染王等ノ三昧ナリ。十佛刹塵ノ持金剛衆ヲ連テ。戰ハ則チ勝。攻ハ則取コ

②上末21ウ

トハ金剛手。不動。降三世ノ三昧ナリ。六度万行ノ資糧ヲ相給シテ。陣中ノ兵糧ヲ断シメザルハ。寶生。虚空藏。地藏ノ三昧ナリ。先ニ地藏尊ヲ先陣旗指ト云コトハ。經ニ勝軍金剛幢ト説キ。寶幢大金剛トモ説カ故ナリ。即此淨菩提心ノ如意寶珠ヲ得ル時ハ。此尊ノ所持ノ幢幡ノ上ニ安置シテ。万寶ヲ雨シ世出世ノ勝希願ヲ満足セシム。此等ノ諸尊ノ功德。皆人人本ヨリ具足シ。缺減アルコトナシ。必ズ是ヲ發得セヨ。若煩惱妄想ノ叛逆起ラハ。急ニ是ヲ伐滅スベシ。後悔スルコトナカレ。兼テ五戒十善。二百五十ノ隍ヲ深シテ用心スヘシトハ是ナリ。設ヒ結緣機ナリトモ。功ヲ積ナバ漸機トナルベシ。漸機モ亦頓機トモ成ヘシ。十落又百落又。乃至百俱胝ノ遍數ヲ満スルハ。段々ニ城ヲ攻ルカ如シ。文殊。準胝。五祕密等ニ依テ。生佛平等。魔即法

續鑛石上末

二十一

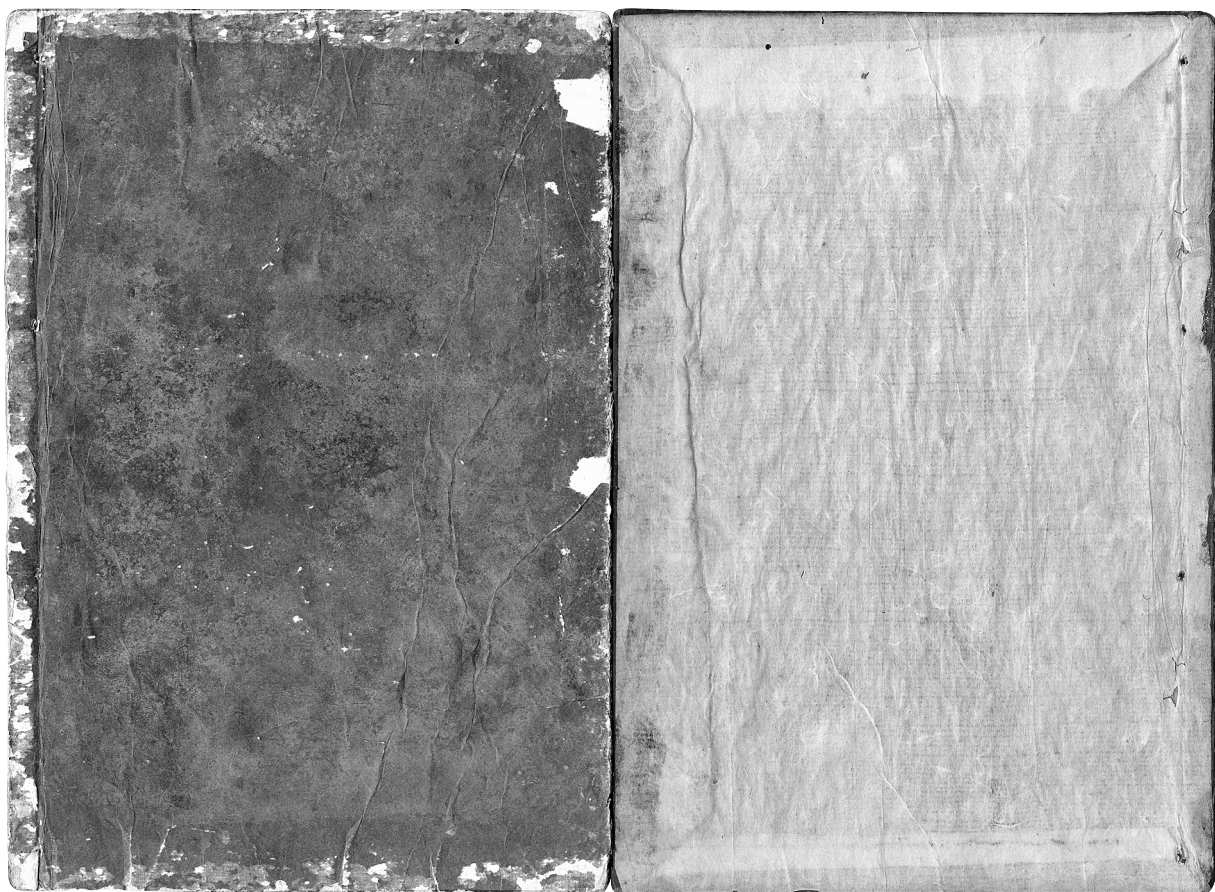
トハ。金剛手。不動。降三世ノ三昧ナリ。六度万行ノ資糧ヲ相給シテ。陣中ノ兵糧ヲ断シメザルハ。寶生。虚空藏。地藏ノ三昧ナリ。先ニ地藏尊ヲ先陣旗指ト云コトハ。經ニ勝軍金剛幢ト説キ。寶幢大金剛トモ説カ故ナリ。即此淨菩提心ノ如意寶珠ヲ得ル時ハ。此尊ノ所持ノ幢幡ノ上ニ安置シテ。万寶ヲ雨シ世出世ノ勝希願ヲ満足セシム。此等ノ諸尊ノ功德。皆人人本ヨリ具足シ。缺減アルコトナシ。必ズ是ヲ發得セヨ。若煩惱妄想ノ叛逆起ラハ。急ニ是ヲ伐滅スベシ。後悔スルコトナカレ。兼テ五戒十善。二百五十ノ隍ヲ深シテ用心スヘシトハ是ナリ。設ヒ結緣機ナリトモ。功ヲ積ナバ漸機トナルベシ。漸機モ亦頓機トモ成ヘシ。十落又百落又。乃至百俱胝ノ遍數ヲ満スルハ。段々ニ城ヲ攻ルカ如シ。文殊。準胝。五祕密等ニ依テ。生佛平等。魔即法

續鑛石上末

二十一

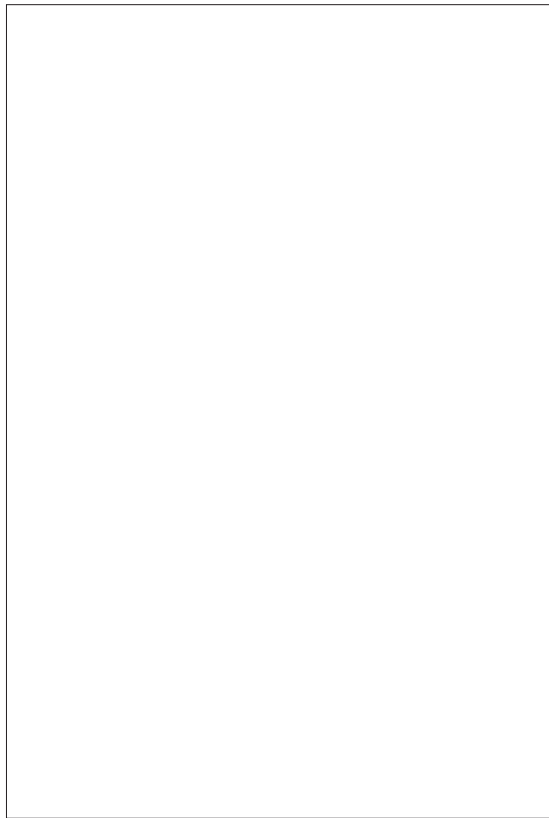
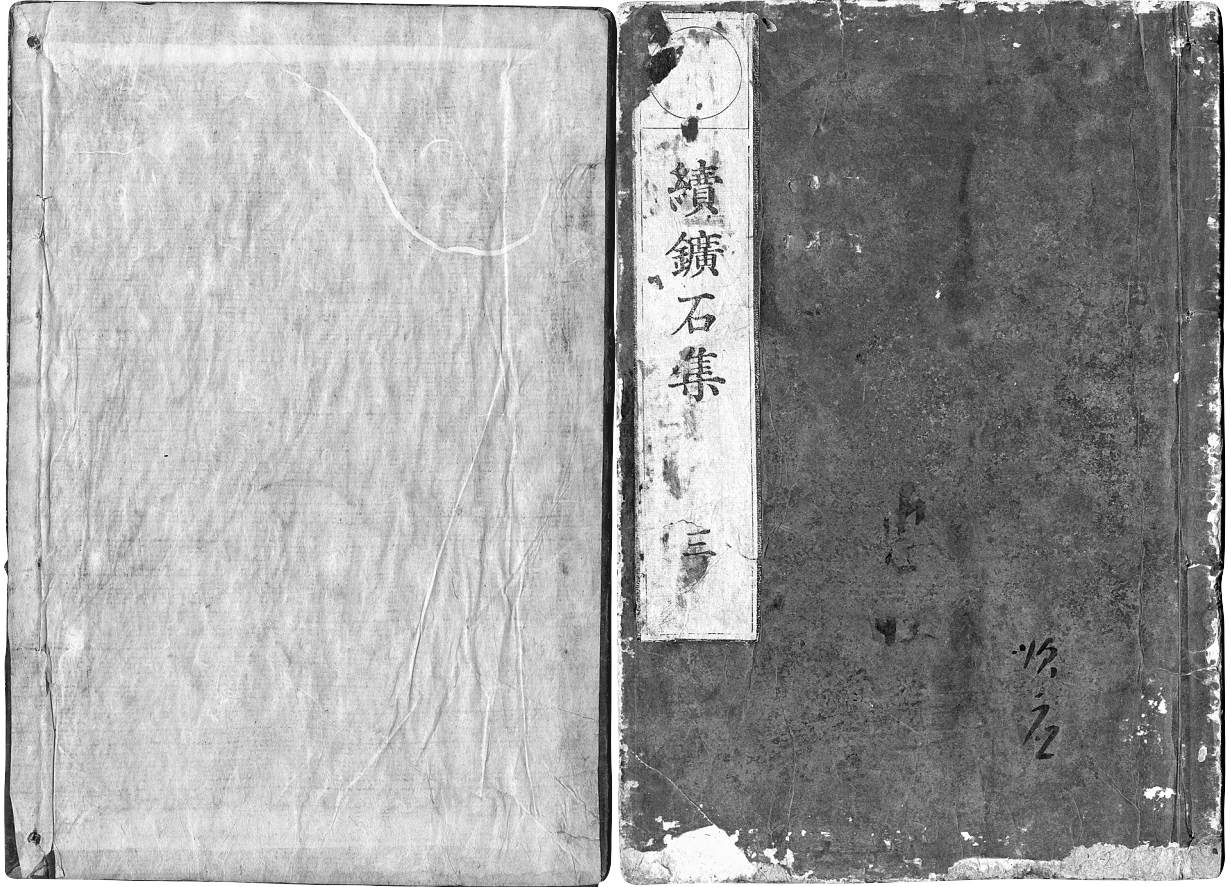
②上末22オ

②上末22ウ



「②上末  
裏表紙

(白丁)「②上末裏表紙見返



〔白丁〕③上末表表紙見返



〔③上末表表紙

順應

中八分ノ肉團干栗那心ノ上。阿字月輪ヲ觀ジテ。本有ノ心月輪悉多心顯現スルヲ。眞勝義諦ヲ見ト名。又淨法界ト名。又ハ無覺了ト名ケ。又ハ實相般若波羅蜜海ト名ク。是ノ心月輪卷舒自在ナル一切智ト名ク。觀成就ノ後ハ能所觀ヲ忘ズルカ故ニ。又ハ無分別觀ト名ク。無畏ノ曰ク。遍周ノ後ハ復方圓ナシト。又曰衆生ノ自心品。即是一切智。如實了知名爲一切智者。文又曰一切衆生ノ色心實相。從本際已來常是毘盧遮那平等智身。非是得菩提時強空諸法。使成法界也。文既ニ心佛衆生三平等ナルガ故ニ。自心即大日。即彌勒地藏ナリ。手ニ佛印ヲ結ビ。口眞言ヲ誦ジ。心六大平等ノ觀ニ住スレバ。即身即佛ナリ。又三平等ノ故ニ。我誦ズル眞言ハ。法界衆生ノ誦ズルナリ。法界衆生三

續鑽石上末

二十三

中八分ノ肉團干栗那心ノ上。阿字月輪ヲ觀ジテ。本有ノ心月輪悉多心顯現スルヲ。眞勝義諦ヲ見ト名。又淨法界ト名。又ハ無覺了ト名ケ。又ハ實相般若波羅蜜海ト名ク。是ノ心月輪卷舒自在ナル一切智ト名ク。觀成就ノ後ハ能所觀ヲ忘ズルカ故ニ。又ハ無分別觀ト名ク。無畏ノ曰ク。遍周ノ後ハ復方圓ナシト。又曰衆生ノ自心品。即是一切智。如實了知名爲一切智者。文又曰一切衆生ノ色心實相。從本際已來常是毘盧遮那平等智身。非是得菩提時強空諸法。使成法界也。文既ニ心佛衆生三平等ナルガ故ニ。自心即大日。即彌勒地藏ナリ。手ニ佛印ヲ結ビ。口眞言ヲ誦ジ。心六大平等ノ觀ニ住スレバ。即身即佛ナリ。又三平等ノ故ニ。我誦ズル眞言ハ。法界衆生ノ誦ズルナリ。法界衆生三

續鑽石上末

二十三

③上末 23 才

③上末 23 ウ

妙觀ヲ修スル時ハ。根本無明無始ノ間隔ノ城即チ崩レ。四魔ハ  
魔自降シテ即身ニ成佛ス。故ニ大師ノ曰ク。超ニ三大僧祇於一念  
阿字具無量福智於三密金剛。末世ノ行者ハ放逸破戒ナ  
レバ。禁ナフシテ蛇ヲ捉ヘテ整殺サル、ガ如シ。持戒ナリトイヘドモ觀  
智ナケレバ。唯人天勝妙ノ果報ヲ感ズルノミニシテ。斷惑證理ノ功  
ナシ。戒ハ賊ヲ捉フルニ喩ヘ。定ハ賊ヲ縛ルニ喩ヘ。慧ハ賊ヲ殺スニ喩フ。  
持戒ノ上ニ三密ノ妙行ヲ勵スハ。速ニ賊ヲ討カ如シ。用心ノミ臆  
病ニスルハ手前ノ城郭ヲノミ守ルガ如クナレバ。未ダ三界ヲ出離セズ  
甚。危シ。妙觀ヲ修行スルハ無明天魔ヲ降參セシメ。太平ノ化ヲ致  
スガ如シ。此ヲ文殊準。祇愛菩薩ノ喩ト云。此ノ喩ヲ降伏ノ邊ニテ  
ハ直ニ不動降三世ノ利劍ヲ以テ。根本無明ノ頭ヲ斬大自在天  
ヲ踏殺スト云ナリ。佛在世ノ六群比丘。二人ハ破戒ノ故ニ龍趣ニ墮  
シ。二人ハ持戒ナリトイヘドモ。觀智ナキヲ以テ天ニ生ジ。二人ハ觀智ヲ  
策スヲ以テ羅漢果ヲ得。是權化ナリトイヘドモ。權ハ必ズ實ヲ引  
持戒ノミニシテ大乘ノ修行ナキハ。唯人天ノ果報ノミニナレバ。癡福  
ハ三生ノ敵ナリ。勤テ三密ノ行ヲ勵スベシ。祕密修行ノ人ハ。四重ハ  
重五無間罪ヲモ頓ニ消滅シテ。都史ノ内宮ニ生ジ。安養ノ上品上  
生ニ生ズ。故ニ文殊軌云。能以凡夫身現成就佛身。或起於一念言  
我是凡夫同誑三世佛法中結重罪。又曰五字ノ咒。五俱祇  
遍誦ズレバ阿耨菩提ヲ成ズト云。五俱祇遍トハ五百万遍ナリ。準  
祇軌云。不擇淨穢至心誦持スレバ。肉身ヲ轉ズシテ兜率天ニ  
往キ。便チ十方ノ淨土ニ往詣スルコトヲ得トイヘリ。無量壽ノ軌ニ

續鑽石上末

二十四

妙觀ヲ修スル時ハ。根本無明無始ノ間隔ノ城即チ崩レ。四魔ハ  
魔自降シテ即身ニ成佛ス。故ニ大師ノ曰ク。超ニ三大僧祇於一念ノ  
阿字具無量福智於三密金剛。末世ノ行者ハ放逸破戒ナ  
レバ。禁ナフシテ蛇ヲ捉ヘテ整殺サル、ガ如シ。持戒ナリトイヘドモ觀  
智ナケレバ。唯人天勝妙ノ果報ヲ感ズルノミニシテ。斷惑證理ノ功  
ナシ。戒ハ賊ヲ捉フルニ喩ヘ。定ハ賊ヲ縛ルニ喩ヘ。慧ハ賊ヲ殺スニ喩フ。  
持戒ノ上ニ三密ノ妙行ヲ勵スハ。速ニ賊ヲ討カ如シ。用心ノミ臆  
病ニスルハ手前ノ城郭ヲノミ守ルガ如クナレバ。未ダ三界ヲ出離セズ  
甚。危シ。妙觀ヲ修行スルハ無明天魔ヲ降參セシメ。太平ノ化ヲ致  
スガ如シ。此ヲ文殊準。祇愛菩薩ノ喩ト云。此ノ喩ヲ降伏ノ邊ニテ  
ハ直ニ不動降三世ノ利劍ヲ以テ。根本無明ノ頭ヲ斬。大自在天  
ヲ踏殺スト云ナリ。佛在世ノ六群比丘。二人ハ破戒ノ故ニ龍趣ニ墮  
シ。二人ハ持戒ナリトイヘドモ。觀智ナキヲ以テ天ニ生ジ。二人ハ觀智ヲ  
策スヲ以テ羅漢果ヲ得。是權化ナリトイヘドモ。權ハ必ズ實ヲ引  
持戒ノミニシテ大乘ノ修行ナキハ。唯人天ノ果報ノミニナレバ。癡福  
ハ三生ノ敵ナリ。勤テ三密ノ行ヲ勵スベシ。祕密修行ノ人ハ。四重ハ  
重五無間罪ヲモ頓ニ消滅シテ。都史ノ内宮ニ生ジ。安養ノ上品上  
生ニ生ズ。故ニ文殊軌云。能以凡夫身現成就佛身。或起於一念言  
我是凡夫同誑三世佛法中結重罪。又曰五字ノ咒。五俱祇  
遍誦ズレバ阿耨菩提ヲ成ズト云。五俱祇遍トハ五百万遍ナリ。準  
祇軌云。不擇淨穢至心誦持スレバ。肉身ヲ轉ズシテ兜率天ニ  
往キ。便チ十方ノ淨土ニ往詣スルコトヲ得トイヘリ。無量壽ノ軌ニ

續鑽石上末

二十四

③上末 24ウ

云。此陀羅尼ヲ纒ニ一遍ヲ誦スレバ。則身中ノ十惡四重五無間罪ヲ滅シ。一切ノ業障悉皆消滅ス。一万遍ヲ誦ジ滿ズレバ。不廢忘菩提心三摩地ヲ獲得シテ。菩提心身中ニ顯現シテ。皎潔圓明ナルコト淨月ノ如ク。命終ノ時ニ臨ンテ無量壽如來。無量俱胝ノ菩薩衆ノ爲ニ圍遶セラレテ來迎シ。行者ヲ安慰シ。即極樂世界ノ上品上生ニ生ジテ。菩薩ノ位ヲ證スト文イヘリ。都率安養共ニ不退位ナレバ。成佛スルコト甚近シ。況ヤ上品上生ハ初地ノ位ナルヲ以テノ故ニ。別教ノ判ニ依時ハ。百佛世界ニ於テ八相成道スベシ。寧ロ又自家佛乘ノ初地ニラザランヤ。湛海和尚淨嚴ノ悉地未成ト云ルハ。誠ニ內證知ガタシトイヘドモ。是レ謙遜ナルノミ勤メザルベケンヤ。問不動降三世ノ降伏ト云ハ。實ニ彼ガ命ヲ殺スヤ。先ニハ噯ト義同ナリト云。殺活慈怒水火ニ相反セリ如何。答テ曰ク實ニ殺スナリ。問然ラハ佛ノ慈悲ニ背スヤ。答是ヲ祕密語ト名大ニ子細アリ。理趣經ノ降三世品ハ。殺生即菩提ヲ説ク。故ニ曰ク設害三界ノ一切有情不墮惡趣。是不動降三世ノ三昧ナリ。觀音ノ段ハ娑欲即是道ヲ説ク。文殊維摩準胝等ノ三昧ナリ。虛空藏ノ段ハ偷盜即菩提ヲ説ク。虛空藏地藏ノ三昧ナリ。金剛拳ノ段ハ妄語即菩提ヲ説ク。一切義成就ノ三昧ナリ。是即非道ヲ行ジテ佛道ニ通達ス。瑜伽ノ戒ノ性罪一向不共ノ意ナリ。地上ノ菩薩ノ行ナリ。問此一段ノ軍談世俗ノ語ヲ用ユ雜染語ニ似タリ如何。答舉手動足皆成密印。籠言輕語皆眞言ナリ。大日經疏ニハ薄伽梵ニ自在能破ノ義ヲ釋ス。況ンヤ十八會ノ指歸曰。第十五會ノ名ニ祕密集會。瑜伽

續鑛石上末

二十五

云。此陀羅尼ヲ纒ニ一遍ヲ誦ズレバ。則身中ノ十惡四重五無間罪ヲ滅シ。一切ノ業障悉皆消滅ス。一万遍ヲ誦ジ滿ズレバ。不廢忘菩提心三摩地ヲ獲得シテ。菩提心身中ニ顯現シテ。皎潔圓明ナルコト淨月ノ如ク。命終ノ時ニ臨ンテ無量壽如來。無量俱胝ノ菩薩衆ノ爲ニ圍遶セラレテ來迎シ。行者ヲ安慰シ。即極樂世界ノ上品上生ニ生ジテ。菩薩ノ位ヲ證スト文イヘリ。都率安養共ニ不退位ナレバ。成佛スルコト甚近シ。況ヤ上品上生ハ初地ノ位ナルヲ以テノ故ニ。別教ノ判ニ依時ハ。百佛世界ニ於テ八相成道スベシ。寧ロ又自家佛乘ノ初地ニアラザランヤ。湛海和尚淨嚴ノ悉地未成ト云ルハ。誠ニ內證知ガタシトイヘドモ。是レ謙遜ナルノミ勤メザルベケンヤ。問不動降三世ノ降伏ト云ハ。實ニ彼ガ命ヲ殺スヤ。先ニハ噯ト義同ナリト云。殺活慈怒水火ニ相反セリ如何。答テ曰ク實ニ殺スナリ。問然ラハ佛ノ慈悲ニ背スヤ。答是ヲ祕密語ト名大ニ子細アリ。理趣經ノ降三世品ハ。殺生即菩提ヲ説ク。故ニ曰ク設害三界ノ一切有情不墮惡趣。是不動降三世ノ三昧ナリ。觀音ノ段ハ娑欲即是道ヲ説ク。文殊維摩準胝等ノ三昧ナリ。虛空藏ノ段ハ偷盜即菩提ヲ説ク。虛空藏地藏ノ三昧ナリ。金剛拳ノ段ハ妄語即菩提ヲ説ク。一切義成就ノ三昧ナリ。是即非道ヲ行ジテ佛道ニ通達ス。瑜伽ノ戒ノ性罪一向不共ノ意ナリ。地上ノ菩薩ノ行ナリ。問此一段ノ軍談世俗ノ語ヲ用ユ雜染語ニ似タリ如何。答舉手動足皆成密印。籠言輕語皆眞言ナリ。大日經疏ニハ薄伽梵ニ自在能破ノ義ヲ釋ス。況ンヤ十八會ノ指歸曰。第十五會ノ名ニ祕密集會。瑜伽

續鑛石上末

二十五

③上末 25ウ



於秘密處說所謂喻師婆伽處說般若波羅蜜宮此中說  
教法壇印契真言任禁戒似如世間貪染相應語會中除蓋  
障菩薩等從座而起禮佛自言世尊大人不應出麗言雜染  
相應語佛言汝等清淨相應語有何相狀我之此語加持文  
字應化緣方便引入佛道亦無相狀成大利益汝等不應生  
疑從此廣說實相三摩地諸菩薩各各說四種曼荼羅四印  
文予が語ハ如來ノ説ニアラザレドモ。一一皆佛説ニ本キ。各深義ヲ  
含ム。世俗ニ順ズルヲ以テノ故。礦石ヲ示ス。伏シテ願クハ其ノ頑石ヲ碎  
除キ。其ノ摩尼珠ヲ獲セシメントヲ。熟察熟察セヨ。一日愚蒙ノ入道  
來テ卒余トシテ問テ曰ク。和尚ノ安心如何。予ガ曰ク地藏ノ本誓  
悲願ヲ頼ミ奉リ。是非ニ順次ノ上生ヲ遂シメ玉ヘ。既ニ釋尊ノ付囑

續鑽石上末 二十六

ヲ受テ一日一夜モ惡道ニ墮セシメト肯諾玉ヘリ。世間ノ壯士ス  
ラ一諾ノ後ハ變ゼズ。況ヤ菩薩ノ大悲願ヲヤ。予壯年ヨリ地藏經  
ヲ講説スルコト十二遍。形像ヲ造スルコト十二軀。繪像ヲ施ス。數千  
餘密供ヲ修スルコト半万座。戒珠色輝ラサレトモ。一闍提トモ云ベカラズ。  
シヤリ無理ニ本誓ニ捉著順次ノ往生ヲ願フ。若順次ナリガタクハ。  
十生百生千生マデニ必ズ内院ニ引入シ玉ヒ。龍華三會ノ曉ニハ必  
ズ聞法證果セシメ玉ヘ。若一日ニテモ惡趣ニ墮シ玉ハ。釋迦如來地  
藏菩薩我ヲ誑シ玉フナリト誹謗スベシ。必ク我等ヲシテ誑ニ實ノ  
罪ヲ造ラシメ玉フコトナカレト。是予ガ安心ナリ。客大ニ驚テ曰ク  
和尚ハ天下ノ宿德ナリ。現成悉地即身成佛ヲコソ期シ玉フベキニ。  
此等ノ安心ハ法然ノ一枚起請ノ心。一文不通ノ尼入道ノ志ニア

於秘密處ニ説ト所謂喻師婆伽處ニシテ號ス般若波羅蜜宮ト此ノ中ニハ説トク  
教法壇印契真言ヲ任シ禁戒ニ似ト如世間ノ貪染相應ノ語會中ノ除蓋  
障菩薩等從座而起禮佛ヲ白シテ言ク世尊大人不應出麗言雜染  
相應ノ語佛言汝等清淨相應ノ語有何相狀我之此語加持文  
字ヲ應ニ化緣ノ方便ヲ引入スルモ佛道ニ亦無相狀成大利益汝等不應生  
疑ヲ從レリ此廣ク説ク實相三摩地諸菩薩各各説四種曼荼羅四印  
文予ガ語ハ如來ノ説ニアラザレドモ。一一皆佛説ニ本キ。各深義ヲ  
含ム。世俗ニ順ズルヲ以テノ故。礦石ヲ示ス。伏シテ願クハ其ノ頑石ヲ碎  
除キ。其ノ摩尼珠ヲ獲セシメントヲ。熟察熟察セヨ。一日愚蒙ノ入道  
來テ卒余トシテ問テ曰ク。和尚ノ安心如何。予ガ曰ク地藏ノ本誓  
悲願ヲ頼ミ奉リ。是非ニ順次ノ上生ヲ遂シメ玉ヘ。既ニ釋尊ノ付囑

續鑽石上末 二十六

ヲ受テ一日一夜モ惡道ニ墮セシメト肯諾玉ヘリ。世間ノ壯士ス  
ラ一諾ノ後ハ變ゼズ。況ヤ菩薩ノ大悲願ヲヤ。予壯年ヨリ地藏經  
ヲ講説スルコト十二遍。形像ヲ造スルコト十二軀。繪像ヲ施ス。數千  
餘密供ヲ修スルコト半万座。戒珠色輝ラサレトモ。一闍提トモ云ベカラズ。  
シヤリ無理ニ本誓ニ捉著順次ノ往生ヲ願フ。若順次ナリガタクハ。  
十生百生千生マデニ必ズ内院ニ引入シ玉ヒ。龍華三會ノ曉ニハ必  
ズ聞法證果セシメ玉ヘ。若一日ニテモ惡趣ニ墮シ玉ハ。釋迦如來地  
藏菩薩我ヲ誑シ玉フナリト誹謗スベシ。必ク我等ヲシテ誑ニ實ノ  
罪ヲ造ラシメ玉フコトナカレト。是予ガ安心ナリ。客大ニ驚テ曰ク  
和尚ハ天下ノ宿德ナリ。現成悉地即身成佛ヲコソ期シ玉フベキニ。  
此等ノ安心ハ法然ノ一枚起請ノ心。一文不通ノ尼入道ノ志ニア

ラスヤ。物體ナシク。又再ビ左様ノ事ヲ宣フベカラズト。予ガ曰ク一枚起請ニモセヨ。二枚起請ニモセヨ。六百年來ノ諸宗ノ僧ノ安心ハ。愚老ニ殊ナルベカラズ。多ハ皆三惡趣ノ罪人ナリ。悲イカナク。客彌驚キ然ラバ淨土往生。上生都率ノ人ハ全クナキカ。予カ曰ク百千万ノ中ニハ。五三人ハ往生ヲ遂タル人モアルベシ。溟海和尚ノ如シ。欲レ果見其現在ノ因ナルヲ以テ分明ナリ。瞋恚嫉妬多キハ地獄ニ墮シ。慳貪破戒ナルハ餓鬼ニ墮シ。放逸無慚ナルハ畜生道ニ墮スベシ。末世ノ僧ノ行業ヲ考ヘ見ニ。我慢貪欲破戒無慙ニシテ。讀經誦咒ノ方ハ疎慢ナリ。詭曲不實ニシテ正直深信ノ者ハ鮮シ。善惡業ノ中ニ強キ者先牽。然レバ三惡道ヲ免ル、人ハ麟角ヨリモ希ナルベシ。客大ニ驚テ曰ク悲イカナ我門ハ地獄ノ滓トナルベキカ。予カ曰ク末世ノ人ハ皆地獄ノ滓トナルベシ。佛言ク人間ニ生ズルモノハ爪ノ上ノ土ノ如ク。三塗ニ墮スルモノハ大地ノ土ノ如シト。況ヤ淨土ニ生ズルモノハ一毛端ノ土ノ如クナルベシ。佛說分明ナレバ。皆地獄ノ滓トナルベシ。客又問和尚ハ六大平等。阿字本不生ノ觀ヲ修シ玉ハザルヤ。予ガ曰ク壇ニ向ヒ修法スル時ハ。及バズナガラニ平等ノ觀ヲ作ドモ。道場ヲ出デ、世俗ニ對談スル時ハ。全ク荒凡夫ト同シ。臨終ニ苦痛逼迫スル時ハ。六大平等自身舍那ノ觀モ成ズマジ。故ニシヤリ無理ニ地獄ノ本誓ニシガミ著。追放タレザルヤウニスベシト思フナリ。客啼泣スルコト久シフテ曰ク。誠ニ我等モ地藏觀音弥陀弥勒ノ大悲願ニ攬著。日夜ニ忘シズ往生淨土ヲ祈ルベキナリトテ去リヌ。世ニ一等人アリ身ハ五戒十善ノ機ニダモ及バズ。見解ハ謂己均。佛ノ思ヲナス。

●續鑽石上末

二十七

ラスヤ。物體ナシク。又再ビ左様ノ事ヲ宣フベカラズト。予ガ曰ク一枚起請ニモセヨ。二枚起請ニモセヨ。六百年來ノ諸宗ノ僧ノ安心ハ。愚老ニ殊ナルベカラズ。多ハ皆三惡趣ノ罪人ナリ。悲イカナク。客彌驚キ然ラバ淨土往生。上生都率ノ人ハ全クナキカ。予カ曰ク百千万ノ中ニハ。五三人ハ往生ヲ遂タル人モアルベシ。溟海和尚ノ如シ。欲レ果見其現在ノ因ナルヲ以テ分明ナリ。瞋恚嫉妬多キハ地獄ニ墮シ。慳貪破戒ナルハ餓鬼ニ墮シ。放逸無慚ナルハ畜生道ニ墮スベシ。末世ノ僧ノ行業ヲ考ヘ見ニ。我慢貪欲破戒無慙ニシテ。讀經誦咒ノ方ハ疎慢ナリ。詭曲不實ニシテ正直深信ノ者ハ鮮シ。善惡業ノ中ニ強キ者先牽。然レバ三惡道ヲ免ル、人ハ麟角ヨリモ希ナルベシ。客大ニ驚テ曰ク悲イカナ我門ハ地獄ノ滓トナルベキカ。予カ曰ク末世ノ人ハ皆地獄ノ滓トナルベシ。佛言ク人間ニ生ズルモノハ爪ノ上ノ土ノ如ク。三塗ニ墮スルモノハ大地ノ土ノ如シト。況ヤ淨土ニ生ズルモノハ一毛端ノ土ノ如クナルベシ。佛說分明ナレバ。皆地獄ノ滓トナルベシ。客又問和尚ハ六大平等。阿字本不生ノ觀ヲ修シ玉ハザルヤ。予ガ曰ク壇ニ向ヒ修法スル時ハ。及バズナガラニ平等ノ觀ヲ作ドモ。道場ヲ出デ、世俗ニ對談スル時ハ。全ク荒凡夫ト同シ。臨終ニ苦痛逼迫スル時ハ。六大平等自身舍那ノ觀モ成ズマジ。故ニシヤリ無理ニ地獄ノ本誓ニシガミ著。追放タレザルヤウニスベシト思フナリ。客啼泣スルコト久シフテ曰ク。誠ニ我等モ地藏觀音弥陀弥勒ノ大悲願ニ攬著。日夜ニ忘シズ往生淨土ヲ祈ルベキナリトテ去リヌ。世ニ一等人アリ身ハ五戒十善ノ機ニダモ及バズ。見解ハ謂己均。佛ノ思ヲナス。

●續鑽石上末

二十七

③上末27ウ

危カナ天台ノ臨終ニ皆悔リト仰セラレハ實ナルカナ。予ハ木律僧ニ甚臆病ナレバ。世々生々地藏尊ニ隨逐シ奉リ。善惡ノ報應勸善懲惡ノ義ヲ教ント欲ス。大ニ笑人アルベシ。默然スルモアルベシ尤ナリト信ズル者モアルベシ。南無地藏大菩薩哀愍シ加護シ玉ヘ

十八ニハ死シテ久シキ靈鬼人ニ託スル事

元祿中ニ中國大名ノ家中ニ平山氏ノ士アリ六百石ノ祿ヲ食大守宅ヲ替テ住セシム。其宅久ク人不棲牆壁圯拆テ瓦落柱朽ヌ士移リテ修葺ヲ加ヘ住ス。屋敷ノ隅ニ一株ノ古キ柿木アリ妻子ナド其下ニ往テ遊戯傷人ノ曰ク昔ヨリ言傳フ其木ノ下ニハ妖物アリト用心シ玉ヘト。僕幸助カ云クサテモ珍シヤ。其ノ妖物ト云者ヲ未ダ曾テ不見願クハ逢タキ事カナトテ。笑テ去ル

續鑛石上末

二十八

其夜玄關ニ紙帳ヲ鉤テ卧ニ。夜半ノコロロヒニ。何者ヤラン幸助ミト呼。阿誰ト答テ戸ヲ開バ。二八ハカリノ靡嬖キ女ナリ。幸助驚キ戦キ何ノ用ゾト問。女ノ曰ク。汝今日我ニ逢タキト云カ故ニ來レリト。幸助サテハ妖物ナリト知テ。大刀ヲ拔テ切拂フ。女怒テ曰ク。汝ハ慮外者ナリ。晝ノ語ニ相違ストテ。却テ幸助ヲ踏蹴引ヅリテ。柿木ノ下ニ還リ入。家内此騒ギニ驚イテ幸助カ卧處ヲ檢ニ紙帳悉ク切破リテ人ナシ。普ク屋鋪中ヲ尋ルニ柿木ノ下ニ僵臥テ正體ナシ。諸人愕キ怪ミ氣付ヲ飲シムルニ曉且ニ口走テ曰ク。我ハ天正十八年元就ノ城下カ此宅ニ奉公セシカ。此柿熟シテ甘味ナレバ。取噉ハント手ヲ舉レドモ不及。即木ニ升テ此ヲ執ル。主人來リ見テ。怒テ鍔ヲ以テ突殺セリ。我

危カナ天台ノ臨終ニ皆悔リト仰セラレシハ實ナルカナ。予ハ木律僧ニ甚臆病ナレバ。世々生々地藏尊ニ隨逐シ奉リ。善惡ノ報應勸善懲惡ノ義ヲ教ント欲ス。大ニ笑人アルベシ。默然スルモアルベシ尤ナリト信ズル者モアルベシ。南無地藏大菩薩哀愍シ加護シ玉ヘ

十八ニハ死シテ久シキ靈鬼人ニ託スル事

元祿中ニ中國大名ノ家中ニ平山氏ノ士アリ六百石ノ祿ヲ食大守宅ヲ替テ住セシム。其宅久ク人不棲牆壁圯拆テ瓦落柱朽ヌ士移リテ修葺ヲ加ヘ住ス。屋敷ノ隅ニ一株ノ古キ柿木アリ妻子ナド其下ニ往テ遊戯傷人ノ曰ク昔ヨリ言傳フ其木ノ下ニハ妖物アリト用心シ玉ヘト。僕幸助カ云クサテモ珍シヤ。其ノ妖物ト云者ヲ未ダ曾テ不見願クハ逢タキ事カナトテ。笑テ去ル

續鑛石上末

二十八

其夜玄關ニ紙帳ヲ鉤テ卧ニ。夜半ノコロロヒニ。何者ヤラン幸助ミト呼。阿誰ト答テ戸ヲ開バ。二八ハカリノ靡嬖キ女ナリ。幸助驚キ戦キ何ノ用ゾト問。女ノ曰ク。汝今日我ニ逢タキト云カ故ニ來レリト。幸助サテハ妖物ナリト知テ。大刀ヲ拔テ切拂フ。女怒テ曰ク。汝ハ慮外者ナリ。晝ノ語ニ相違ストテ。却テ幸助ヲ踏蹴引ヅリテ。柿木ノ下ニ還リ入。家内此騒ギニ驚イテ幸助カ卧處ヲ檢ニ紙帳悉ク切破リテ人ナシ。普ク屋鋪中ヲ尋ルニ柿木ノ下ニ僵臥テ正體ナシ。諸人愕キ怪ミ氣付ヲ飲シムルニ曉且ニ口走テ曰ク。我ハ天正十八年元就ノ城下カ此宅ニ奉公セシカ。此柿熟シテ甘味ナレバ。取噉ハント手ヲ舉レドモ不及。即木ニ升テ此ヲ執ル。主人來リ見テ。怒テ鍔ヲ以テ突殺セリ。我

③上末 28ウ

死ニ臨ニテ深く恨ム。一顆ノ熟柿ノ故ニ命ヲ害セラレ。何ノ仁慈ナキヤト。此ノ一念ノ迷ノ故ニ猶中有ニ鈴餅ヲ追福回向スル人ナケレバ。時々ノ苦患堪ガタク。悲シトイヘトモ甲斐ナシ。願ハ我カ爲ニ追善ヲ修シ。卒塔波ヲ建。且ツ小祠ヲ立テ祭ラバ。永ク崇ヲナサズ。吉凶禍福ヲ豫メ告示サン。妾カ昔ノ字ヲ君ト名ク喜見明神ト祝フベシト。諸人驚キ恐レテ。凶鬼ノ乞ニ任テ。追善ヲ修シ明神ト崇ム。其ヨリ永ク家内ニ妖怪ナシト。廣嶋ノ士懇志ノ僧ニ語ル。正シキ事ナリ。天正八年ヨリ元祿ノ初マデハ。百年餘カ。彼時ハ大閣秀吉公高麗陣ノ節ナレバ。人死スレドモ追福ナトハ。勤ルコト希有ナルベケレバ。久ク中有ニ迷ヒテ。頼ニ幸助ニ託シテ願望ヲ述達シタルモノナラン。今時ノ腐儒。人ハ死

●續鑛石上末

二十九

シテ氣ニ歸ル。三世流轉ノ説ハ妄ナリト毀ル。現見ノ事ヲ無ス。神明ノ憎嫌玉フトコロ。久シカラズテ災殃身ニ集リ多クハ餓死ニ及ブ者頗ル多シ。哀ムベキナリ

十九ニハ武州ノ人佛法ヲ誹謗ジテ現罰ヲ蒙リシ事

武州男衾郡安土村ニ富家多シ。六七宇檐ヲ並ヘ。雷ヲ接テ。共ニ親族ナリ。同ク酒ヲ醸シテ沽。各財貨ヲ積蓄フ。皆真言宗ニテ。寺ヲ淨本寺ト号ス。元祿中ニ。江戸ヨリ貧儒來リ寓ス。時ニ四書等ヲ講シ盛ニ佛法ヲ毀排ス。村民彼ニ陶染セラレテ。皆邪見ノ坑ニ落。佛像ヲ摧キ經卷靈牌ヲ河ニ投ズ。爰ニ宮崎氏ノ人アリ。年壯ニシテ妻ヲ迎ヘ。互ニ比翼連理ノ昵言晝夜ヲ不分春日長シ日長シトイヘトモ暫モ離ル。コトヲ悲ミ。秋ノ夜明

死ニ臨ニテ深く恨ム。一顆ノ熟柿ノ故ニ命ヲ害セラレ。何ノ仁慈ナキヤト。此ノ一念ノ迷ノ故ニ猶中有ニ鈴餅ヲ追福回向スル人ナケレバ。時々ノ苦患堪ガタク。悲シトイヘトモ甲斐ナシ。願ハ我カ爲ニ追善ヲ修シ。卒塔波ヲ建。且ツ小祠ヲ立テ祭ラバ。永ク崇ヲナサズ。吉凶禍福ヲ豫メ告示サン。妾カ昔ノ字ヲ君ト名ク喜見明神ト祝フベシト。諸人驚キ恐レテ。凶鬼ノ乞ニ任テ。追善ヲ修シ明神ト崇ム。其ヨリ永ク家内ニ妖怪ナシト。廣嶋ノ士懇志ノ僧ニ語ル。正シキ事ナリ。天正八年ヨリ元祿ノ初マデハ。百年餘カ。彼時ハ大閣秀吉公高麗陣ノ節ナレバ。人死スレドモ追福ナトハ。勤ルコト希有ナルベケレバ。久ク中有ニ迷ヒテ。頼ニ幸助ニ託シテ願望ヲ述達シタルモノナラン。今時ノ腐儒。人ハ死

●續鑛石上末

二十九

シテ氣ニ歸ル。三世流轉ノ説ハ妄ナリト毀ル。現見ノ事ヲ無ス。神明ノ憎嫌玉フトコロ。久シカラズテ災殃身ニ集リ多クハ餓死ニ及ブ者頗ル多シ。哀ムベキナリ

十九ニハ武州ノ人佛法ヲ誹謗ジテ現罰ヲ蒙リシ事

武州男衾郡安土村ニ富家多シ。六七宇檐ヲ並ヘ。雷ヲ接テ。共ニ親族ナリ。同ク酒ヲ醸シテ沽。各財貨ヲ積蓄フ。皆真言宗ニテ。寺ヲ淨本寺ト号ス。元祿中ニ。江戸ヨリ貧儒來リ寓ス。時ニ四書等ヲ講シ盛ニ佛法ヲ毀排ス。村民彼ニ陶染セラレテ。皆邪見ノ坑ニ落。佛像ヲ摧キ經卷靈牌ヲ河ニ投ズ。爰ニ宮崎氏ノ人アリ。年壯ニシテ妻ヲ迎ヘ。互ニ比翼連理ノ昵言晝夜ヲ不分春日長シ日長シトイヘトモ暫モ離ル。コトヲ悲ミ。秋ノ夜明

レガタシ猶早ク且ルコトヲ惜ミテ可憎ノ病鵲ノ夜半人ヲ驚  
ス薄媚狂鷄ノ三更ニ曉ヲ唱フト恨ミ相約スラク人世無常ナ  
リ若隻羽世ヲ去ラバ再ビ後妻ヲ不迎セキ生々必ズ夫妻ト  
作シテ未來ハ地獄ノ滓トナルコトヲ不知カクノ如ク契ルハ世俗ノ常  
ナリ悲カナ哀ナルカナ妻モ亦悦ンテ曰ク若君死セバ又二夫ニ見  
ジト互ニ堅ク誓フ膠ヲ以テ漆中ニ投ズ誰カ敢テ分離セン然ル  
ニ三四年ヲ過テ妻俄カニ病ヲ受テ死ス生前ノ約ナレバ半年程  
ハ寡居ストイヘドモ俗ノ諺ニモ狂男ノ心ト無神月ノ天氣トハ夜  
ニ七回替ルトテ頓テ萱草心田ニ生テ耘ルニ暇ナク朋輩ノ勸ニ  
隨テ後妻ヲ納テ愛情増厚シ時ニ二年ヲ過ザルニ後妻怪  
疾ヲ煩テ百療手ヲ拱ク或時家婢ニ階ニ登リ茶ヲ取出サ

●續鑽石上末

三十

ントスルニ電光ノ如ク閃キテ茶碗ホドノ光物飛テ落チ病人ノ  
卧セル床ノ上ニ止テ化シテ雲霧ノ如クナルヲ見バ彼ノ前妻ノ  
貌忿然タルノ色烈クテ夫婦ヲ發當ト墮ム其可畏相喻ヲ取  
ルニ物ナシ剩ヘ夏ノ事ナルニ數百ノ百足何方ヨリカ匍來リケン  
病床ヲ巡ル看病ノ者驚怖シテ此ヲ取捐レドモ又利那ニ匍  
匍來ル或ハ樟腦ヲ散シ或ハ蒼木ヲ燒トイヘドモ其甲斐ナク  
病女怖畏シテ身體日ニ疲命過近ニアリ此時一家會合シ  
テ曰ク此災難甚急ナリ儒ニハ天命ナリト云トイヘドモ亦佛法  
ヲモ弁ベカラズ淨本寺ヲ頼ミテ祈禱セシムベシト九族一決シテ  
寺ニ至テ懇懃ニ攘災延命ノ祈念ヲ請僧私ニ思ヘラクサテ  
コソ汝等カ排佛ノ報ヒ來レリト良久シテ曰ク檀家久ク儒

シガタシ。猶早ク且ルコトヲ惜ミテ可憎ノ病鵲ノ夜半人ヲ驚  
ス。薄媚狂鷄ノ三更ニ曉ヲ唱フト恨ミ。相約スラク。人世無常ナ  
リ。若隻羽世ヲ去ラバ。再ビ後妻ヲ不迎。世々生々必ズ夫妻ト  
作ント。未來ハ地獄ノ滓トナルコトヲ不知。カクノ如ク契ルハ。世俗ノ常  
ナリ。悲カナ哀ナルカナ。妻モ亦悦ンデ曰ク。若君死セバ。又二夫ニ見  
ジト。互ニ堅ク誓フ。膠ヲ以テ漆中ニ投ズ。誰カ敢テ分離セン。然ル  
ニ三四年ヲ過テ。妻俄カニ病ヲ受テ死ス。生前ノ約ナレバ。半年程  
ハ寡居ストイヘドモ。俗ノ諺ニモ狂男ノ心ト無神月ノ天氣トハ。夜  
ニ七回替ルトテ。頓テ萱草心田ニ生テ。耘ルニ暇ナク。朋輩ノ勸ニ  
隨テ。後妻ヲ納テ愛情増厚シ。時ニ二年ヲ過ザルニ後妻怪  
疾ヲ煩テ百療手ヲ拱ク。或時家婢ニ階ニ登リ。茶ヲ取出サ

●續鑽石上末

三十

ントスルニ。電光ノ如ク閃キテ。茶碗ホドノ光物飛テ落チ。病人ノ  
卧セル床ノ上ニ止テ。化シテ雲霧ノ如クナルヲ見バ。彼ノ前妻ノ  
貌忿然タルノ色烈クテ。夫婦ヲ發當ト墮ム。其可畏相喻ヲ取  
ルニ物ナシ。剩ヘ夏ノ事ナルニ。數百ノ百足。何方ヨリカ匍來リケン。  
病床ヲ巡ル。看病ノ者驚怖シテ。此ヲ取捐レドモ。又利那ニ匍  
匍來ル。或ハ樟腦ヲ散シ。或ハ蒼木ヲ燒トイヘドモ。其甲斐ナク。  
病女怖畏シテ身體日ニ疲。命過近ニアリ。此時一家會合シ  
テ曰ク。此災難甚急ナリ。儒ニハ天命ナリト云トイヘドモ。亦佛法  
ヲモ弁ベカラズ。淨本寺ヲ頼ミテ。祈禱セシムベシト。九族一決シテ。  
寺ニ至テ懇懃ニ攘災延命ノ祈念ヲ請。僧私ニ思ヘラク。サテ  
コソ汝等カ排佛ノ報ヒ來レリト。良久シテ曰ク。檀家久ク儒

③上末 30ウ

宗ニ歸ス。何ゾ孔孟ノ像ニ祈テ災ヲ除サルヤ。檀家ノ曰ク。百計既ニ盡テ。方術寸モ効ナシ。伏シテ乞大慈悲ヲ以テ。此ノ災孽ヲ鎮メ玉ヘト。再三請ジテ不止。時僧汝カ家ニ赴テ。一七日修法スベシト。即客殿ヲ洒掃シテ壇ヲ構ヘ。一七日三時ニ不動法ヲ修スルニ。二三日ヲ過レバ。百足半去ル。四五日至テ。十二八九ハ去ル。一七日滿スレバ。百足悉ク去リテ又再ヒ來ラス。第八日ニ至テ。大般若經ヲ轉讀スルニ。病女漸々ニ快氣ヲ得タリ。淨本寺作アフセタリト悦ビ。寺ニ歸ラレケレバ。小僧アリ。了玄トテ十四五歳ナリ。俄ニ狂ジ棒打振テ師ニ向ヒ。君ハ我敵ナリ。打殺スベシト云。傍人抱キ止レバ。其怒レル聲。彼凶寇ノ託セルナリ。何ノ故ニカ師匠ヲ怨ナリト云ヤ。凶寇ノ曰ク。我偶憎キ奴ヲ取殺サントスルニ。

●續鑽石上末

三十一

貴僧不動尊ヲ供ジテ。我ヲ追出シ。般若ノ利劍ヲ以テ。我命ヲ断セントス。正ク貴僧ハ我カ怨敵ナリ。逃スマジト飛懸ルヲ。諸人抑テ種々ニ教訓シ。汝カ爲ニ光明真言加持土沙ノ法ヲ修シテ追福ヘシ。然ラバ瞋恚嫉妒ノ業ヲ滅シテ。淨土ニ往生スヘシ。汝存生ノ時。儒士ノミヲ信シテ。因果ヲ撥無シ。後世ノ苦患ヲ省ス。アサマシヤ。淺間ノ山ニ立煙リ何レノ日カ消ル時アラシヤ。今毘盧遮那大灌頂ノ法水ヲ汝カ頂上ニ灑キテ清涼ノ大樂ヲ得セシメ上品蓮臺ニ坐セシメ。豈快カラサランヤト凶靈頭ヲ低テ信伏シ去テ再ヒ來ラス。淨本寺約束ノ如ク。如法ニ修法シテ弔レケレハ其ヨリ病女モ平愈シ村民モ亦昔ノ如ク佛法ニ歸依セリト近年ノ事ナレハ能ク見聞セル人現在シテ予ニ語ラレキ

宗ニ歸ス。何ゾ孔孟ノ像ニ祈テ災ヲ除サルヤ。檀家ノ曰ク。百計既ニ盡テ。方術寸モ効ナシ。伏シテ乞大慈悲ヲ以テ。此ノ災孽ヲ鎮メ玉ヘト。再三請ジテ不止。時僧汝カ家ニ赴テ。一七日修法スベシト。即客殿ヲ洒掃シテ壇ヲ構ヘ。一七日三時ニ不動法ヲ修スルニ。二三日ヲ過レバ。百足半去ル。四五日至テ。十二八九ハ去ル。一七日滿スレバ。百足悉ク去リテ又再ヒ來ラス。第八日ニ至テ。大般若經ヲ轉讀スルニ。病女漸々ニ快氣ヲ得タリ。淨本寺作アフセタリト悦ビ。寺ニ歸ラレケレバ。小僧アリ。了玄トテ十四五歳ナリ。俄ニ狂ジ棒打振テ師ニ向ヒ。君ハ我敵ナリ。打殺スベシト云。傍人抱キ止レバ。其怒レル聲。彼凶寇ノ託セルナリ。何ノ故ニカ師匠ヲ怨ナリト云ヤ。凶寇ノ曰ク。我偶憎キ奴ヲ取殺サントスルニ。

●續鑽石上末

三十一

貴僧不動尊ヲ供ジテ。我ヲ追出シ。般若ノ利劍ヲ以テ。我命ヲ断セントス。正ク貴僧ハ我カ怨敵ナリ。逃スマジト飛懸ルヲ。諸人抑テ種々ニ教訓シ。汝カ爲ニ光明真言加持土沙ノ法ヲ修シテ追福ヘシ。然ラバ瞋恚嫉妒ノ業ヲ滅シテ。淨土ニ往生スヘシ。汝存生ノ時。儒士ノミヲ信シテ。因果ヲ撥無シ。後世ノ苦患ヲ省ス。アサマシヤ。淺間ノ山ニ立煙リ何レノ日カ消ル時アラシヤ。今毘盧遮那大灌頂ノ法水ヲ汝カ頂上ニ灑キテ清涼ノ大樂ヲ得セシメ上品蓮臺ニ坐セシメ。豈快カラサランヤト凶靈頭ヲ低テ信伏シ去テ再ヒ來ラス。淨本寺約束ノ如ク。如法ニ修法シテ弔レケレハ其ヨリ病女モ平愈シ村民モ亦昔ノ如ク佛法ニ歸依セリト近年ノ事ナレハ能ク見聞セル人現在シテ予ニ語ラレキ

二十ニハ防州ノ僧賊ニ殺サレテ怨靈人ニ託スル事

周防國都濃郡下松村正福寺良嚴阿闍梨ノ弟子。長傳ト云者アリ。壯年ニシテ人ニ仕テ武士タリ。中比醫士ト成ル。天性格喬ニシテ儲畜頗ル多シ。後ニ出家シテ。良嚴ノ弟子トナル。予寶永七年庚寅。岩國ニ化遊シテ。梵網經ヲ講シ。諸僧ノ爲ニ菩薩戒ヲ授ク。長傳同ク講ヲ聞テ。信心増進シテ受戒シ。長齋ヲ勤メ。大島ニ茅庵ヲ締テ居シ。安閑ニ勤修ス。享保八年霜月三日夜半ニ。火起テ庵リ焼ハシ。長傳モ亦焼死シヌ。島中ノ人馳集ルニ。既ニ燒畢テ。骸骨資財ヲ不見。唯鐵鉢鍋釜ノミ破レ殘レリ。諸人は盜賊ノ所爲ナランカト疑ヒ怪メドモ。何ヲ以テ穿鑿ノ緒トセント云コトヲ不知。同九年五月十七日。近處ノ少女。瘡疾ヲ振ヒ

續鑛石上末

三十二

熱氣盛ニシテ。狂シテ曰ク。我ハ長傳ナリ。去冬十一月三日ノ夜強盜四五人來リ。我ヲ縛リ資財盡ク取去ル。時二三所ニ火ヲ著。舟五六町バカリ押出サバ。燒立ヤウニス。予悲テ曰ク。財寶ハ恣ニ取去。命ヲバ助ヨト。賊ノ曰ク。互ニ名ヲ知り面ヲ見。汝ヲ免サバ。我等磔ニナランコト必セリトテ不免。既シテ火起テ焚死時ノ苦痛。言語ニ述ガタシ。我官家ニ訴ヘテ怨ヲ酬ント思フト云ヲ聞バ。正ク長傳カ音韻ナリ。其父母親族大ニ驚キ。此事我等ノミ聞テハ人モ信ゼシ。如何トモシガタシト。即チ師匠ノ正福寺ヲ召。良嚴來テ問答應對時ヲ移ス師呵嘖シテ曰ク。僧ハ三衣一鉢ノ外。餘長ヲ畜フベカラズ。汝獨身ニシテ。弟子ナシ。多クノ衣財ヲ畜フ。故ニ此災難ニ逢リ。地頭へ訴へ。汝カ怨ヲ報ズトモ。倍。汝ガ地獄ノ業ヲ增長

二十ニハ防州ノ僧賊ニ殺サレテ怨靈人ニ託スル事

周防國都濃郡下松村正福寺良嚴阿闍梨ノ弟子。長傳ト云者アリ。壯年ニシテ人ニ仕テ武士タリ。中比醫士ト成ル。天性格喬ニシテ儲畜頗ル多シ。後ニ出家シテ。良嚴ノ弟子トナル。予寶永七年庚寅。岩國ニ化遊シテ。梵網經ヲ講シ。諸僧ノ爲ニ菩薩戒ヲ授ク。長傳同ク講ヲ聞テ。信心増進シテ受戒シ。長齋ヲ勤メ。大島ニ茅庵ヲ締テ居シ。安閑ニ勤修ス。享保八年霜月三日夜半ニ。火起テ庵リ焼ハシ。長傳モ亦焼死シヌ。島中ノ人馳集ルニ。既ニ燒畢テ。骸骨資財ヲ不見。唯鐵鉢鍋釜ノミ破レ殘レリ。諸人は盜賊ノ所爲ナランカト疑ヒ怪メドモ。何ヲ以テ穿鑿ノ緒トセント云コトヲ不知。同九年五月十七日。近處ノ少女。瘡疾ヲ振ヒ

續鑛石上末

三十二

熱氣盛ニシテ。狂シテ曰ク。我ハ長傳ナリ。去冬十一月三日ノ夜強盜四五人來リ。我ヲ縛リ資財盡ク取去ル。時二三所ニ火ヲ著。舟五六町バカリ押出サバ。燒立ヤウニス。予悲テ曰ク。財寶ハ恣ニ取去。命ヲバ助ヨト。賊ノ曰ク。互ニ名ヲ知り面ヲ見。汝ヲ免サバ。我等磔ニナランコト必セリトテ不レ免。既シテ火起テ焚死時ノ苦痛。言語ニ述ガタシ。我官家ニ訴ヘテ怨ヲ酬ント思フト云ヲ聞バ。正ク長傳カ音韻ナリ。其父母親族大ニ驚キ。此事我等ノミ聞テハ人モ信ゼシ。如何トモシガタシト。即チ師匠ノ正福寺ヲ召。良嚴來テ問答應對時ヲ移ス師呵嘖シテ曰ク。僧ハ三衣一鉢ノ外。餘長ヲ畜フベカラズ。汝獨身ニシテ。弟子ナシ。多クノ衣財ヲ畜フ。故ニ此災難ニ逢リ。地頭へ訴へ。汝カ怨ヲ報ズトモ。倍。汝ガ地獄ノ業ヲ增長

③上末 32ウ

スルノミニシテ。少モ汝カ脱苦得樂ノ方便ニテラス。汝カ爲ニハ光明  
眞言。加持土沙ノ秘法ヲ修シテ。罪障消滅。往生淨土ノ回向  
ヲ勤ムベシ。怒リヲ止テ。先業ヲ懺悔スベシト。或ハ宥シテ。或ハ呵責  
セラレケレバ。凶兇漸ク得心シテ。然ラバ追福ノ約束。必ス忘レ玉フ  
コトナカレトテ。涙ヲ流シテ臥ス。少女十餘日ヲ過テ。病即チ瘥  
ユ其後凶者ノ爲ニ。種々ノ法事ヲ勤シテ。回向セラレケレバ。再ビ靈  
ノ託スルコトモナカリキト。良嚴享保十年ノ春。嚴嶋ニ渡リ。或比  
丘僧ニ對シテ。件ノ事ヲ説キ。彼カ所持ノ鐵鉢ヲ以テ。嚙施シ  
テ回向ヲ乞ル。予モ亦傳ヘ聞テ。此ヲ憐ミ回向シテ。他人ノ進修  
ヲ策サンガ爲ニ。此集ニ記スルノミ

二十一ニハ父母不孝ノ人現罰ノ事

●續鑛石上末

三十三

寶永中ニ武州榛澤郡。瀬山村ニ小久保氏ノ人アリ。天質正直  
ニシテ。人ノ愛敬スルモノナリ。其母久シク癩病ヲ患テ。百療驗ナ  
ク。諸人ノ嫌ヒ避ル處ナリ。其子正直ノ者ナレドモ。漸ク厭惡ノ心起  
リ。何トゾ母ノ早ク死セラレンコトヲ思フニ。業力金剛ノ如クナレハ。  
五年ヤ十年ノ内ニハ。死去モアルマジク思ヒケレバ。妻ト共ニ言合セテ。  
是ハ唯斷食セシメテ。命過セシメンニハシカジト。弊妻モ亦平生厭ヒ疎  
シレ。夫幸ノ事ヲモ言出セルモノカナト悦ビ。久シク食物ヲ與ヘザ  
レバ。程ナク死セリ。惡子悦コト限リナシ。然ニ次年ニ怪病ヲ煩  
ヒ。病証如何トモ見定メガタケレバ。醫師モ配劑ニ手ヲ突ヌ。神子  
山伏ヲシテ。種々ノ祈リヲ修セシムレドモ。寸ノ効モナシ。剩ヘ或  
夜大蛇來テ。頸ヲ二重ニ纏フ病人大ニ驚キ叫喚ヤレ鎌

スルノミニシテ。少モ汝カ脱苦得樂ノ方便ニアラズ。汝カ爲ニハ光明  
眞言。加持土沙ノ秘法ヲ修シテ。罪障消滅。往生淨土ノ回向  
ヲ勤ムベシ。怒リヲ止テ。先業ヲ懺悔スベシト。或ハ宥シテ。或ハ呵責  
セラレケレバ。凶兇漸ク得心シテ。然ラバ追福ノ約束。必ス忘レ玉フ  
コトナカレトテ。涙ヲ流シテ臥ス。少女十餘日ヲ過テ。病即チ瘥  
ユ其後凶者ノ爲ニ。種々ノ法事ヲ勤シテ。回向セラレケレバ。再ビ靈  
ノ託スルコトモナカリキト。良嚴享保十年ノ春。嚴嶋ニ渡リ。或比  
丘僧ニ對シテ。件ノ事ヲ説キ。彼カ所持ノ鐵鉢ヲ以テ。嚙施シ  
テ回向ヲ乞ル。予モ亦傳ヘ聞テ。此ヲ憐ミ回向シテ。他人ノ進修  
ヲ策サンガ爲ニ。此集ニ記スルノミ

二十一ニハ父母不孝ノ人現罰ノ事

●續鑛石上末

三十三

寶永中ニ武州榛澤郡。瀬山村ニ小久保氏ノ人アリ。天質正直  
ニシテ。人ノ愛敬スルモノナリ。其母久シク癩病ヲ患テ。百療驗ナ  
ク。諸人ノ嫌ヒ避ル處ナリ。其子正直ノ者ナレドモ。漸ク厭惡ノ心起  
リ。何トゾ母ノ早ク死セラレンコトヲ思フニ。業力金剛ノ如クナレハ。  
五年ヤ十年ノ内ニハ。死去モアルマジク思ヒケレバ。妻ト共ニ言合セテ。  
是ハ唯斷食セシメテ。命過セシメンニハシカジト。弊妻モ亦平生厭ヒ疎  
シシニ。夫幸ノ事ヲモ言出セルモノカナト悦ビ。久シク食物ヲ與ヘザ  
レバ。程ナク死セリ。惡子悦コト限リナシ。然ニ次年ニ怪病ヲ煩  
ヒ。病証如何トモ見定メガタケレバ。醫師モ配劑ニ手ヲ突ヌ。神子  
山伏ヲシテ。種々ノ祈リヲ修セシムレドモ。寸ノ効モナシ。剩ヘ或  
夜大蛇來テ。頸ヲ二重ニ纏フ病人大ニ驚キ叫喚ヤレ鎌

③上末 33オ

③上末 33ウ



ヨ脇指ヨ。蛇來リテ我カ頸ヲ縛タルゾ。早く來テ此ヲ切放テト  
泣ドモ。餘人ノ目ニ蛇モ見ザレバ。何トモスベキヤウナシ。是ノ如ク苦  
痛逼惱スルコト數日過ルニ。或夜凶母來テ曰ク。汝不孝ニシテ。我カ  
病ヲ厭ヒ嫌ヒ餓死セシメタル恨頗ル多シ。吾今汝カ命ヲ取り殺シ。  
怨念ヲ晴ント思ヘドモ。流石ニ親子ノ恩愛忘レガタク。猶不便ナリ。  
我カ爲ニ丁寧ニ追善ヲ修セバ汝カ命ヲ助クベシト惡子此ヲ聞  
テ。大ニ泣血シテ答テ曰ク。重々私ノ謬リナリ。大慈悲ヲ以テ罪  
ヲ免シ玉ヘ。御願ノ如ク。正福寺鏡秀法印ヲ頼ミ。追善ヲ修スベ  
シトテ即チ正福寺ヲ請シ。懺悔シテ回向ヲ請。鏡秀法印諾シテ  
歸リ。理趣三昧ヲ修シ。光明真言ノ秘法ヲ行ジテ。至心ニ回向  
セラレケレバ。凶鬼ノ怨モ解ヌラン。再ヒ家ニ妖怪ノ事ナク。彦兵衛

●續鑽石上末

三十四

カ病モ。漸々平愈セシカバ。却テ信心ヲ生シテ。佛神ヲ尊敬シテ。  
弥家内安穩ニテ恙ナカリキト。直ニ其ノ追善ノ法事ヲ助修  
セル僧ノ。弟子ノ物語リナリ。不孝ノ罪ハ。五刑ノ第一。阿鼻ノ正  
因ナレドモ癩病ハ諸人ノ厭。惡スル業病ナレバ。凶母ノ恨モ少カリケラシ。  
後ニ改悔シテ回向ヲ修スレバ。業障モ少ハ減スベキカ○同村ニ  
原口氏ノ者アリ。子共數多アリケルニ。胃子彦左トテ。癩癩病  
ニテ。五月ニ耕トテ病發リテ死ス。此ニ依テ次男左次兵衛其ノ  
跡ヲ相續セリ。或時父喜右衛門發病シテ。永々シク惱ム。療治モ  
祈禱モ及バサレバ左次兵。其村ノ氏神。八幡宮へ一七日夜參籠  
シケレバ。近村ノ人マデモ。父ノ病氣平愈ノ祈リナルラント。感ゼヌモ  
ノコソナカリケル。サテ一七日満スル夜。同村ノ者。是モ宿願有テ

●續鑽石上末

三十四

③上末 34ウ

③上末 34ウ

同ク籠リス。二人通夜シテ。徒然ノ餘リニ問フテ曰ク。其方ノ七日ノ參籠ハ。何ノ意願ゾト。彼カ曰ク。何モ知り申サルトホリ。愚父永ミシク煩ヒ。醫療効ナシ。久シク娑婆ニ流浪シテ。苦痛セラレシヨリ。早く斃テ休息セラレシハ。指殺ナバ他人ノ嘲モ何トスベイト思ヒ。八幡様へ早く斃シメ玉ヘト祈ルナリト。其人返答ニモ及バス。アキレ果テ歸ルニ。喜右程ナク死ス。惡子大ニ悦ビ。追善ヲモ作ズ。暗トシテ暮シケル程ニ。其年ノ暮ヨリ。兄弟親族大ニ訶論起リ。又惡子カ妻狂亂シテ。家内上ヲ下ヘト覆ス。先祖ヨリ相傳ノ家財田地モ。三人分配シテ領シケレバ。内證不如意ナル上。次ノ年。正月ニ火災起リ。立タルマニテ家ヲ焼込ス。不孝ノ現罰ナレバ。惡子眼病發リ。半ハ盲タリケレバ。渡世モ不叶山

●續鑛石上末 三十五

伏ノ弟子トナリ。餓死ニ近シ。誠ニ以テ。逆罪人ナレバ佛神何ゾ其祈ヲ納シ玉ハンヤ。天ニ仰テ唾ヲ吐者ハ。却テ己カ顔ヲ汗ストハ。是二人ノ事ナラン。此ハ正徳年中ノ事ニテ。親リ見タル僧ノ物語ナリ。恐ルヘシ慎ムヘシ

二十二ニハ惡人送葬ノ時火車出現ノ事

越後州魚沼郡或村ニ富家アリ。代々佛法ヲ信仰シテ。倍繁昌シ。九族共ニ富裕豐饒ナリ。一床ニ兩好ナキハ。世ノ常ナレバ。彼カ妻ハ。甚慳貪邪見ニシテ。三寶ヲ憎嫌シ。佛像ヲ見ルコト傀儡ノ如ク。僧ニ遇スルコト盲人ニ對スルカ如シ。乞食非人ノ食ヲ乞テ門ニ立ヲハ。情ナク追出シテ。殘飯餘瀝ノ惠施ナク。觀音講。念佛講ナドニ入玉ヘト勸ルニハ。頭掉テ眉ヲ嘸メ。悋妬講始

同ク籠リス。二人通夜シテ。徒然ノ餘リニ問フテ曰ク。其方ノ七日ノ參籠ハ。何ノ意願ゾト。彼カ曰ク。何モ知り申サルトホリ。愚父永ミシク煩ヒ。醫療効ナシ。久シク娑婆ニ流浪シテ。苦痛セラレシヨリ。早く斃テ休息セラレシハ。指殺ナバ他人ノ嘲モ何トスベイト思ヒ。八幡様へ早く斃シメ玉ヘト祈ルナリト。其人返答ニモ及バス。アキレ果テ歸ルニ。喜右程ナク死ス。惡子大ニ悦ビ。追善ヲモ作ズ。暗トシテ暮シケル程ニ。其年ノ暮ヨリ。兄弟親族大ニ訶論起リ。又惡子カ妻狂亂シテ。家内上ヲ下ヘト覆ス。先祖ヨリ相傳ノ家財田地モ。三人分配シテ領シケレバ。内證不如意ナル上。次ノ年。正月ニ火災起リ。立タルマニテ家ヲ焼込ス。不孝ノ現罰ナレバ。惡子眼病發リ。半ハ盲タリケレバ。渡世モ不叶山

●續鑛石上末 三十五

伏ノ弟子トナリ。餓死ニ近シ。誠ニ以テ。逆罪人ナレバ佛神何ゾ其祈ヲ納シ玉ハンヤ。天ニ仰テ唾ヲ吐者ハ。却テ己カ顔ヲ汗ストハ。是二人ノ事ナラン。此ハ正徳年中ノ事ニテ。親リ見タル僧ノ物語ナリ。恐ルヘシ慎ムヘシ

二十二ニハ惡人送葬ノ時火車出現ノ事

越後州魚沼郡或村ニ富家アリ。代々佛法ヲ信仰シテ。倍繁昌シ。九族共ニ富裕豐饒ナリ。一床ニ兩好ナキハ。世ノ常ナレバ。彼カ妻ハ。甚慳貪邪見ニシテ。三寶ヲ憎嫌シ。佛像ヲ見ルコト傀儡ノ如ク。僧ニ遇スルコト盲人ニ對スルカ如シ。乞食非人ノ食ヲ乞テ門ニ立ヲハ。情ナク追出シテ。殘飯餘瀝ノ惠施ナク。觀音講。念佛講ナドニ入玉ヘト勸ルニハ。頭掉テ眉ヲ嘸メ。悋妬講始

③上末 35ウ

未講ト云ヘバ。召カザレドモ幾口ニモ交リ入。金銀ヲ貧人ニ借ス時ハ。二割三割ノ支分ヲ責課。衣服子共ヲモ沽却セシメテ。微塵バカリノ芳情ナク僕從奴婢ニモ無愛アタリテ。朝夕ノ食物ヲモ。自ラハ甘味ナルヲ食ヒ。夫家來共ニ。籠糲糟糠ヲ食ハシム。他人ハ言ニ及バズ。夫モ子共モ疎ミ果。寔ニ是ヲ山姥ト云ンヤ。將為夜叉女。脫衣婆ノ輩ナランカト。怪ミ厭ヘドモ。壯年ヨリノ夫婦ナレバ追出スヘキモアラズ。或時同郡ニ觀音堂ノ荒廢セル有ヲ。此男諸人ヲ勸テ。再興セント計ル。妻此ヲ聞テ。大ニ嫌ヒ憎ミ。種々ノ防ヲ作テ。成就セシメザレバ。夫モ忙然テ悲ム處ニ。享保四年。彼惡女。手指曲リテ不申。醫師術ヲ盡シ。針灸秘策ヲ運セドモ。寸ノ驗モナシ。五十餘日苦痛シテ。腫潰ヘテ

●續鑽石上末

三十六

膿血流出。漸ク瘡カト思ヘ。左右ノ手足。身中ノ筋脉引ツリ病。苦痛憂惱スルコト五年。種々ノ祈念療治。万計少モ効アラバコソ。享保八年六月下旬ニ。狂亂シテ死シヌ。子共悲ミテ。檀那寺ニ到リ。引導送葬ヲ請。寺ハ真言寺ナリ。住持ノ僧念ヘラク。此大邪見ノ醜女。卒尔ニ葬ラハ。火車ノ爲ニ奪去レンコト必セリ。若然ラハ密宗ノ瑕瑾ナリト。是ニ依テ。小僧晚入ノ志不調ノ者ヲ召具セズ。法眷ノ内。道心堅固ノ阿闍梨。四五輩ヲ誘引シテ。彼家ニ赴クニ。彼カ一族數百人集會。日中マデハ天氣晴朗ナリシガ。俄ニ雷電霹靂シテ。近處ニ落ルコト數ヶ處。彼家内殊ニ震動シテ障子破レ。柱ヲ動クコト頻ナリ。引導ノ僧。兼テ思儲タル事ナレハ。不動ノ慈救ノ咒ヲ念誦スルコト二時バカリ。良

末講ト云ヘバ。召カザレドモ幾口ニモ交リ入。金銀ヲ貧人ニ借ス時ハ。二割三割ノ支分ヲ責課。衣服子共ヲモ沽却セシメテ。微塵バカリノ芳情ナク僕從奴婢ニモ無愛アタリテ。朝夕ノ食物ヲモ。自ラハ甘味ナルヲ食ヒ。夫家來共ニハ。籠糲糟糠ヲ食ハシム。他人ハ言ニ及バズ。夫モ子共モ疎ミ果。寔ニ是ヲ山姥ト云ンヤ。將為夜叉女。脫衣婆ノ輩ナランカト。怪ミ厭ヘドモ。壯年ヨリノ夫婦ナレバ追出スヘキモアラズ。或時同郡ニ觀音堂ノ荒廢セル有ヲ。此男諸人ヲ勸テ。再興セント計ル。妻此ヲ聞テ。大ニ嫌ヒ憎ミ。種々ノ防ヲ作テ。成就セシメザレバ。夫モ忙然テ悲ム處ニ。享保四年。彼惡女。手指曲リテ不申。醫師術ヲ盡シ。針灸秘策ヲ運セドモ。寸ノ驗モナシ。五十餘日苦痛シテ。腫潰ヘテ

●續鑽石上末

三十六

膿血流血。漸ク瘡カト思ヘハ。左右ノ手足。身中ノ筋脉引ツリ病。苦痛憂惱スルコト五年。種々ノ祈念療治。万計少モ効アラバコソ。享保八年六月下旬ニ。狂亂シテ死シヌ。子共悲ミテ。檀那寺ニ到リ。引導送葬ヲ請。寺ハ真言寺ナリ。住持ノ僧念ヘラク。此大邪見ノ醜女。卒尔ニ葬ラハ。火車ノ爲ニ奪去レンコト必セリ。若然ラハ密宗ノ瑕瑾ナリト。是ニ依テ。小僧晚入ノ志不調ノ者ヲ召具セズ。法眷ノ内。道心堅固ノ阿闍梨。四五輩ヲ誘引シテ。彼家ニ赴クニ。彼カ一族數百人集會。日中マデハ天氣晴朗ナリシガ。俄ニ雷電霹靂シテ。近處ニ落ルコト數ヶ處。彼家内殊ニ震動シテ障子破レ。柱ヲ動クコト頻ナリ。引導ノ僧。兼テ思儲タル事ナレハ。不動ノ慈救ノ咒ヲ念誦スルコト二時バカリ。良

③上末 36ウ

③上末 36オ

アツテ天氣晴ヌレバ、葬ヲ作。墓處ハ一町アマリ隔テ、野外ナリ。棺ヲ輿テ墓ニ到ルコトヲヒヨリ。又大ニ黒雲覆ヒ、暗夜ノ如クニシテ。電光曄々、殷雷鳴テ既ニ凶者ノ棺ノ上ニ落ントス。時ニ一家ノ者共ハ、膽ヲ潰シ悉ク逃返。残り留ルモノハ、凶者ノ二子ト。僧五人ノミナリ。二子泣テ曰ク。只今ノ體唯事ニアラズ。火車來テ死骸ヲ取ナルベシ。大慈悲ヲ以テ助玉ヘト。僧心得タリト云マ、ニ。二手金剛拳ニシテ。棺ヲ押ヘ。南無大聖不動明王。持秘密咒。生生而加護。此度ノ死骸ヲ若火車ニ取シ玉ハ、本誓空キニ似タリ。ナウマクサンマンガバザラダンセンダマカロシヤダソハタヤウンタラタカンマント。虚空ヲ睜ニテ高聲ニスルコト數百遍。餘人ハ同音ニ。光明真言ヲ誦ジケレハ。火車モ不近少時

●續鑛石上末

一三十七

アツテ雷止天晴ケレバ火葬シテ皆家ニ歸リヌ。一族集會シテ法印様ノ御手柄。今ニ始ヌ事カナト。且ハ喜且ハ稱歎ス。然レトモ。其夜暴雨夥シクテ。茶毘ノ灰共殘ラス河中ニ押流シ。齒骨大骨少々殘ルノミナリ。村人皆指テ曰ク。一生慳貪邪見ナリシ人ノ臨終ハ。是ノ如クアラマホシケレド。夫子共ハ猶恐レ戰テ慳懃ニ寺僧ヲ頼ミ理趣ニ昧。光明真言。加持土沙ノ秘法。各二夜三日ニ。修行セシメ。十五口ノ僧ヲ請シテ。追福回向セシカバ。尔ノ後其家ニハ何ノ祟モナカリケリ。此引導ニ立ル僧ノ弟子。親子予ニ語ラレキ。二十三ニハ墓ノ中ノ僧三年カ間不死再ヒ人間ニ出ル事。寶永中ニ。下總國ニ。一ノ真言寺アリ。郡ノ名村ノ名ハ忘レタリ。此寺ノ住持阿闍梨。天性柔和善順。質直無偽ニシテ。常ニ特ニ

アツテ天氣晴ヌレバ。葬ヲ作。墓處ハ一町アマリ隔テ、野外ナリ。棺ヲ輿テ墓ニ到ルコトヲヒヨリ。又大ニ黒雲覆ヒ。暗夜ノ如クニシテ。電光曄々、殷雷鳴テ既ニ凶者ノ棺ノ上ニ落ントス。時ニ一家ノ者共ハ。膽ヲ潰シ悉ク逃返。残り留ルモノハ、凶者ノ二子ト。僧五人ノミナリ。二子泣テ曰ク。只今ノ體唯事ニアラズ。火車來テ死骸ヲ取ナルベシ。大慈悲ヲ以テ助玉ヘト。僧心得タリト云マ、ニ。二手金剛拳ニシテ。棺ヲ押ヘ。南無大聖不動明王。一持秘密咒。生生而加護。此度ノ死骸ヲ若火車ニ取シメ玉ハ、本誓空キニ似タリ。ナウマクサンマンガバザラダンセンダマカロシヤダソハタヤウンタラタカンマント。虚空ヲ睜ニテ高聲ニスルコト數百遍。餘人ハ同音ニ。光明真言ヲ誦ジケレハ。火車モ不近少時

●續鑛石上末

三十七

アツテ雷止天晴ケレバ火葬シテ皆家ニ歸リヌ。一族集會シテ。法印様ノ御手柄。今ニ始ヌ事カナト。且ハ喜且ハ稱歎ス。然レトモ。其夜暴雨夥シクテ。茶毘ノ灰共殘ラス河中ニ押流シ。齒骨大骨少々殘ルノミナリ。村人皆指テ曰ク。一生慳貪邪見ナリシ人ノ臨終ハ。是ノ如クアラマホシケレド。夫子共ハ猶恐レ戰テ慳懃ニ寺僧ヲ頼ミ理趣ニ昧。光明真言。加持土沙ノ秘法。各二夜三日ニ。修行セシメ。十五口ノ僧ヲ請シテ。追福回向セシカバ。尔ノ後其家ニハ何ノ祟モナカリケリ。此引導ニ立ル僧ノ弟子。親子予ニ語ラレキ。二十三ニハ墓ノ中ノ僧三年カ間不死再ヒ人間ニ出ル事。寶永中ニ。下總國ニ。一ノ真言寺アリ。郡ノ名村ノ名ハ忘レタリ。此寺ノ住持阿闍梨。天性柔和善順。質直無偽ニシテ。常ニ特ニ

高祖大師ヲ信仰シテ。日夜禮供怠ルコトナシ。或時病發リテ俄ニ死ス。門弟愁傷ストイヘトモ甲斐ナク。一ノ土饅頭ノ主ト為ヌ。サテ七日。百个日。一周忌。三年忌ヲ勤メ畢ルニ。人アリ墓ノ邊ニ休息シテ靜ニ聞バ。土中ニ真言ヲ誦ズル聲幽ナリ。驚キテ弟子ヲ呼ビテ聞シムルニ。正ク三年已前ニ死セル。老僧ノ聲ナレバ。此ヲ掘リ出スニ。儼然トシ活テ昔ノ如シ。サテ普ク人ニ語テ曰ク。我墓ノ中ニ入ト頓テ甦リ。讀經誦咒怠ラズ。且ツ久ク大師御作ノいろはハ。神代ノ四十七言ナルヲ。文字ナク。只音バカリナルヲ以テ。大師大神宮ニ參籠シテ。大日經王ノ所在ヲ祈求シ玉フ時。太神現形シテ告玉ク。新ニ四十七言ノ文字ヲ製リ。涅槃經ノ四句ノ文ノ意ヲ結顯スベシト。即高祖神勅ニ應シテ。いろはヲ製シ。四句ノ意ヲ顯シ

續鑛石上末

三十八

玉フ神悦ヒ玉ヒテ。汝カ求ル經ハ。大和國久米ノ道場ノ塔ノ刹中ニ在ト示シ玉フトカヤ。雲州神門寺ニ御筆ノいろは。今ニ在テ寺寶トスト聞リ。今幸ニ土中ニ在テ餘念ナシ。此いろはノ深義ヲ工夫セント思ヒ。三年ニ土中ニ在テ餘念ナシ。此いろはノ深義ヲスルコトハ。予カ姪女アリ。毎日靈供。茶湯。香燈。斷ルコトナケレハ。食物モ足り。土中暗キコトモナカリキトテ。三年ニ工夫妙悟セラレタル。伊呂波ノ深義ヲ。一七日講談セラレケレバ。諸人不思議ノ念ヲナシ。群集シ聽聞セリ。尔後伊呂波抄一卷ヲ述シテ。世ニ流布セラルトイヘリ。其ノ近處ノ僧。正ク知テ語レキ。又正徳中ニ越後國魚沼郡八生神郷猪谷村ニ狩人六人アリ。中ニモ木山澤村孫右衛門ト云者ハ。獵師ノ中ノ豪酋ナリ。或年

高祖大師ヲ信仰シテ。日夜禮供怠ルコトナシ。或時病發リテ俄ニ死ス。門弟愁傷ストイヘトモ甲斐ナク。一ノ土饅頭ノ主ト為ヌ。サテ七日。百个日。一周忌。三年忌ヲ勤メ畢ルニ。人アリ墓ノ邊ニ休息シテ靜ニ聞バ。土中ニ真言ヲ誦ズル聲幽ナリ。驚キテ弟子ヲ呼ビテ聞シムルニ。正ク三年已前ニ死セル。老僧ノ聲ナレバ。此ヲ掘リ出スニ。儼然トシ活テ昔ノ如シ。サテ普ク人ニ語テ曰ク。我墓ノ中ニ入ト頓テ甦リ。讀經誦咒怠ラズ。且ツ久ク大師御作ノいろはハ。神代ノ四十七言ナルヲ。文字ナク。只音バカリナルヲ以テ。大師大神宮ニ參籠シテ。大日經王ノ所在ヲ祈求シ玉フ時。太神現形シテ告玉ク。新ニ四十七言ノ文字ヲ製リ。涅槃經ノ四句ノ文ノ意ヲ結顯スベシト。即高祖神勅ニ應シテ。いろはヲ製シ。四句ノ意ヲ顯シ

續鑛石上末

三十八

玉フ神悦ヒ玉ヒテ。汝カ求ル經ハ。大和國久米ノ道場ノ塔ノ刹中ニ在ト示シ玉フトカヤ。雲州神門寺ニ御筆ノいろは。今ニ在テ寺寶トスト聞リ。今幸ニ土中ニ在テ餘念ナシ。此いろはノ深義ヲ工夫セント思ヒ。三年ニ土中ニ在テ餘念ナシ。此いろはノ深義ヲスルコトハ。予カ姪女アリ。毎日靈供。茶湯。香燈。斷ルコトナケレハ。食物モ足り。土中暗キコトモナカリキトテ。三年ニ工夫妙悟セラレタル。伊呂波ノ深義ヲ。一七日講談セラレケレバ。諸人不思議ノ念ヲナシ。群集シ聽聞セリ。尔後伊呂波抄一卷ヲ述シテ。世ニ流布セラルトイヘリ。其ノ近處ノ僧。正ク知テ語レキ。又正徳中ニ越後國魚沼郡八生神郷猪谷村ニ狩人六人アリ。中ニモ木山澤村孫右衛門ト云者ハ。獵師ノ中ノ豪酋ナリ。或年

十二月ノ初メ。六人同道シテ獵ニ出ツルニ。銀山ノ半腹ニ至レバ。山頂ヨリ大雪塊リ崩レテ埋ム。此六人案内ハ能ク知ツ。窟ニ逃匿ルニ。上ニハ數百尺ノ雪積ンデ凍リ。鐵石ヨリモ堅レバ。内ヨリ掘テ出ベキヤウモナク。火モナク薪モナケレバ。何ヲ以テ堅氷ヲ穿チ出シヤ。唯暗中ニ茫然トシテ。死ヲ待ハカリナルニ。彼等カ妻子。是ヲ悲ミ歎キ。七日七日。窣堵波ヲ建テ弔ヒ。毎日香燈靈供ヲ供養ジケルニ。不思議ヤ。雪嶺ノ中へ六人ノ僧アリ。日日ニ來リ。食物茶ナド持來リテ食セシムレバ。此ヲ得テ壽命ヲ連持。僧ハ何ナル人ゾト問ドモ答ヘズ。去レケレバ。六人共ニ一生ノ殺生業ヲ懺悔シ。名号ヲ唱ヘ。真言ヲ誦シテ。南無大師遍照金剛。再ヒ人間ニ出妻子ニ對面セシメ玉ハ。永ク殺生ヲ止テ。御禮ノ爲ニ高野山ニ

●續鑛石上末 三十九

參詣スシト。涙ヲ流シテ祈念セシカバ。九十三日ヲ經テ。春三月初ニ。雪消道開キケレバ。彼石窟ヲ出。面々ノ家ニ歸リ。妻子ニ逢ケレバ。皆夢ノ心地シテ。大ニ悅ヒ泣ケリ。サテ妻子問テ曰ク。窟中ニテ。死モシ玉ハズ。何ヲ食シテ存命シ玉フヤト。夫ノ曰ク。何方ヨリトモナク。六人ノ僧アリ。毎日燈明食物ヲ贈リ來リ玉フ故ニ。飢キ事モナク。安穩ニ存命タリ。能ク思ヒ合スレバ。七本ノ塔波。僧ノ形トナリ。妻子ノ眞レ靈供ヲ。窟中ニ持參シ玉ルナラント。弥佛法ノ不思議ヲ感ジテ。皆殺生ヲ止高野參詣シ。三十三所ヲ巡禮シテ。倍信心増進セリトカヤ。彼ノ六人ノ僧ノ中ニ。鼻ノ缺タルモアリ。耳ノ切タルモアリ。不具足ナリト云ニ付テ見レバ。七本窣都婆ヲ疎相ニ削成シ耳鼻ト想フ處。缺テアリシナリ。今世ノ人。窣

十二月ノ初メ。六人同道シテ獵ニ出ツルニ。銀山ノ半腹ニ至レバ。山頂ヨリ大雪塊リ崩レテ埋ム。此六人案内ハ能ク知ツ。窟ニ逃匿ルニ。上ニハ數百尺ノ雪積ンデ凍リ。鐵石ヨリモ堅レバ。内ヨリ掘テ出ベキヤウモナク。火モナク薪モナケレバ。何ヲ以テ堅氷ヲ穿チ出シヤ。唯暗中ニ茫然トシテ。死ヲ待ハカリナルニ。彼等カ妻子。是ヲ悲ミ歎キ。七日七日。窣堵波ヲ建テ弔ヒ。毎日香燈靈供ヲ供養ジケルニ。不思議ヤ。雪嶺ノ中へ六人ノ僧アリ。日日ニ來リ。食物茶ナド持來リテ食セシムレバ。此ヲ得テ壽命ヲ連持。僧ハ何ナル人ゾト問ドモ答ヘズ。去レケレバ。六人共ニ一生ノ殺生業ヲ懺悔シ。名号ヲ唱ヘ。真言ヲ誦シテ。南無大師遍照金剛。再ヒ人間ニ出妻子ニ對面セシメ玉ハ。永ク殺生ヲ止テ。御禮ノ爲ニ高野山ニ

●續鑛石上末 三十九

參詣スヘシト。涙ヲ流シテ祈念セシカバ。九十三日ヲ經テ。春三月初ニ。雪消道開キケレバ。彼石窟ヲ出。面々ノ家ニ歸リ。妻子ニ逢ケレバ。皆夢ノ心地シテ。大ニ悅ヒ泣ケリ。サテ妻子問テ曰ク。窟中ニテ。死モシ玉ハズ。何ヲ食シテ存命シ玉フヤト。夫ノ曰ク。何方ヨリトモナク。六人ノ僧アリ。毎日燈明食物ヲ贈リ來リ玉フ故ニ。飢キ事モナク。安穩ニ存命タリ。能ク思ヒ合スレバ。七本ノ塔波。僧ノ形トナリ。妻子ノ眞レ靈供ヲ。窟中ニ持參シ玉ルナラント。弥佛法ノ不思議ヲ感ジテ。皆殺生ヲ止高野參詣シ。三十三所ヲ巡禮シテ。倍信心増進セリトカヤ。彼ノ六人ノ僧ノ中ニ。鼻ノ缺タルモアリ。耳ノ切タルモアリ。不具足ナリト云ニ付テ見レバ。七本窣都婆ヲ疎相ニ削成シ耳鼻ト想フ處。缺テアリシナリ。今世ノ人。窣

③上末 39ウ

都婆ラ曲ノル木。小木ニテ造ルハ不如法ナリ。龕ノ四角ナレ木ヲ用ユレ。不朽物語ノ段ニ記スルガ如シ。又世人小黠シテ靈供ヲ備ヘズ或ハ腐儒荒禪邪神道ヲ學ブ族ヲ靈牌ヲ河ニ流シ捐靈奠ヲ作ザルハ。大ニ佛神ノ御心ニ背キ。其家ニハ種々ノ災殃起リ。子孫斷絶シテ。諸人ノ爲ニ笑ハル、者頗ル多シ。哀ナルカナ。悲イカナ。二十四ニハ奥州ノ僧慈救ノ咒靈驗ノ事

奥州南部森岡高泉寺ハ。代々真言宗ニテ。即太守大膳大夫ノ祈願寺ナリ。正徳享保ノ比ノ住持ヲ堯智房廣運阿闍梨ト名ク。堯智房天性宿植善本。神情明利ニシテ。菩提心勇銳無惑ニ。尸羅淨無缺ニシテ。現成悉地ノ願堅固ナリ。平生大聖不動摩訶威怒王ヲ信シテ。落又ノ遍數重リケレバ。法眷中皆敬

●續鑛石上末

四十

畏シ。道俗盡ク景行セズト云コトナシ。壯年ニシテ山林蘭若ニ晦黙シテ。快ク持念セント願フトイヘドモ。諸檀家並ニ現師。其ノ才操ヲ悋ミテ。卒尔ニ不レ許バ。是非ナク。衆中ニ在テ勤ムトイヘドモ。心中ノ堅誓少モ退セズ。時ヲ待レケルニ。或時老師告テ曰ク。我老衰日ニ甚シク。寺務勤ルニ慵シ。退院時至リヌ。寺ヲ汝ニ附屬ス。國主武運長久ヲ祈リ。天下泰平。海晏河清。百穀豐登。万民安穩ノ祈禱。怠慢アルベカラズ。堯智大ニ驚キ。默然トシテ念ハク。師命ニ順セントスレバ。平生ノ意願空シカラン。違背セバ。其罪幾何ゾヤ。但シ山中ニ隠レテ。悉地ヲ期セバ。一端ノ恩ニ背クニ似タレドモ。全ク佛制ニモ違スベカラズ。弃恩入無爲眞實報恩者ノ文。豈此時ニアラズヤト。即荅テ曰ク。不肖樗櫟ノ朽材

都婆ラ曲メル木。小木ニテ造ルハ不如法ナリ。龕ノ四角ナル木ヲ用ユベシ。不朽物語ノ段ニ記スルガ如シ。又世人小黠シテ靈供ヲ備ヘズ或ハ腐儒荒禪邪神道ヲ學ブ族ヲ靈牌ヲ河ニ流シ捐靈奠ヲ作ザルハ。大ニ佛神ノ御心ニ背キ。其家ニハ種々ノ災殃起リ。子孫斷絶シテ。諸人ノ爲ニ笑ハル、者頗ル多シ。哀ナルカナ。悲イカナ。二十四ニハ奥州ノ僧慈救ノ咒靈驗ノ事

奥州南部森岡高泉寺ハ。代々真言宗ニテ。即太守大膳大夫ノ祈願寺ナリ。正徳享保ノ比ノ住持ヲ堯智房廣運阿闍梨ト名ク。堯智房天性宿植善本。神情明利ニシテ。菩提心勇銳無惑ニ。尸羅淨無缺ニシテ。現成悉地ノ願堅固ナリ。平生大聖不動摩訶威怒王ヲ信シテ。落又ノ遍數重リケレバ。法眷中皆敬

●續鑛石上末

四十

畏シ。道俗盡ク景行セズト云コトナシ。壯年ニシテ山林蘭若ニ晦黙シテ。快ク持念セント願フトイヘドモ。諸檀家並ニ現師。其ノ才操ヲ悋ミテ。卒尔ニ不レ許バ。是非ナク。衆中ニ在テ勤ムトイヘドモ。心中ノ堅誓少モ退セズ。時ヲ待レケルニ。或時老師告テ曰ク。我老衰日ニ甚シク。寺務勤ルニ慵シ。退院時至リヌ。寺ヲ汝ニ附屬ス。國主武運長久ヲ祈リ。天下泰平。海晏河清。百穀豐登。万民安穩ノ祈禱。怠慢アルベカラズ。堯智大ニ驚キ。默然トシテ念ハク。師命ニ順セントスレバ。平生ノ意願空シカラン。違背セバ。其罪幾何ゾヤ。但シ山中ニ隠レテ。悉地ヲ期セバ。一端ノ恩ニ背クニ似タレドモ。全ク佛制ニモ違スベカラズ。弃恩入無爲眞實報恩者ノ文。豈此時ニアラズヤト。即荅テ曰ク。不肖樗櫟ノ朽材

③上末40ウ

③上末40オ

斗筲ノ小器。住持スベキニアラズ。法眷頗ル多シ。器ヲ擇ンテ附  
囑シ玉。今日暇ヲ賜レトテ。即チ座ヲ立テ出ツ。諸人引留ムレ  
ドモ。不用。直ニ貴寶山ニ入テ。木食草衣。端坐禁足シテ。純一勇  
猛ニ慈救ノ咒ヲ念誦スルコト。六十落又。身無畏ヲ得ルニ似タリ。四  
年ヲ過テ。國中疫癘流行。死人衢ニ堆シ。種々ノ祈念ヲ勤ムト  
イヘドモ。些少ノ驗モナケレバ。太守ノ憂庶民ノ悲。言ニ述ガタシ。或  
人ノ曰ク。堯智大徳ハ。近代ノ行者ナリ。山居禁足ナリト聞ドモ。慈  
悲救濟ノ爲ナレバ。請シ出シテ加持ヲ請ハ。必ズ此度ノ災難ヲ消  
除スルコトヲ得ント。各悦ビ一同シテ太守ニ白ス。太守諸人ノ願尤  
ナリトテ。使者ヲ山中ニ遣シテ懇懃ニ請ズ。堯智本ヨリ。行願大悲  
ノ心間ナケレバ。此ヲ聞テ何ゾ哀愍救度ノ心ナカラシヤ。即出テ、

●續鑛石上末

四十一

斗筲ノ小器。住持スベキニアラズ。法眷頗ル多シ。器ヲ擇ンテ附  
囑シ玉へ。今日暇ヲ賜レトテ。即チ座ヲ立テ出ツ。諸人引留ムレ  
ドモ。不用。直ニ貴寶山ニ入テ。木食草衣。端坐禁足シテ。純一勇  
猛ニ。慈救ノ咒ヲ念誦スルコト。六十落又。身無畏ヲ得ルニ似タリ。四  
年ヲ過テ。國中疫癘流行。死人衢ニ堆シ。種々ノ祈念ヲ勤ムト  
イヘドモ。些少ノ驗モナケレバ。太守ノ憂庶民ノ悲。言ニ述ガタシ。或  
人ノ曰ク。堯智大徳ハ。近代ノ行者ナリ。山居禁足ナリト聞ドモ。慈  
悲救濟ノ爲ナレバ。請シ出シテ加持ヲ請ハ。必ズ此度ノ災難ヲ消  
除スルコトヲ得ント。各悦ビ一同シテ太守ニ白ス。太守諸人ノ願尤  
ナリトテ。使者ヲ山中ニ遣シテ懇懃ニ請ズ。堯智本ヨリ。行願大悲  
ノ心間ナケレバ。此ヲ聞テ何ゾ哀愍救度ノ心ナカラシヤ。即出テ、

●續鑛石上末

四十一

③上末41オ

不動ノ秘咒ヲ念シテ加持セラル、ニ。三日ノ間ニ。疫癘悉ク平愈  
シ。蕪生ノ人頗ル多シ。太守ノ感信少カラズ。万民歡抃シテ。寔ニ  
末世ノ活佛トハ。此上人ヲゾ申スベカリケルト云。堯智房少モ矜  
夸ノ心ナク。早ク山ニ歸リ。復倍加精進ニ勤修セラル。或時森岡  
ノ高水寺池魚ノ災ニ罹テ。残ラズ焼ハス。依テ太守及ビ庶民  
皆一同ニ堯智上人ヲ請ジ。住持セシメスンバ。寺院興隆ノ時アラ  
ジト云テ。即使者ヲ山中ニ遣シテ苦ニ請ズ。上人固辭スルコト再三  
ナレトモ。太守許ズ依テ上人。不動尊ノ前ニ於テ。山ヲ出テ、住  
持シテ利益アランヤ否ノ鬪スルニ。二度ニ及トモ。皆山ヲ出テ、住  
持スベキノ鬪降タリ。サテハ本尊ノ御心ニモ乖ザリケリト知テ。  
請ニ應ジテ。住持セラレケレバ。諸人大師ノ出世ニ逢奉ルカ如ク

③上末41ウ



渴仰シ虔奉ス。享保六年ノ冬。太守ノ命ニ依テ。高水寺ノ本尊。不動明王造立ノ爲ニ上京シ。豊山ニ登リ。同八年ノ正月十二日ニ歸國セラル。上人貴寶山ニ蟄居スルコト七年。慈救咒ヲ滿ズルコト。六百万遍。始ハ何モナキ山中ニ。三間四面ノ堂ヲ建立シ。不動尊ヲ安置シテ供養セラレケレバ。四方雲ノ如ク集テ。種々掲焉ノ靈驗多カリキト。武州僧圓海豊山ニテ相見熟。形貌ヲ見ルニ。玉ノ温潤ナルガ如ク。蓮ノ淤泥ヲ出タルカ如ク。昂然トシテ獨立ス。疑フラクハ。人執已斷ノ人。證果ノ聖者ナラスヤ。或人問七年山居。六百万遍ノ念誦。其悉地ノ相如何ト。堯智ノ曰ク。別ニ所得ナシ。但シ如何ナル魔嬈異縁ニ逢トモ驚キ瞋恚ヲ生スルコトナシ。客ト對談ノ時ニモ月輪空中ニ照耀シ。金色ノ孔憾字光明

續鑛石上末 四十二

炳著ニシテ。閉目開目了了分明。餘人所不見ノ境ナリ。其ノ外別ノ子細ナシト。疑ラクハ是謙遜カ。其得意ノ妙ハ。人ニ示スベカラズ。猶現在ノ僧ナレバ。往末料リガタシ。前集ニ希勒阿闍梨。寶山大和尚ノ行狀ヲ記ス。今復堯智ノ苦修ヲ著ス。併ラ後昆ノ進修ヲ策勵スルニアリ。説謠狂言ノ類ニアラズ。嗤笑スルコトナカレ

二十五ニハ大唐青龍寺光儀法師ノ事

大唐ノ第三主。高宗皇帝ノ后ヲ。則天皇后墨ト名ク。其才呂后孝謙政子ニ過タルコト遠シ。本ハ荊州ノ都督武士護カ女ナリ。太宗皇帝ノ宮人ナリシカ。帝崩ジテ尼トナリ。感業寺ニ住ス。高宗見テ悦ビ。貞觀十一年ニ還俗セシメ。遂ニ後ニ皇后

渴仰シ虔奉ス。享保六年ノ冬。太守ノ命ニ依テ。高水寺ノ本尊。不動明王造立ノ爲ニ上京シ。豊山ニ登リ。同八年ノ正月十二日ニ歸國セラル。上人貴寶山ニ蟄居スルコト七年。慈救咒ヲ滿ズルコト。六百万遍。始ハ何モナキ山中ニ。三間四面ノ堂ヲ建立シ。不動尊ヲ安置シテ供養セラレケレバ。四方雲ノ如ク集テ。種々掲焉ノ靈驗多カリキト。武州ノ僧圓海豊山ニテ相見熟。形貌ヲ見ルニ。玉ノ温潤ナルガ如ク。蓮ノ淤泥ヲ出タルカ如ク。昂然トシテ獨立ス。疑フラクハ。人執已斷ノ人。證果ノ聖者ナラスヤ。或人問七年山居。六百万遍ノ念誦。其悉地ノ相如何ト。堯智ノ曰ク。別ニ所得ナシ。但シ如何ナル魔嬈異縁ニ逢トモ驚キ瞋恚ヲ生スルコトナシ。客ト對談ノ時ニモ月輪空中ニ照耀シ。金色ノ孔憾字光明

續鑛石上末 四十二

炳著ニシテ。閉目開目了了分明。餘人所不見ノ境ナリ。其ノ外別ノ子細ナシト。疑ラクハ是謙遜カ。其得意ノ妙ハ。人ニ示スベカラズ。猶現在ノ僧ナレバ。往末料リガタシ。前集ニ希勒阿闍梨。寶山大和尚ノ行狀ヲ記ス。今復堯智ノ苦修ヲ著ス。併ラ後昆ノ進修ヲ策勵スルニアリ。説謠狂言ノ類ニアラズ。嗤笑スルコトナカレ

二十五ニハ大唐青龍寺光儀法師ノ事

大唐ノ第三主。高宗皇帝ノ后ヲ。則天皇后墨ト名ク。其才呂后孝謙政子ニ過タルコト遠シ。本ハ荊州ノ都督武士護カ女ナリ。太宗皇帝ノ宮人ナリシカ。帝崩ジテ尼トナリ。感業寺ニ住ス。高宗見テ悦ビ。貞觀十一年ニ還俗セシメ。遂ニ後ニ皇后

③上末42ウ

トス。武后三十二歳睿敏豪俊ナリ。高宗既ニ崩シテ。中宗則  
天子位ニ即。武后政ヲ專ニシテ。中宗ヲ推排僧懷義ヲ寵シ。  
禁中ニ宿衛セシム。又張易之張昌宗兄弟。共ニ辟陽侯タリ  
嬖荒ナリトイヘドモ。亦大ニ佛法ヲ興ス。六祖。南山。慈恩。法藏。玄  
奘。義淨。實又難陀等ノ三藏碩師ハ。皆此時ノ高德ナリ。武  
后唐ノ本家。李氏ノ諸王ヲ輕蔑シテ。我一家ノ武氏ヲ取立大  
名トス。唐ノ諸王忿テ。兵ヲ起シ武氏ヲ滅サントスルニ不勝。高宗ノ  
弟越王貞王也。又義兵ヲ舉テ匡復セントスルニ戰負テ。皆  
三族ヲ夷セラレ。唯賴ナシ。武后奢ヲ長シテ。自ラ金輪聖神皇  
帝ト号シ。國ヲ大周ト名ケ。年号等ヲ改ム。武氏ノ亂ニ。瑯琊王  
ノ子弟。僉夷滅セラル。中ニ稚子アリ。乳母負テ走り。扶風

續鑛石上末

四十三

トス。武后三十二歳。睿敏豪俊ナリ。高宗既ニ崩シテ。中宗則  
天子位ニ即。武后政ヲ專ニシテ。中宗ヲ推排僧懷義ヲ寵シ。  
禁中ニ宿衛セシム。又張易之張昌宗兄弟。共ニ辟陽侯タリ  
嬖荒ナリトイヘドモ。亦大ニ佛法ヲ興ス。六祖。南山。慈恩。法藏。玄  
奘。義淨。實又難陀等ノ三藏碩師ハ。皆此時ノ高德ナリ。武  
后唐ノ本家。李氏ノ諸王ヲ輕蔑シテ。我一家ノ武氏ヲ取立大  
名トス。唐ノ諸王忿テ。兵ヲ起シ武氏ヲ滅サントスルニ不勝。高宗ノ  
弟越王貞王也。又義兵ヲ舉テ匡復セントスルニ戰負テ。皆  
三族ヲ夷セラレ。唯賴ナシ。武后奢ヲ長シテ。自ラ金輪聖神皇  
帝ト号シ。國ヲ大周ト名ケ。年号等ヲ改ム。武氏ノ亂ニ。瑯琊王  
ノ子弟。僉夷滅セラル。中ニ稚子アリ。乳母負テ走り。扶風

續鑛石上末

四十三

③上末43ウ

大樹ノ下ニイテシテ。如何ハセント泣血セラレケルニ。忽然トシテ。一リノ老僧来リ王ヒ。汝何ゾ一人此ニ住スルヤ。虎狼ニ啖レンコト必セリ。出家スマジキヤ。王子ノ曰ク。願クハ弟子ト成玉ヘト。老僧悦ンテ剃髮シ。名ヲ光儀ト賜フ。衣鉢自然ニ具足ス。聖僧告テ曰ク。此東ノ山谷ニ寺アリ。汝往テ僧ヲ頼ミテ住セヨト教テ。擻消ヤウニ失玉フ。光儀沙弥頼ム木陰ニ雨ノ漏心地シテ。是非ナク教ノ如ク。泣ク山谷ニ尋ネ入ニ寺アリ。小僧ノ曰ク。父母親族モナキ貧兒ナリ。衆僧慈悲ヲ垂テ養ヒ玉ヘト。諸衆皆涙ヲ拭フテ憐ム眼睛常ノ人ニ勝レタレバ。別シテ殊恩ヲ加フ。神龍元年張柬之崔玄暉等籌ヲ運シテ。武氏ノ一族ヲ滅シ。再ヒ中宗皇帝位ニ即玉フ。則天周ト改テヨリ十六年。八十二歳ニシテ崩ズ。張易之張昌

●續鑛石上末

四十四

宗ハ並ニ天下無雙ノ美人ナリ。世上歌テ曰ク。誰カ云六郎蓮花ニ似タリト。正ニ是蓮華六郎ニ似タルノミト。六郎ハ即張昌宗ナリ。二人共ニ殺サル。光儀法師寺ニ住スルコト十年。中宗位ニ復シテ。唐室復興ル。海内ニ勅シテ。瑯琊王ノ小子ヲ尋求メシム。光儀實ヲ以テ告ク。天皇睿情大ニ悦ビ。召テ曰ク。還俗セヨ。父母ノ國昔ノ如ク領ゼシメント。光儀ノ志シ金石ヨリモ堅シ。白ク勅命一モ賢シトイヘドモ父母親族皆賊徒ニ害セラル。我一人偶存命シ出家ス。是何ノ幸ソヤ。一心ニ修行ヲ策ミシ六親眷屬ノ脱苦得樂ヲ願フベシ何ソ浮雲ノ榮華ヲ求メンヤト。其志確呼トシテ不拔帝龍顔ニ涙ヲ流シ玉フ。扶風ノ李使君ハ。光儀ノ伯父ナリ。一女アリ。光儀ノ容貌閑雅ナルヲ見テ醉ヌ。父母ノ他行ヲ待得テ。私

大樹ノ下ニイテシテ。如何ハセント泣血セラレケルニ。忽然トシテ。

一リノ老僧来リ王ヒ。汝何ゾ一人此ニ住スルヤ。虎狼ニ啖レンコト必セリ。出家スマジキヤ。王子ノ曰ク。願クハ弟子ト成玉ヘト。老僧悦ンテ剃髮シ。名ヲ光儀ト賜フ。衣鉢自然ニ具足ス。聖僧告テ曰ク。此東ノ山谷ニ寺アリ。汝往テ僧ヲ頼ミテ住セヨト教テ。擻消ヤウニ失玉フ。光儀沙弥頼ム木陰ニ雨ノ漏心地シテ。是非ナク教ノ如ク。泣ク山谷ニ尋ネ入ニ寺アリ。小僧ノ曰ク。父母親族モナキ貧兒ナリ。衆僧慈悲ヲ垂テ養ヒ玉ヘト。諸衆皆涙ヲ拭フテ憐ム眼睛常ノ人ニ勝レタレバ。別シテ殊恩ヲ加フ。神龍元年張柬之崔玄暉等籌ヲ運シテ。武氏ノ一族ヲ滅シ。再ヒ中宗皇帝位ニ即玉フ。則天周ト改テヨリ十六年。八十二歳ニシテ崩ズ。張易之張昌

●續鑛石上末

四十四

宗ハ並ニ天下無雙ノ美人ナリ。世上歌テ曰ク。誰カ云六郎蓮花ニ似タリト。正ニ是蓮華六郎ニ似タルノミト。六郎ハ即張昌宗ナリ。二人共ニ殺サル。光儀法師寺ニ住スルコト十年。中宗位ニ復シテ。唐室復興ル。海内ニ勅シテ。瑯琊王ノ小子ヲ尋求メシム。光儀實ヲ以テ告ク。天皇睿情大ニ悦ビ。召テ曰ク。還俗セヨ。父母ノ國昔ノ如ク領ゼシメント。光儀ノ志シ金石ヨリモ堅シ。白ク勅命一モ賢シトイヘドモ父母親族皆賊徒ニ害セラル。我一人偶存命シ出家ス。是何ノ幸ソヤ。一心ニ修行ヲ策マシ六親眷屬ノ脱苦得樂ヲ願フベシ何ソ浮雲ノ榮華ヲ求メンヤト。其志確呼トシテ不拔帝龍顔ニ涙ヲ流シ玉フ。扶風ノ李使君ハ。光儀ノ伯父ナリ。一女アリ。光儀ノ容貌閑雅ナルヲ見テ醉ヌ。父母ノ他行ヲ待得テ。私

③上末44ウ

三情曲ヲ伸テ孟光タラシコトヲ責願フ。光儀詐リ許シテ刺  
刀ヲ以テ肌葩ヲ斷ル。女驚キ叫ビ。實ヲ以テ父母ニ告ク。恐怖シ  
テ奏聞セシカバ。勅シテ青龍寺ヲ建テ住セシムルニ。四衆雲集  
シテ。大ニ正法ヲ興隆シ玉フトイヘリ。彼聖僧ハ疑ラクハ。地藏菩  
薩カ。又ハ羅睺羅尊者ナランカ。皇孫ニ生レテ永ク世榮ヲ辭  
シ。操行高潔ナルコト開成王子ニ比センカ。真如親王ニ倅ンカ。善  
仲善筭ノ徒ナランカ。其魔女ニ逢フテ。秋霜烈日明月夜光ノ如  
クナルモノハ。万代ノ龜鏡ナルモノナラズヤ

二十六ハ須達長者カ子目連ニ付テ三藏ヲ讀習フ事

毘奈耶律五云。目連須達長者カ家ニ到ルニ長者曾子ノ為  
ニ四韋陀典ヲ習讀シム。目連ノ曰ク。人命無常ナリ。何ソ無益ノ

●續鑛石上末

四十五

韋陀ヲシモ習シムルヤ。我房ニ通ヘシメヨ。三藏ヲ教授スヘシ。結縁  
ノ利益豈廣大ナラズヤト。長者大ニ悅ヒ。七寶ノ瓔珞ノ價直十  
万両金ナルヲ。頸ニ挂シメ。僕一人ヲ供セシメテ。日日祇園精舎ニ通  
ハシム。羣賊林中ニ會シテ議スラク。今年ハ不幸ニシテ獲物少  
シ。來春ニテノ畜。何トシテ得ベキヤト。一人ノ曰ク。我聞須達長者  
カ子。日日祇園ニ詣ス。無價ノ瓔珞ヲ頸ニ繫タリ。此ヲ奪得ハ  
大ニ利アラント。羣賊僉議シテ其來ルヲ伺ヒ。即捉テ逃ク。僕  
惶惶テ走テ家ニ歸リ。長者ニ告ク。長者大ニ驚キ悲シ。即チ  
波斯匿王ニ白ス。王毘盧宅加將軍ニ勅シテ追シム。目連天眼  
ヲ以テ見ニ。將軍ト須達ト元來隙アルヲ以テ。勅命ナリトイヘ  
ドモ敢テ忽カス。賊既ニ五由旬ヲ過テ。恒河ヲ舟ニ棹シテ下

ニ情曲ヲ伸テ。孟光タランコトヲ責願フ。光儀詐リ許シテ刺  
刀ヲ以テ。肌葩ヲ斷ル。女驚キ叫ビ。實ヲ以テ父母ニ告ク。恐怖シ  
テ奏聞セカシバ。勅シテ青龍寺ヲ建テ住セシムルニ。四衆雲集  
シテ。大ニ正法ヲ興隆シ玉フトイヘリ。彼聖僧ハ疑ラクハ。地藏菩  
薩カ。又ハ羅睺羅尊者ナランカ。皇孫ニ生レテ永ク世榮ヲ辭  
シ。操行高潔ナルコト開成王子ニ比センカ。真如親王ニ倅ンカ。善  
仲善筭ノ徒ナランカ。其魔女ニ逢フテ。秋霜烈日明月夜光ノ如  
クナルモノハ。万代ノ龜鏡ナルモノナラズヤ

二十六ハ須達長者カ子目連ニ付テ三藏ヲ讀習フ事

毘奈耶律五云。目連須達長者カ家ニ到ルニ長者曾子ノ為

ニ四韋陀典ヲ習讀シム。目連ノ曰ク。人命無常ナリ。何ソ無益ノ

●續鑛石上末

四十五

韋陀ヲシモ習シムルヤ。我房ニ通ハシメヨ。三藏ヲ教授スヘシ。結縁  
ノ利益豈廣大ナラズヤト。長者大ニ悅ヒ。七寶ノ瓔珞ノ價直十  
万両金ナルヲ。頸ニ挂シメ。僕一人ヲ供セシメテ。日日祇園精舎ニ通  
ハシム。羣賊林中ニ會シテ議スラク。今年ハ不幸ニシテ獲物少  
シ。來春マテノ畜。何トシテ得ベキヤト。一人ノ曰ク。我聞須達長者  
カ子。日日祇園ニ詣ス。無價ノ瓔珞ヲ頸ニ繫タリ。此ヲ奪得ハ  
大ニ利アラント。羣賊僉議シテ其來ルヲ伺ヒ。即捉テ逃ク。僕  
惶惶テ走テ家ニ歸リ。長者ニ告ク。長者大ニ驚キ悲シ。即チ  
波斯匿王ニ白ス。王毘盧宅加將軍ニ勅シテ追シム。目連天眼  
ヲ以テ見ニ。將軍ト須達ト元來隙アルヲ以テ。勅命ナリトイヘ  
ドモ敢テ忽カス。賊既ニ五由旬ヲ過テ。恒河ヲ舟ニ棹シテ下

ル。目連慙傷シテ。長者ハ祇園ノ大檀主ナリ。童子ヲ教ルコトハ予カ企ナリ。若此度ノ難ヲ救助セズンバ。佛意ニモ背クヘシト。即チ將軍ノ軍衆ヲ現ジテ。恒河ノ兩岸ヨリ鼓ヲ鳴シテ追フ。羣賊恐レテ。速ニ童子ヲ岸ニ上テ逃ヌ。童子夢ノ如クシテ舍衛城ニ還ルニ。毘盧宅加ガ軍ニ逢ヌ。將軍馬ヨリ降テ。問テ曰ク。汝何ゾ能ク逃歸ルヤト。童子カ曰ク。將軍追手ニ向ヒ。恒河ノ兩岸ヨリ挿シテ攻玉フニ依テ。羣賊狼狽テ逃ヌ。宅加カ曰ク。我ハ馬ヲ早メテ追トイヘドモ。不及此ハ是佛弟子ノ所爲ナラン。誰ヲカ見ツルト。童子ノ曰ク。目連尊者樹下ニ坐シ玉ヲ見ト。宅加大ニ悦デ曰ク。我國ニカクノ如キ。國寶ノ大徳アリ。故ニ幸ニ大難ヲ免ル。若汝ヲ取戻スコトアタハズンバ。勝軍王我ヲ罰セラレンコト必

●續鑛石上末

セリ。サテクアリガタシトテ。召連テ歸リ。須達ニ渡ス。長者大ニ悦ンデ。腆ク將軍ニ謝ストイヘリ。時ニ六羣比丘是ヲ聞テ。謗シテ曰ク。内々目連。姣童子ヲ房内ニ引入教授セラルコト。不知法ナリト思フニ。剩へ佛制ヲ違背シテ。卒尔ニ神通ヲ現ズ。滅擯羯磨ヲ與ント彼此メク。目連ノ曰ク。我犯戒セス。罪ノ相不見ト。終ニ佛ニ白ス。佛目連ヲ召テ。意樂ヲ問玉フニ。罪ノ相ナシ。故ニ驅擯スルコトモ不叶ハリキト。須達長者富貴王寵ヲ頂テ。平生毘盧宅加ノ方ヘハ。賄賂輕少ナリ。故ニ不快ナリト云。古今三國。塵欲ノ私ハ同事ナリ。必ス佞人ノ方ヘハ。内々賄賂ヲ贈ルヘキナリ。列子ニ曰ク。五情ノ好惡。古猶今ノ如シト。噫。顔ヲ睨ハ。顔ノ徒ナリ。我ハ陳如ノ迹ヲ慣ンカ。今世ニ小兒ヲ初テ手

ル。目連慙傷シテ。長者ハ祇園ノ大檀主ナリ。童子ヲ教ルコトハ予カ企ナリ。若此度ノ難ヲ救助セズンバ。佛意ニモ背クヘシト。即チ將軍ノ軍衆ヲ現ジテ。恒河ノ兩岸ヨリ鼓ヲ鳴シテ追フ。羣賊恐レテ。速ニ童子ヲ岸ニ上テ逃ヌ。童子夢ノ如クシテ舍衛城ニ還ルニ。毘盧宅加ガ軍ニ逢ヌ。將軍馬ヨリ降テ。問テ曰ク。汝何ゾ能ク逃歸ルヤト。童子カ曰ク。將軍追手ニ向ヒ。恒河ノ兩岸ヨリ挿シテ攻玉フニ依テ。羣賊狼狽テ逃ヌ。宅加カ曰ク。我ハ馬ヲ早メテ追トイヘドモ。不及此ハ是佛弟子ノ所爲ナラン。誰ヲカ見ツルト。童子ノ曰ク。目連尊者樹下ニ坐シ玉ヲ見ト。宅加大ニ悦デ曰ク。我國ニカクノ如キ。國寶ノ大徳アリ。故ニ幸ニ大難ヲ免ル。若汝ヲ取戻スコトアタハズンバ。勝軍王我ヲ罰セラレンコト必

●續鑛石上末

セリ。サテクアリガタシトテ。召連テ歸リ。須達ニ渡ス。長者大ニ悦ンデ。腆ク將軍ニ謝ストイヘリ。時ニ六羣比丘是ヲ聞テ。謗シテ曰ク。内々目連。姣童子ヲ房内ニ引入教授セラルコト。不知法ナリト思フニ。剩へ佛制ヲ違背シテ。卒尔ニ神通ヲ現ズ。滅擯羯磨ヲ與ント彼此メク。目連ノ曰ク。我犯戒セス。罪ノ相不見ト。終ニ佛ニ白ス。佛目連ヲ召テ。意樂ヲ問玉フニ。罪ノ相ナシ。故ニ驅擯スルコトモ不叶ハリキト。須達長者富貴王寵ヲ頂テ。平生毘盧宅加ノ方ヘハ。賄賂輕少ナリ。故ニ不快ナリト云。古今三國。塵欲ノ私ハ同事ナリ。必ス佞人ノ方ヘハ。内々賄賂ヲ贈ルヘキナリ。列子ニ曰ク。五情ノ好惡。古猶今ノ如シト。噫。顔ヲ睨ハ。顔ノ徒ナリ。我ハ陳如ノ迹ヲ慣ンカ。今世ニ小兒ヲ初テ手

習セシムル時ハ。必ズ寺院ニ投寄セシム。若俗儒ノ宅ニ入テ。手習素  
 讀ストイヘドモ猶此ヲ寺入ト云ハ。須達カ子ヲ權輿トスルナラシカ  
 高祖大師ノ。密宗ノ僧ヲ取立ルニハ。赤子ノ時ヨリ寺ニ呼取テ  
 能ク其情操ヲ見定テ。出家受戒セシメヨト宣ヘルモ。此意カ。延曆  
 園城。東大。興福ノ諸寺ノ格。皆此式ナリ。佛意ニ叶ヘルモノカ。天  
 竺ノ小僧ノ法ハ。四月八日ニハ。羅睺羅ノ形像ヲ奠トイヘリ。是駟  
 烏沙弥ノ元祖ナレバナリ。均堤沙弥ハ。七歳ニシテ羅漢果ヲ得  
 逝多林ノ小僧ハ。能ク五百ノ惡婆羅門ヲ降伏ス。故ニ經ニ曰ク。  
 龍ハ小ナリトイヘドモ。能ク雨ヲ降スコトヲ解ス沙弥ハ幼ナリ  
 トイヘドモ聖果ヲ得。神通輕シムベカラスト。不空三藏ハ十四歳  
 ニシテ。金剛智ニ隨テ。大唐ニ来リ。光儀法師ハ。八歳ニシテ出

●續鑛石上末

四十七

家ス。豈貴トカラスヤ。復羨シカラズヤ

習セシムル時ハ。必ズ寺院ニ投寄セシム。若俗儒ノ宅ニ入テ。手習素  
 讀ストイヘドモ猶此ヲ寺入ト云ハ。須達カ子ヲ權輿トスルナラシカ。  
 高祖大師ノ。密宗ノ僧ヲ取立ルニハ。赤子ノ時ヨリ寺ニ呼取テ。  
 能ク其情操ヲ見定テ。出家受戒セシメヨト宣ヘルモ。此意カ。延曆  
 園城。東大。興福ノ諸寺ノ格。皆此式ナリ。佛意ニ叶ヘルモノカ。天  
 竺ノ小僧ノ法ハ。四月八日ニハ。羅睺羅ノ形像ヲ奠トイヘリ。是駟  
 烏沙弥ノ元祖ナレバナリ。均堤沙弥ハ。七歳ニシテ羅漢果ヲ得。  
 逝多林ノ小僧ハ。能ク五百ノ惡婆羅門ヲ降伏ス。故ニ經ニ曰ク。  
 龍ハ小ナリトイヘドモ。能ク雨ヲ降スコトヲ解ス沙弥ハ幼ナリ  
 トイヘドモ聖果ヲ得。神通輕シムベカラスト。不空三藏ハ十四歳  
 ニシテ。金剛智ニ隨テ。大唐ニ来リ。光儀法師ハ。八歳ニシテ出

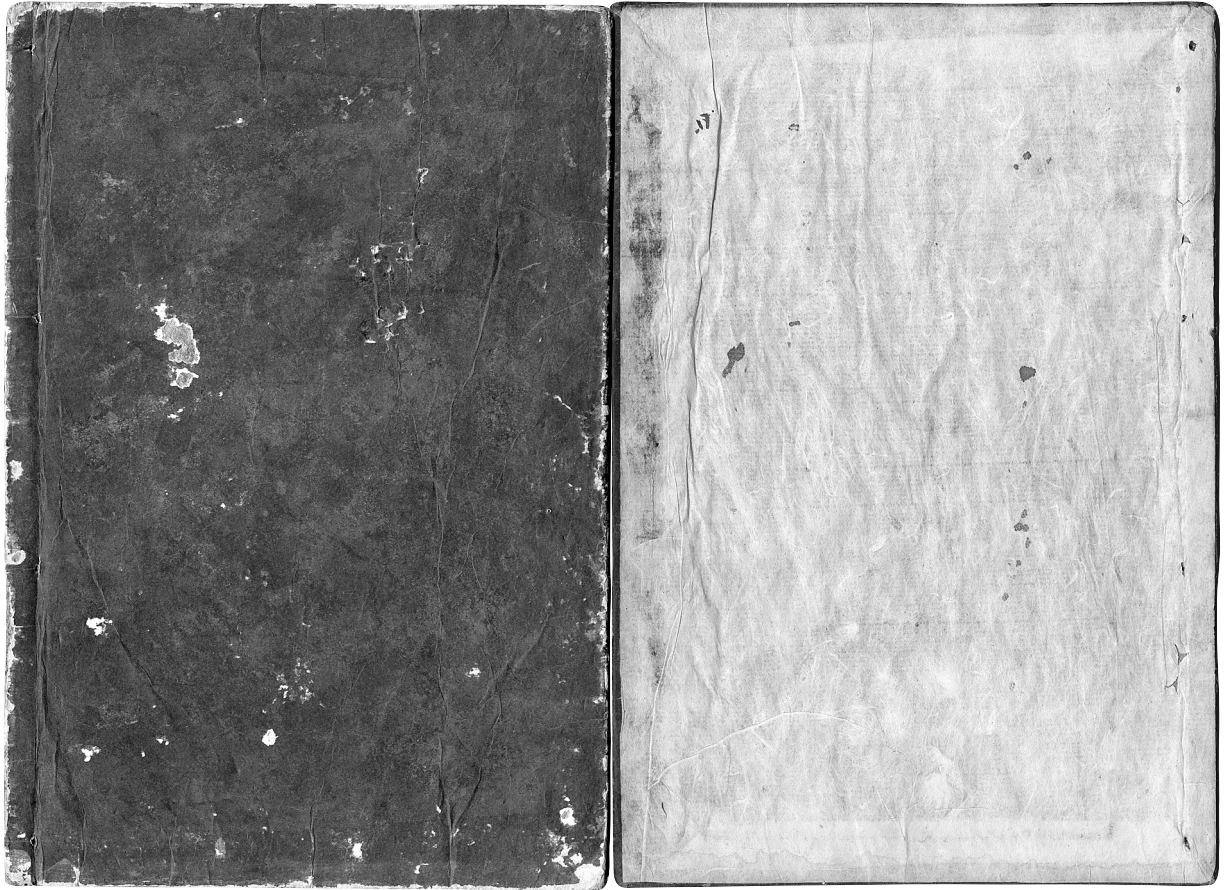
●續鑛石上末

四十七

家ス。豈貴トカラスヤ。復羨シカラズヤ

③上末47オ

③上末47ウ



(せきぐち  
しずお

「③上末裏表紙  
歴史文化学科」

(白丁)「③上末裏表紙見返